

トヨタ純正

トヨタ純正 HDDナビゲーション

■型番 **NHDT-W60G**

ハンズフリー／G-BOOKの操作 詳細版



お買い上げいただきありがとうございました。

ご使用前に必ずこの詳細版をお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。本書は紛失しないように車の中に保管してください。


トヨタ自動車株式会社

安全に正しくお使いになるために

この取扱書では「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」とその回避方法を下記の表示で記載しています。
これらは安全のために重要ですので、必ず読んで遵守してください。

 警告	記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。
 注意	記載事項を守らないと、事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあること。

お車のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

 アドバイス	より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。
--	--

- 製品に添付されている各種説明書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 取扱書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

注意

表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので無理に使用せず、結露がなくなるまで操作をしないようにしてください。

詳細版の構成

本機の全ての機能を以下の詳細版のいずれかに記載しています。ご利用状況に応じて使い分けてください。また、音声操作早わかりマニュアルも合わせてご覧ください。

ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版

本機の基本機能やナビゲーション、オーディオなどの全ての機能を説明しています。

- 本機の基本機能の操作
 - ・ディスプレイの角度調整
 - ・セキュリティ機能の設定
 - ・個人情報の初期化 など
- ナビゲーションの操作
 - ・地図の操作
 - ・目的地の検索
 - ・ルートの探索
 - ・地点の登録 など
- オーディオの操作
 - ・ラジオ、ワンセグ（地上デジタルTV放送）の操作
 - ・CD/DVDの操作
 - ・HDDオーディオの操作 など



ハンズフリー／G-BOOKの操作 詳細版

本機のハンズフリーとG-BOOKの全ての機能を説明しています。

- ハンズフリーの操作
 - ・電話のかけ方
 - ・電話の受け方
 - ・電話帳の編集 など
- G-BOOKの操作
 - ・ヘルプネットの操作
 - ・G-Securityの操作（G-BOOK mX Pro利用時）
 - ・G-SOUNDの操作 など



セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにNo.とタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

操作画面

操作する画面を表示しています。

アドバイス

操作に関連することなどを記述しています。



セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

タイトル目次

タイトル目次

はじめに	
1.特長	24
2.本機について	26
各機の名称と操作	26
パルススイッチについて	26
タッチスイッチについて	27
3.ハンズフリー機能について	28
ハンズフリーについて	28
Bluetooth携帯電話について	29
ハンズフリーが使用できないとき	29
マイクについて	31
ハンズフリー操作について	31
音源について	31
お車を手放すとき	32
Bluetooth携帯電話を ごとの留意事項	41
通話モジュールについて	42
データ送信時の注意事項	43
通話録音用注意事項	43
通話録音共通注意事項	44
変速レシについて	46
ハンズフリー機能	
1.ハンズフリーの準備	47
携帯電話の登録	47
携帯電話の接続	49
携帯電話が自動で接続する	49
自動電話接続を設定する	49
携帯電話を手動で接続・切断する	50
Bluetooth接続の 再接続について	51

本のタイトル項目を順番に並べたものです。

知りたい操作目次

知りたい操作目次

ハンズフリー機能に関して	
<ハンズフリー機能を使用する前に>	
■ハンズフリーに使用する携帯電話を本機に登録したい	ハンズフリー機能に使用する携帯電話の登録について説明しています。 【携帯電話の登録】.....P47
■本機と携帯電話をBluetooth接続したい	本機と携帯電話のBluetooth接続について説明しています。 【携帯電話の接続】.....P49

各機能ごとにタイトル項目を抜粋したものです。
操作でお困りのときは、知りたい操作目次から該当の操作を検索してお使いください。

G-SOUND 楽曲を削除する

ライセンスのない不要なG-SOUND 楽曲は削除することができます。

- 1 設定 を押します。
- 2 G-BOOK にタッチします。
- 3 G-SOUND 削除 に10秒以上タッチし続けます。



- 4 削除したい楽曲にタッチします。
 - 単曲またはカプセルの、すべての楽曲を削除するときは **全削除** にタッチして 6 の手順を操作します。
 - 単曲を削除するときは、絞り込み検索をしてから削除することができます。(次ページ参照)



ND 楽曲を削除すると、G-SOUND楽曲はすべて利用できなくなりま
トルされているG-SOUND楽曲を削除する場合は、本当に削除して
ださい。削除した楽曲をもとにもどすことはできません。

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、○○○ (MAP ・ 情報 など)でスイッチ名称を表示しています。画面のタッチスイッチにタッチするときは、○○○ でスイッチ名称を表示しています。1つ前の画面にもどすときは、戻る にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。(一部の機能では、キャンセルされないものがあります)

はじめに

1. 特長	24
2. 本機について	26
各部の名称と操作	26
パネルスイッチについて	26
タッチスイッチについて	27
3. ハンズフリー機能について	28
ハンズフリーについて	28
Bluetooth携帯電話について	29
ハンズフリーが使用できないとき	29
マイクについて	31
ハンズフリー操作について	31
音声について	31
お車を手放すとき	32
Bluetooth機器使用上の 注意事項	32
各種表示について	33
受信レベル表示	33
電池残量表示	34
Bluetooth接続状態表示	35
4. G-BOOK機能について	36
G-BOOKオンラインサービス について	36
サービス内容について	37
情報・G画面 (G-BOOK)	38
安全上の注意	39
走行中の操作、表示規制について	39
掲載画面について	39
お車を手放す際は	39
G-BOOK オンラインサービス コンテンツについて	39
通信機器について	40

Bluetooth 携帯電話を使用する ときの留意事項	41
通信モジュールについて	42
データ通信時の留意事項	43
通信機器専用留意事項	43
通信機器共通留意事項	44
受信レベルについて	46

ハンズフリー機能

1. ハンズフリーの準備	47
携帯電話の登録	47
携帯電話の接続	49
携帯電話を自動で接続する	49
自動電話機接続を設定する	49
携帯電話を手動で接続・切断する	50
Bluetooth接続の 再接続について	51
通信モジュールを選択する	52
2. 電話のかけ方	53
ダイヤル画面を表示する	53
ダイヤル発信する	55
電話帳発信する	56
履歴発信する	57
ワンタッチ発信する	58
ナビから発信する	58
携帯電話本体から発信する	59
発信を中断する	59
3. 電話の受け方	60
電話を受ける	60
着信中画面で操作する	61
電話を保留する (応答保留)	61
着信音量を調整する	61

着信拒否する	61	携帯電話の電話帳データを 転送する	77
4. 通話中の操作	62	電話帳に新規データを追加する	79
通話中画面で操作する	62	名称、名称読み、認識読みの 編集をする	80
受話音量を調整する	62	電話番号を編集する	80
通話を終了する	62	電話帳の選択をする	81
10キー入力する	63	音声認識の設定をする	81
送話音をミュート（消音）する	63	電話帳のデータを修正する	82
通話を転送する	63	電話帳のデータを削除する	83
5. 簡易画面での操作	64	電話帳のデータを個別に削除する	83
簡易画面で操作する	64	電話帳のデータをすべて削除する	83
6. ハンズフリーの設定	65	ワンタッチダイヤルを登録する	84
設定・編集画面（電話）を 表示する	65	ワンタッチダイヤルを削除する	85
音量の設定をする	66	ワンタッチダイヤルを個別に 削除する	85
音量の設定をする	66	ワンタッチダイヤルをすべて 削除する	85
高速走行時の自動音量切替を 設定する	66	8. 履歴の削除	86
使用する通信機器を選択する	67	履歴を削除する	86
電話機詳細情報を表示する	69	9. セキュリティの設定	87
携帯電話の名称を変更する	69	セキュリティについて	87
自動で着信拒否する	70	ロックNo.を変更する	87
Bluetooth設定を変更する	71	電話帳・発信履歴制限をする	89
Bluetooth電話機の登録を 削除する	73	通信モジュールの 発信制限をする	89
電話詳細設定をする	74	設定を初期化する	90
着信割り込み表示	74		
自動着信応答	75		
ACC ON時のBluetooth 接続確認案内	75		
7. 電話帳の編集	76		
電話帳について	76		
電話帳編集画面を表示する	76		

G-BOOK 機能

1. 各種手続きをする	91
利用手続きについて	91
利用手続きの手順	92
G-BOOK mX（携帯電話接続）を ご利用の場合	92

携帯電話を追加・変更する場合	93	保守点検について	123
G-BOOK mX Pro (通信モジュール接続) を ご利用の場合	94	自動保守点検	123
利用開始操作をする	96	手動保守点検	124
G-BOOK mXでWeb 登録を しない場合	96	利用登録の解除	127
G-BOOK mXでWeb 登録を した場合	99	携帯電話について	128
G-BOOK mX Proの場合	100	緊急通報できない 場合について	129
ユーザー画面について	101	3.G-Security (Gセキュリティ) ...	131
ユーザー画面を表示する	101	G-Securityについて	131
ユーザー画面の使い方	101	G-Securityのご利用に際して	131
Web 登録が必要なサービスを利用 したくなったとき	102	初期設定の確認・変更	132
サポートアドレスについて	103	解除中から設定中へ切り替える ...	132
サポートアドレスを確認・ 変更する	103	設定中から解除中へ切り替える ...	133
継続方法を変更する	104	サポートアドレスについて	135
ポップアップ機能について	105	サポートアドレスの確認・追加・ 変更	135
有料コンテンツの ご利用について	106	アラーム通知	137
有料コンテンツの購入・解約	106	エンジン始動通知	137
利用登録・契約の解除について ...	107	車両の位置確認	138
利用登録・契約の解除をする	108	警備員の派遣	138
非アクセス登録をする	109	携帯電話での操作について	139
2.ヘルプネット	110	G暗証番号ログインの登録	140
ヘルプネットについて	110	パソコンでの操作について	141
緊急通報のしくみ	111	4.オペレーターサービス	142
各部の名称とはたらき	113	オペレーターサービスについて ...	142
安全のために	114	オペレーターサービスを 購入する	143
サービス開始操作※をする	117	オペレーターサービスを使う	143
緊急通報をする	119	携帯電話・固定電話から 利用する	145
		手動で情報を取得する	145

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

5.G-BOOKとナビの 連携機能	146	G 情報マーク連動サービスの 設定をする	160
ナビ連携機能について	146	6.メインメニュー	161
渋滞予測情報を表示する	147	メインメニュー画面の使い方	161
渋滞予測時間を変更する	148	ブラウザ画面で操作する	163
渋滞増減予測を表示する	149	閲覧中に操作する	163
渋滞予測地図の縮尺を 切り替える	150	読み上げ中に操作する	165
区間所要時間予測を表示する	150	ブラウザの設定をする	167
G ルート探索（プローブ情報付） をする	151	本機のスイッチで操作する	168
全ルート図表示画面から G ルート探索する	151	ステアリングスイッチで 操作する	168
再探索でG ルート探索する	151	閲覧履歴について	169
G ルート情報の取得を 自動継続する	152	閲覧履歴からコンテンツを 表示する	169
G メモリ地点について	153	閲覧履歴を削除する	170
G メモリ地点を登録する	153	ブックマークについて	171
本機から登録する	153	ブックマークに登録する	171
G で設定を使って登録する	153	ブックマークした コンテンツを見る	171
G メモリ地点を表示する	153	リストを並べ替える	171
ドライブプランを利用する	154	ブックマークの修正をする	172
G で設定について	155	ブックマークを削除する	173
G で設定画面を表示する	155	7.G-BOOKの設定	174
ドライブプランを利用する	156	設定・編集画面を表示する	174
G メモリを利用する	156	プライバシー設定をする	174
G-BLOGを利用する	157	暗証番号を変更する	175
G メモリを一括 ダウンロードする	157	暗証番号を忘れた場合	177
施設の情報を表示する	158	通信ロックを使う	178
G 情報マークを表示する	158	ロックする	179
G情報マークの表示 種類について	159	解除する	179
G 情報マーク連動 サービスについて	160	通信設定をする	180
		使用する携帯電話の 通信設定をする	180

通信接続時の確認	181	楽曲を試聴する	199
自動通信の設定	181	希望の楽曲を検索する	200
G-BOOK 詳細設定をする	182	利用手続きをする	202
単語の編集	182	ライセンスを取得できないとき ...	202
単語の追加	182	G-SOUND 楽曲を再生する	203
単語の修正	183	HDDオーディオで録音した	
単語の削除	184	曲との相違点	203
定型文の修正	184	G-SOUND 楽曲を削除する	203
入力履歴の削除	185	楽曲を絞り込んで削除する	204
予測変換候補の表示	185	パッケージをコピーする	205
ソフトウェアキーボードの		ディスクの収録内容を確認する ...	205
使い方	186	コピーできなかったとき	205
ソフトウェアキーボード画面	186	10.CDタイトル情報取得	207
漢字に変換するには	188	タイトル情報を取得する	207
入力したい漢字に			
変換されないときは	188		
8.My リクエスト	189		
My リクエストについて	189		
My リクエスト画面で操作する ...	189		
本機のスイッチで操作する	191		
ステアリングスイッチで			
操作する	191		
My リクエストを使う	192		
読み上げ中に操作する	192		
情報を見る	193		
ドライブブランを利用する	193		
音声認識でリクエストをする	194		
My リクエストの編集をする	194		
9.G-SOUND	195		
G-SOUND について	195		
G-SOUND 楽曲について	196		
Gライブラリディスクについて	197		
G-SOUND 画面の使い方	198		

音声操作

1.音声操作システムについて ...	208
音声操作システムの構成	208
音声を正しく認識するために	208
2.音声操作コマンド一覧表	209
ハンズフリー・	
G-BOOKの操作	209
ハンズフリー	209
G-BOOK	209

ステアリングスイッチ

1.ステアリングスイッチに	
ついて	210
各部の機能名称と概要	210
共通操作	210
G-BOOKの操作	211
ハンズフリーの操作	211

ご参考に

1. 知っておいていただきたいこと 212
 - こんなメッセージが表示されたときは 212
 - 故障とお考えになる前に 215
2. 用語説明 216
3. 索引 217

ハンズフリー機能に関して

＜ハンズフリー機能を使用する前に＞

■ハンズフリーに使用する携帯電話を本機に登録したい



ハンズフリー機能に使用する携帯電話の登録について説明しています。

「携帯電話の登録」..... P47

■本機と携帯電話をBluetooth接続したい



本機と携帯電話のBluetooth接続について説明しています。

「携帯電話の接続」..... P49

■ハンズフリーに使用する携帯電話を選びたい



複数の携帯電話が登録されている場合に、使用する携帯電話を選択する方法について説明しています。

「使用する通信機器を選択する」..... P67

■ハンズフリーに通信モジュールを使用したい



ハンズフリー機能に通信モジュールを使用する方法について説明しています。

「通信モジュールを選択する」..... P52

<電話のかけ方について>

■電話をかけたい



ハンズフリー機能を利用して電話をかける方法について説明しています。

●電話番号を入力して電話をかけたい

「ダイヤル発信する」..... P55



●電話帳から電話をかけたい

「電話帳発信する」..... P56



●発信・着信履歴から電話をかけたい

「履歴発信する」..... P57



●少ない操作で電話をかけたい

「ワンタッチ発信する」..... P58



●交通・ナビゲーション関係の番号に電話をかけたい

「ナビから発信する」..... P58

<ハンズフリーの操作について>

■着信中に操作したい



着信中に操作できる機能について説明しています。

●かかってきた電話を受けたい

「電話を受ける」..... P60



●応答を保留したい

「電話を保留する（応答保留）」..... P61



●着信音量をかえたい

「着信音量を調整する」..... P61



●着信を拒否したい

「着信拒否する」..... P61

■通話中に操作したい



通話中に操作できる機能について説明しています。

●音量を変えたい

「受話音量を調整する」..... P62

「送話音をミュート（消音）する」..... P63



●ハンズフリー通話と携帯電話での通話を切り替えたい

「通話を転送する」..... P63



●通話を終わりたい

「通話を終了する」..... P62

<ハンズフリーの設定について>

■音量をかえたい



着信音量や受話音量の調整について説明しています。

「音量の設定をする」..... P66

■登録した携帯電話の情報を見たい



本機に登録されている携帯電話の設定について説明しています。

「電話機詳細情報を表示する」..... P69

Bluetooth通信の設定をかえたい



本機のBluetooth通信の設定について説明しています。

- 機器名称やパスキーを変更したい

「Bluetooth設定を変更する」..... P71



- 接続確認の案内を設定したい

「ACC ON時のBluetooth接続確認案内」..... P75

着信の設定をかえたい

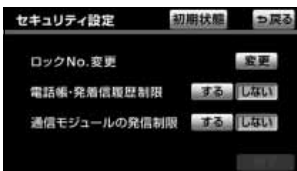


着信の設定を変更する方法について説明しています。

「着信割り込み表示」..... P74

「自動着信応答」..... P75

セキュリティの設定をかえたい



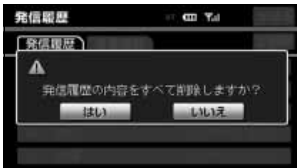
セキュリティ機能の設定について説明しています。

「ロックNo.を変更する」..... P87

「電話帳・発信履歴制限をする」..... P89

「通信モジュールの発信制限をする」..... P89

発信履歴を削除したい

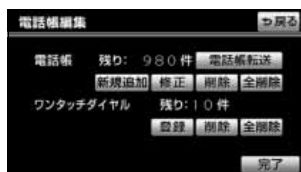


発信履歴や着信履歴を削除する方法について説明しています。

「履歴を削除する」..... P86

<電話帳について>

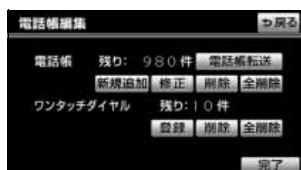
■ 電話帳にデータを登録したい



本機の電話帳にデータを登録する方法について説明しています。

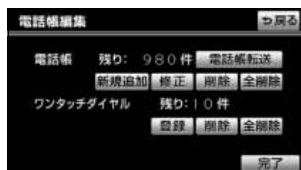
- 「携帯電話の電話帳データを転送する」..... P77
- 「電話帳に新規データを追加する」..... P79

■ 登録したデータを変更したい



本機の電話帳を編集する方法について説明しています。

- 電話帳のデータを編集したい
 - 「電話帳のデータを修正する」..... P82
 - 「電話帳のデータを削除する」..... P83



- ワンタッチダイヤルのデータを編集したい
 - 「ワンタッチダイヤルを登録する」..... P84
 - 「ワンタッチダイヤルを削除する」..... P85

G-BOOK 機能に関して

<G-BOOK機能を利用する前に>

■ G-BOOK オンラインサービスの利用を開始したい



G-BOOK オンラインサービスの利用を開始する方法について説明しています。

- 「G-BOOKオンラインサービスについて」..... P36
- 「利用手続きの手順」..... P92
- 「利用開始操作をする」..... P96

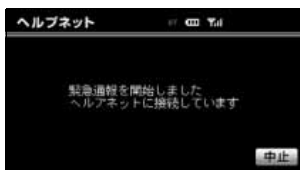
<ヘルプネットについて>

■ヘルプネットの利用を開始したい

ヘルプネットの利用を開始する方法について説明しています。

「サービス開始操作※をする」..... P117

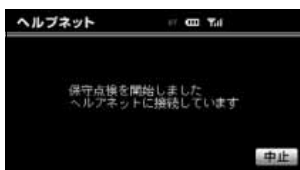
■緊急時にヘルプネットを利用して通報したい



緊急通報の方法について説明しています。

「緊急通報をする」..... P119

■ヘルプネットの点検をしたい



ヘルプネットの点検について説明しています。

「保守点検について」..... P123

「自動保守点検」..... P123

「手動保守点検」..... P124

■ヘルプネットの利用登録を解除したい



ヘルプネットの利用登録を解除する方法について説明しています。

「利用登録の解除」..... P127

<G-Securityについて>

■G-Securityの利用を開始したい



G-Securityの設定方法について説明します。

「G-Securityについて」..... P131

「初期設定の確認・変更」..... P132

「サポートアドレスについて」..... P135

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

■G-Security をパソコンや携帯電話で利用したい

パソコンや携帯電話を使用してG-Securityを利用する方法について説明します。

●携帯電話からG-Securityを操作したい

「携帯電話での操作について」..... P139

●パソコンからG-Securityを操作したい

「パソコンでの操作について」..... P141

●携帯電話からG暗証番号ログインを登録したい

「G暗証番号ログインの登録」..... P140

<オペレーターサービスについて>

■オペレーターサービスを利用したい



オペレーターサービスを利用する方法について説明しています。

「オペレーターサービスについて」..... P142

「オペレーターサービスを購入する」..... P143

■取得した情報を手動で受信したい



オペレーターサービスで情報が取得できない場合の対応について説明しています。

「手動で情報を取得する」..... P145

<ナビ連携機能について>

■ナビ連携機能を利用したい



G-BOOKを利用したナビゲーション機能について説明しています。

●渋滞予測情報を利用したい

「渋滞予測情報を表示する」..... P147



●G-BOOKを利用してルート探索したい
「G ルート探索（プローブ情報付）をする」..... P151



●G-BOOKサイトで登録した地点をメモリ地点として登録したい
「G メモリ地点を登録する」..... P153



●G-BOOKサイトで登録した地点を目的地に設定したい
「ドライブプランを利用する」..... P154



●G-BOOKサイトの情報を本機で利用したい
「Gで設定画面を表示する」..... P155



●G-BOOK.comコンテンツから取得したアイコンの情報を見たい
「施設の情報を表示する」..... P158



●G-BOOK.comコンテンツが提供する地点情報を表示したい
「G 情報マークを表示する」..... P158



●G-BOOKセンターから現在地付近の施設の情報を取得したい
「G 情報マーク連動サービスについて」..... P160

<メインメニューについて>

■ ブラウザ画面を操作したい



G-BOOKのブラウザ画面について説明しています。

● ブラウザ画面表示中に操作したい

「ブラウザ画面で操作する」..... P163



● 閲覧履歴からコンテンツを呼び出したい

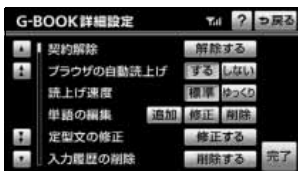
「閲覧履歴からコンテンツを表示する」..... P169



● ブックマークからコンテンツを呼び出したい

「ブックマークしたコンテンツを見る」..... P171

■ メインメニュー利用時の設定をかえたい



G-BOOKのメインメニューに関する設定について説明しています。

「ブラウザの設定をする」..... P167

■ ブックマークを編集したい



G-BOOKのブックマークを編集する方法について説明しています。

「ブックマークに登録する」..... P171

「ブックマークの修正をする」..... P172

「ブックマークを削除する」..... P173

< G-BOOKの設定について >

■ プライバシー設定をかえたい



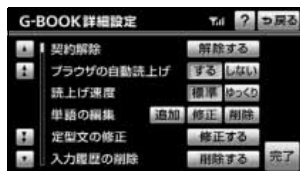
G-BOOKのプライバシー設定について説明しています。
「プライバシー設定をする」..... P174

■ 通信の設定をかえたい

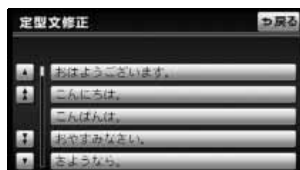


G-BOOKの通信方法に関する設定について説明しています。
「通信設定をする」..... P180

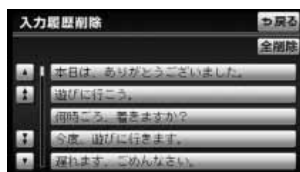
■ 文字入力の設定を変えたい



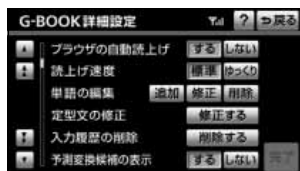
文字の入力に関する設定について説明しています。
●本機に登録されている単語を編集したい
「単語の編集」..... P182



●本機に登録されている定型文を編集したい
「定型文の修正」..... P184



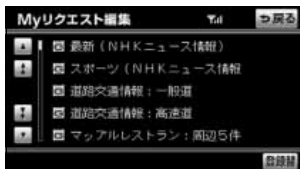
●単語や文章の入力履歴を削除したい
「入力履歴の削除」..... P185



●予測変換候補の表示を設定したい
「予測変換候補の表示」..... P185

<Myリクエストについて>

■コンテンツを登録したい



Myリクエストの登録について説明しています。

「My リクエストの編集をする」..... P194

■コンテンツをリクエストしたい



Myリクエストを操作する方法について説明しています。

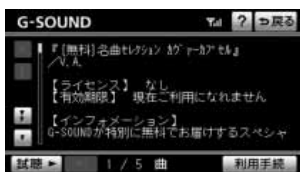
「My リクエスト画面で操作する」..... P189

「My リクエストを使う」..... P192

「音声認識でリクエストをする」..... P194

<G-SOUNDについて>

■G-SOUND 楽曲を購入前に試聴したい



G-SOUNDを試聴する方法について説明しています。

「楽曲を試聴する」..... P199

■G-SOUND 楽曲を購入したい



G-SOUNDを購入する方法について説明しています。

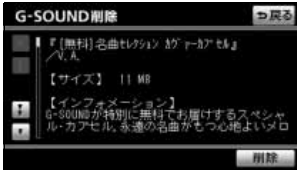
「利用手続をする」..... P202

■G-SOUND 楽曲を再生したい

G-SOUNDを再生する方法について説明しています。

「G-SOUND 楽曲を再生する」..... P203

■ G-SOUND 楽曲を削除したい



G-SOUNDのデータを本機から削除する方法について説明しています。

「G-SOUND 楽曲を削除する」..... P203

■ G ライブラリディスクからデータをコピーしたい



G-SOUNDのデータをGライブラリディスクから本機にコピーする方法について説明しています。

「パッケージをコピーする」..... P205

< CDタイトル情報取得について >

■ 最新のCDタイトル情報を取得したい



本機に録音されている曲のタイトル情報をG-BOOKセンターから取得する方法について説明しています。

「タイトル情報を取得する」..... P207

その他

<便利な機能>

■ 運転中、音声でハンズフリーやG-BOOK を操作したい

ハンズフリーやG-BOOKの機能を音声で操作する方法について説明しています。

「音声操作システムについて」..... P208

■ 運転中、手元でハンズフリーやG-BOOK を操作したい

ハンズフリーやG-BOOKの機能をステアリングスイッチで操作する方法について説明しています。

「ステアリングスイッチについて」..... P210

1. 特長

Bluetooth接続による ハンズフリー機能 (47ページ)

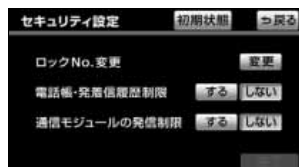
Bluetooth携帯電話と本機を無線で接続して、電話をかけたり、受けたりすることができます。また、通信モジュールを装着してさらにオプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約した場合は、携帯電話がなくてもハンズフリーが利用できます。



個人情報を守る セキュリティ機能 (87ページ)

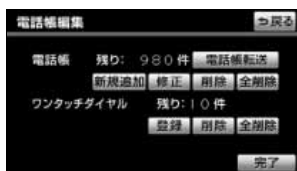
セキュリティを設定すると、電話帳に関するハンズフリー機能の一部が使用できなくなります。

ホテルで車を預けるときなど、他人に登録してあるデータを見られたくないときに便利です。



最大1000名分のデータが 登録できる電話帳 (76ページ)

本機の電話帳は1名につき最大3件の番号が登録できます。また、接続した携帯電話に登録されているデータを転送したり、発信履歴や着信履歴から呼び出した番号を登録することもできます。



緊急事態に備える ヘルプネット (110ページ)

事故や急病などの緊急事態発生時、ワンタッチでヘルプネットセンターへ接続できます。センターでは、送信された車両位置に基づき、警察や消防への通報を行います。



走行中も呼び出し可能な ワンタッチダイヤル (58ページ)

ワンタッチダイヤルとして登録した電話番号には、走行中も電話をかけることができます。ワンタッチダイヤルには、自動で登録される最新の発信履歴を含めて最大18件（リダイヤル含む）まで登録することができます。



大切な車をいつも見守る G-Security※ (131ページ)

ドアのこじ開けなどオートアラームの作動を検知した場合、異常をメールや電話でお知らせします。また、車両盗難時はお客様の要請により、車両の位置を追跡し、警備員を現場に派遣します。

※G-BOOK mX Proモデルの場合



電話を通してドライバーをサポートする オペレーターサービス (142ページ)

電話で依頼するだけで、オペレーターがお客様に代わって、ナビの目的地設定やレストラン／駐車場の検索などを行うサービスです。



最新の情報を活用する ナビ連携機能 (146ページ)

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したメモリ地点やドライブプランを本機で呼び出すことができます。また、G-BOOKセンターから取得した情報をルート探索や地図表示に反映することができます。



VICS情報ではカバーしきれなかった 道路のリアルタイム情報を取得して、 最適なルートを案内するGルート探 索 (プローブ情報付) (151ページ)

VICSによる主要道路の交通情報に加え、G-BOOK mX搭載車両の走行情報をリアルタイムに収集して生成した独自の交通情報で、高精度な最適ルートを案内します。



必要な地域の地図データのみを 更新できるマップオンデマンド (差分更新) 機能 (ナビゲーション ／オーディオの操作 詳細版)

全国の主要道路は開通後最短7日※で地図データを更新します。通信による更新やCD/DVDによる更新が可能です。

※地図更新データの収集／整備状況により、配信までに3ヶ月ほどかかる場合があります。

好きな曲を自由に楽しむ G-SOUND (195ページ)

本機にインストールされている曲の中から、お好みの曲を選んで試聴・購入し、再生することができます。また、Gライブラリディスクによる楽曲の追加も可能です。



地図の自動更新、カーセキュリ ティにも対応の通信モジュール (DCM) (40ページ)

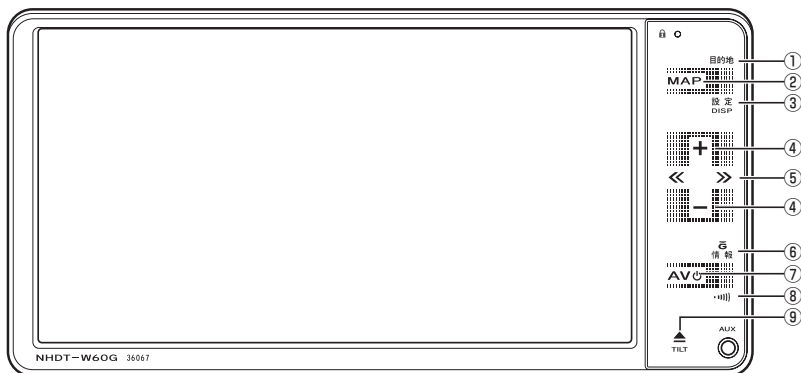
DCMは、G-BOOK mX Proモデル用に開発された車載タイプの通信モジュールです。定額料金で、音声通話と高速データ通信 (2.4Mbps) を行うことができます。

2. 本機について

各部の名称と操作

本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）を押したり、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

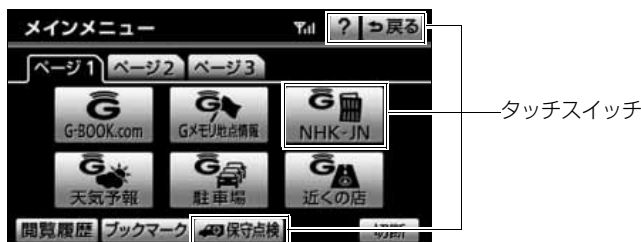
パネルスイッチについて



①	目的地スイッチ	ナビゲーションで目的地を設定するときに押します。
②	MAPスイッチ	ナビゲーション画面／現在地を表示するときに押します。
③	設定スイッチ	いろいろな設定をするときや、画質の調整をしたり画面を消すときに押します。
④	音量調整スイッチ	オーディオの音量を調整するときに押します。
⑤	選局／選曲スイッチ	ワンセグ（地上デジタルTV放送）やラジオの選局、音楽用CDの選曲、DVDのチャプター選択などをするときに押します。
⑥	情報スイッチ	各情報機能やハンズフリー機能、G-BOOK機能を使用するときに押します。
⑦	AVスイッチ	オーディオの操作画面を表示するときや、オーディオの電源を入れるとき、切るときに押します。
⑧	交通情報呼び出しスイッチ	交通情報を受信するときに押します。
⑨	TILTスイッチ	ディスプレイを開くときや、画面の角度調整をするときに押します。

タッチスイッチについて

画面のスイッチにタッチして操作します。



- タッチスイッチは“ピッ”という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチの色が明るくなるものもあります。

⚠ 注意

タッチスイッチは指でタッチしてください。
ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。

👉 アドバイス

液晶画面に保護フィルム（保護フィルタ）等を貼り付けしないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

3. ハンズフリー機能について

ハンズフリーについて

動作確認済のBluetooth携帯電話（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

また、G-BOOK mX Proモデルの場合、オプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約することで、携帯電話がなくても、通信モジュールを使用してハンズフリーが利用できます。本機に接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■対応Bluetooth仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1以上（Ver.2.0 + EDR以上を推奨）

■対応Profile

- HFP（Hands Free Profile） Ver.1.0
- OPP（Object Push Profile） Ver.1.1
- DUN（Dial-up Networking Profile） Ver.1.1



Bluetoothは、Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

BluetoothワードマークとロゴはBluetooth SIG所有であり、ライセンス取得者「アイシン・エイ・ダブリュ株式会社」のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

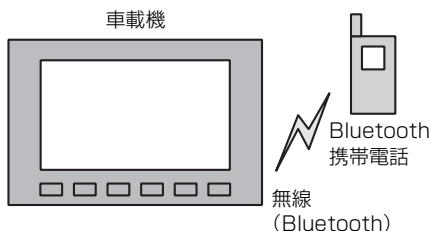
Bluetooth携帯電話について

Bluetooth携帯電話は、他の機器との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

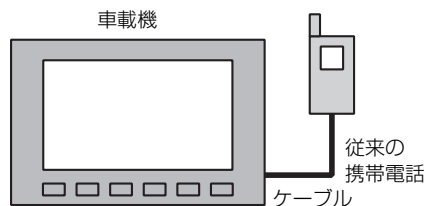
従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。

例えば、胸ポケットに携帯電話を入れたままでも、そのままの状態でもハンズフリーがご利用いただけます。

● Bluetooth接続の携帯電話



● 有線（ケーブル）接続の携帯電話



※ 本機では、有線（ケーブル）接続の携帯電話はご利用になれません。

ハンズフリーが使用できないとき

次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

- 通話エリア外るとき
- 回線が混雑しているなど、発信規制中るとき
- 緊急通報中るとき

また、ハンズフリーを携帯電話で使用するときは、次の場合もハンズフリーを使用することができません。

- 携帯電話から電話帳データを転送中るとき
- 携帯電話がダイヤルロックされているとき
- データ通信中など、携帯電話が使用中るとき
- 携帯電話が故障しているとき
- 携帯電話が本機に接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源がOFFのとき
- 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
- 車載機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき（切り替え中は本機にBluetooth接続状態表示が表示されません。）
- その他、携帯電話自体が使えないとき

3. ハンズフリー機能について

⚠ 警告

- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、安全のため、運転者は走行中に電話機の接続や、携帯電話本体は使用しないでください。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

⚠ 注意

- 携帯電話は車室内に放置しないでください。(炎天下など、車室内が高温となる場合があります。)
- Bluetooth携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

👉 アドバイス

- Bluetooth携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth携帯電話は、Bluetooth接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。
- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチが ON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF にしてください。(設定については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。)
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- 接続する携帯電話によっては、動作や音量が異なることがあります。
- 通話中にエンジンスイッチを OFF (LOCK) にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除してからお使いください。
- ヘルプネットをご利用の場合は、次のような制限があります。
 - ヘルプネット動作中はハンズフリーを使用できません。
また、ヘルプネットを携帯電話でご利用の場合、ヘルプネット動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
 - 着信中、応答保留中または通話中画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了されて、ハンズフリー画面が解除されます。

マイクについて

- 通話時に、音声入力マイクを使用します。(208 ページ参照)

ハンズフリー操作について

- 本機の画面に表示されるタッチスイッチを操作することにより、ハンズフリーのさまざまな機能が利用できます。また、音声入力スイッチ(208 ページ参照)を使用すると音声操作で電話をかけることができ、ステアリングスイッチ装着車ではステアリング部のスイッチを操作して(210 ページ参照)音量を調整することができます。

音声について

- 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。
- 着信通知や通話時などの音声出力は、運転席側スピーカーから出力されます。ただし、運転席側スピーカーから出力できないときは、他のスピーカーから出力されることがあります。
- ハンズフリーで音声や呼出音などが出力されると、オーディオ音声やナビ案内音声などはミュート(消音)されます。

👉 アドバイス

- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声相手が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。(故障ではありません。)
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。通話相手側にエコーが聞こえることがあります。また、音声は大きくはっきりとお話してください。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなる場合があります。
 - 悪路走行時
 - 高速走行時
 - 窓を開けているとき
 - エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
 - エアコンのファンの音が大きいとき
 - 携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化(ノイズ、エコーなど)することがあります。
- 他のBluetooth対応機器(ポータブルオーディオ)が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

3. ハンズフリー機能について

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」-「個人情報を元に戻す」参照）

なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどすことはできません。間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

- 電話帳データ
- 発信履歴および着信履歴
- ワンタッチダイヤル
- Bluetooth電話機の登録情報
- ロックNo.
- ハンズフリー関連の設定・編集項目

Bluetooth機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。

変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。

想定干渉距離は10m以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

👉 アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

各種表示について

受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- 「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にあります。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点にも注意してください。
 - 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
 - Bluetooth携帯電話未接続時は、「未接続」を表示します。

受信レベル表示



携帯電話使用時

表示	圏外	📶	📶	📶	📶
レベル	圏外	弱	←	→	強

通信モジュール使用時

表示	圏外	DCM	DCM	DCM	DCM
レベル	圏外	弱	←	→	強

3. ハンズフリー機能について

電池残量表示





携帯電話使用時

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 本機には携帯電話の充電機能はありません。

電池残量表示



表示				
残量	無	少	←—————→	
				多

Bluetooth接続状態表示

携帯電話使用時

携帯電話のBluetooth接続状態を表示します。

Bluetooth接続状態表示



● 青色表示



Bluetooth接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。

● 黄色表示



この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、携帯電話を移動してご使用ください。

● 灰色表示



本機と携帯電話が接続されていないか、接続範囲外に離れています。本機と携帯電話を接続するか、表示が消える距離まで本機と携帯電話を近づけてください。

👉 アドバイス

- Bluetooth通信の車両側アンテナがディスプレイ内に内蔵されています。次のような場所や状態でBluetooth携帯電話を使用すると、Bluetooth接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth接続ができないことがあります。この場合、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。
 - 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
(携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)
 - 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき
 - 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的にBluetooth接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

4. G-BOOK機能について

G-BOOKオンラインサービスについて

本機では、接続する通信機器により2つのサービスがあります。

携帯電話で利用 G-BOOK mX

通信モジュール (DCM) で利用 G-BOOK mX Pro

※ G-BOOKオンラインサービスは、トヨタメディアサービス株式会社が提供するサービスです。

サービス内容について

利用できるサービスは次のようになっています。サービスメニューの詳細、有料オプションの価格は、パソコンや携帯電話のG-BOOKサイト(<http://g-book.com/>)でご確認ください。

主なサービス／機能	G-BOOK mX		G-BOOK mX Pro※1	ページ
		Web 登録をして利用		
通信機器	Bluetooth 携帯電話		通信モジュール (DCM)	—
ヘルプネット	×	○※2	○	110
G-Security	×	×	○	131
マップオンデマンド	○	○	○	ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版
G ルート探索 (プローブ情報付)	○	○	○	151
渋滞予測	○	○	○	147
オペレーターサービス	×	△	○	142
メインメニュー G-BOOK.com コンテンツ	無料コンテンツ	○※3※4	○※4	161
	有料コンテンツ	×	△	
G-SOUND	無料カプセル	○	○	195
	有料カプセル、 単曲 (試聴／購入)	×	△	
CD タイトル情報取得	○	○	○	207
ドライブプラン	○※5	○	○	154
自動車専用ハンズフリー電話	×	×	△	—

○ …… 利用できます

△ …… 有料オプション (コンテンツ購入が必要です)

× …… 利用できません

※1 初年度無料期間中は、G-BOOK利用申し込み前でも一部のサービスはご利用いただけますが、すべてのサービスのご利用にはG-BOOK利用申し込みが必要です。

初年度無料期間：初度登録日より初回の12ヶ月点検月の末日までとなります。

初年度無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。

利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト

(<http://g-book.com/>) でご確認ください。

※2 G-BOOK利用開始日より3年間ご利用いただけます。

なお、4年目以降およびG-BOOK利用登録解除・ヘルプネット利用登録解除後の再利用登録は、有料となります。

料金については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。

※3 一部コンテンツはWeb登録が必要です。

※4 利用可能なコンテンツは一部異なります。

※5 利用には、GAZOOの会員登録が必要です。(97 ページ参照)

4. G-BOOK機能について

情報・G画面 (G-BOOK)

情報・G画面 (G-BOOK) から、G-BOOK オンラインサービスの各コンテンツを利用することができます。

1 **情報** を押します。

● 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。



タッチスイッチ	機能	ページ
HELPNET	ヘルプネットの緊急通報を行います。	110
メインメニュー	メインメニュー画面を表示します。	161
G-SOUND	G-SOUND画面を表示します。	195
Myリクエスト	Myリクエスト画面を表示します	189
オペレーター	オペレーターサービスに接続します。	142
情報確認	オペレーターサービスで取得した情報を確認します。	145
ドライブプラン	パソコンや携帯電話で設定したルートをダウンロードします。	154
地図更新	地図更新画面を表示します。	ナビゲーション /オーディオ の操作 詳細版

📌 アドバイス

- 情報・G画面 (G-BOOK) では、契約状態などにより、画面に表示されるスイッチが異なります。
- **HELPNET** は、サービス開始操作※、または手動保守点検実施後に表示されます。(124 ページ参照)

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

安全上の注意

G-BOOK オンラインサービスをご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

走行中の操作、表示規制について

走行中にG-BOOK オンラインサービスをご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはブラウザのコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。

このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

掲載画面について

本書で使用している画面は、携帯電話使用時の画面を使用して説明しています。通信モジュール使用時については、特に注記のない限り、携帯電話使用時と同様の操作になります。また、表示内容はサンプル表示となっております。

なお、全体に関わる注意点として、携帯電話使用時の画面に表示される **切断** については、通信モジュール使用時は表示されません。

お車を手放す際は

お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、利用登録・契約の解除をお願いします。(107 ページ参照)

G-BOOK オンラインサービスコンテンツについて

詳しくは、G-BOOKサイト (<http://g-book.com/>) をご覧ください。



警告

安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。

なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

4. G-BOOK 機能について

通信機器について

G-BOOK オンラインサービスは、Bluetooth 携帯電話^{*}または通信モジュール（DCM）を利用して、データ通信やハンズフリー通話を行います。

接続する通信機器により、データ通信やハンズフリー通話に利用する機器は、次のように選択されます。

^{*}本機で動作確認済みの機種については、販売店または G-BOOK サイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。

サービス	通信機器	データ通信／ ヘルプネットの 音声通話	ハンズフリー通話
G-BOOK mX	携帯電話のみ	携帯電話	携帯電話
G-BOOK mX Pro	通信モジュール のみ	通信モジュール	通信モジュール (自動車専用ハンズフリー電話契約時のみ)
	携帯電話& 通信モジュール	通信モジュール	ハンズフリーの電話機選択で選択した通信機器 (通信モジュールは、自動車専用ハンズフリー電話契約時のみ選択可)

Bluetooth 携帯電話を使用するときの留意事項

Bluetooth 携帯電話を使用してデータ通信するときは、次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- Bluetooth 携帯電話でデータ通信を行うときは、あらかじめ本機に携帯電話を登録しておかないと使用できません。Bluetooth 携帯電話を使用するときは、まず最初に、ご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(47 ページ参照)
- Bluetooth 携帯電話の機種によっては、受信レベル表示を行うことができないことがあります。
- Bluetooth 携帯電話でデータ通信を利用される場合、携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約1分間は、電話を受けることや応答保留などができないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くことになります。
割込着信の設定変更または契約変更については、ご利用の携帯電話に添付の取扱説明書などでご確認ください。
- Bluetooth 携帯電話でデータ通信する場合は、操作しない状態が一定時間継続すると、G-BOOK センターとのデータ通信を自動で切断します。自動で切断するまでの時間は、携帯電話の機種によって異なります。
- Bluetooth 携帯電話の機種や状態によっては、エンジン始動後にデータ通信を行うことができる状態になるまでに時間がかかることがあります。
この場合は、しばらく待ってから再度操作を行ってください。
- Bluetooth 携帯電話の機種によっては、携帯電話が待ち受け状態でないとデータ通信ができないことがあります。

アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

4. G-BOOK機能について

通信モジュールについて

通信モジュールは通信アンテナを使用します。

通信アンテナは、インストルメントパネルに内蔵されています。

データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。

■ライセンス契約など

この製品は下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、Qualcomm社よりライセンスされています。

4,901,307 5,056,109 5,101,501

5,109,390 5,228,054 5,267,261

5,267,262 5,337,338 5,414,796

5,416,797 5,490,165 5,504,773

5,506,865 5,511,073 5,535,239

5,544,196 5,568,483 5,600,754

5,657,420 5,659,569 5,710,784

5,778,338

BREW™およびBREW™に関連する商標は、Qualcomm社の商標または登録商標です。

The word BREW® is a registered trademark of QUALCOMM Incorporated.

The BREW Logo, which includes the interlocking circles design, is a trademark (TM) of QUALCOMM Incorporated.

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部について、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはなりません。

本製品を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出ししてはなりません。

U.S. law and international agreements currently prohibit export of this device's browser and security technology to the following countries - Cuba, Iran, Iraq, Libya, North Korea, Sudan and Syria. (Other restrictions regarding this device may apply.)

警告

植え込み型心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器をお使いの方は、通信アンテナから22cm以内にこれらの医療用電気機器が近づくような姿勢をとらないようにしてください。上記以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-BOOKオンラインサービスをお使いになる前に、医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。データ通信に伴う電波により、医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

アドバイス

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

データ通信時の留意事項

G-BOOK オンラインサービスは、データ取得時に通信を行います。
次の点をご理解の上、正しくお使いください。

通信機器専用留意事項

ここでは、通信機器により異なる留意事項がまとめてあります。

携帯電話使用時

- 通信にはお手持ちの携帯電話の電波を使用します。通信可能なエリアについては、携帯電話各社のサービスエリア図などを参照ください。
- お手持ちの携帯電話に添付の取扱説明書の注意事項もよくお読みください。

通信モジュール使用時

- 通信方式は、KDDI株式会社のCDMA方式のau 携帯電話と同一です。CDMA 1X WIN サービスエリアでは、最大2.4Mbps データ通信サービスがご利用いただけます。それ以外のCDMA 1X サービスエリアでは、最大144kbps データ通信サービスとなります。同社サービスエリア図をご参照ください。
なお、通信状況は様々な要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。

アドバイス

- Bluetooth携帯電話でデータ通信を利用される場合、次の点に注意してください。
- 携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約1分間は、電話を受けることや応答保留などができないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くことになります。
割込着信の設定変更または契約変更については、ご利用の携帯電話に添付の取扱説明書などでご確認ください。
- 通信料金はおお客様のご負担になります。
- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態、接続している携帯電話の機種によって異なります。
- G-BOOK オンラインサービスを利用中に携帯電話と本機の接続を切断すると、機種によってはデータ通信や音声通話を継続したままになることがあります。
G-BOOK オンラインサービス利用後に携帯電話と本機の接続を切断したら、携帯電話の状態を必ず確認してください。
- G-BOOK オンラインサービスを利用中に、エンジンをかけなおすなどのエンジンスイッチの操作を行うと、接続している携帯電話の機種によっては、ハンズフリーの着信中画面になることがあります。
この場合は、タッチスイッチを操作するなどして、ハンズフリー画面を解除する操作を行ってください。(61 ページ参照)
- 通信モジュールでデータ通信を利用される場合、次の点に注意してください。
 - データ通信に関する通信料金はG-BOOK利用料金に含まれています。
 - データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

4. G-BOOK機能について

- 次のような通信環境では、データ通信できません。
 - トンネルの中にいるとき
 - 地下駐車場にいるとき
 - 山奥などの通信圏外にいるとき
 - 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき

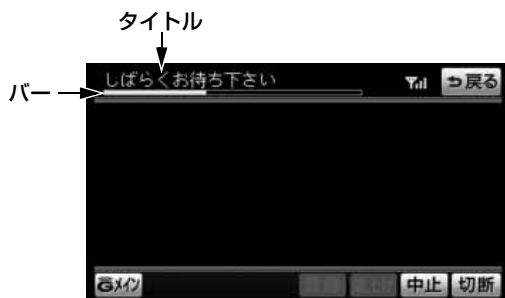
G-BOOK オンラインサービスはデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。

- この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、G-BOOK オンラインサービスが使用できなくなります。（その場合には事前にご連絡します。）

通信機器共通注意事項

ここでは、各通信機器に共通の注意事項がまとめてあります。

- ヘルプネット（110 ページ参照）での緊急通報中は、G-BOOK センターに接続できません。
- 画面上部（タイトル）に、ネットワーク接続中は「**接続中**」、コンテンツ読み込み中は「**しばらくお待ち下さい**」が表示されます。
また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。（走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、「ピッ」という音でもお知らせします。）



- 通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、現在地画面などに通信中マークが表示されます。

通信中マーク



👉 アドバイス

- 受信レベル表示が「圏外」と表示されている場合でも、本機はデータ取得動作を行います。一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間は本機の通信状態によって異なります。
- GPS 信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、またはバッテリーとの接続が断れたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」- 「ナビゲーション画面の見方」参照）に車を移動し、**MAP** を押して地図画面上にGPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

GPSマーク



1. ハンズフリーの準備

ハンズフリーを使用する際には、使用する通信機器の設定をします。本機は携帯電話を接続して使用しますが、G-BOOK mX Proモデルで自動車専用ハンズフリー電話をオプション契約した場合は、携帯電話がなくても通信モジュールを使用してハンズフリーが利用できます。

携帯電話を使用する場合.....下記
通信モジュールを使用する場合.....52ページ

携帯電話の登録

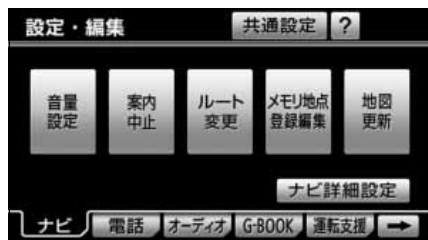
携帯電話は、本機に最大5台まで登録することができます。

携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話の登録は、「QUICK SETUP」からも行うことができます。（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」 - 「QUICK SETUP（初期設定サポート）」参照）

1 **設定** を押します。

2 **電話** にタッチします。



3 **Bluetooth設定** にタッチします。



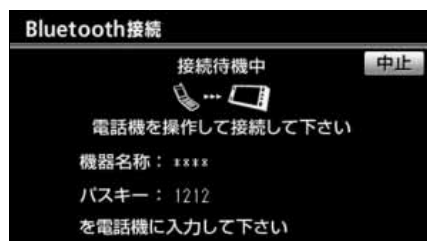
4 Bluetooth電話設定の **登録** にタッチします。

- 複数の携帯電話を登録する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。



5 Bluetooth接続画面が表示されたら、携帯電話からBluetooth登録します。

- 携帯電話側の登録操作は、必ずこのBluetooth接続画面を表示させて行ってください。
- 中止したいときは、**中止** にタッチします。

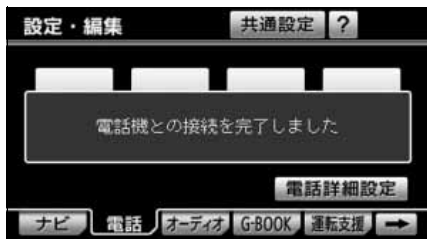


1. ハンズフリーの準備

6 携帯電話本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、パスキーを入力します。

7 接続完了のメッセージが表示されません。

- 複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。

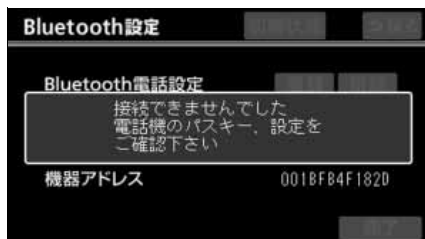


■G-BOOK オンラインサービスを携帯電話で利用するとき

携帯電話の登録後、ご利用の携帯電話に合わせて、使用する携帯電話の設定を行ってください。(180 ページ参照)

■接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



👉 アドバイス

- パスキーとは、Bluetooth携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(71 ページ参照)
- 携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- HFPに対応していない携帯電話は、本機に登録ができません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPPのみのサービスは利用できません。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- Bluetoothオーディオ再生中に携帯電話を登録する場合、Bluetoothオーディオの音声途切れることがあります。
- 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機の登録が完了しない場合があります。その場合、携帯電話側からBluetoothの接続を行ってください。

携帯電話の接続

Bluetooth携帯電話の本機への接続は、自動と手動の2通りの方法があります。
なお、携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を自動で接続する

自動電話機接続が **する** に設定されている場合、エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACCまたはONにするたびに、本機は選択されている携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

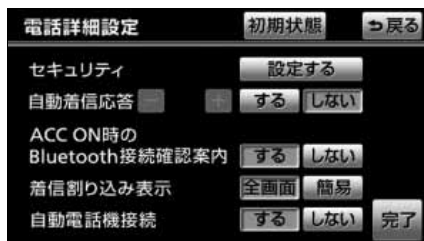
自動電話機接続を設定する

- 1 **設定** を押します。
- 2 **電話** にタッチします。
- 3 **電話詳細設定** にタッチします。



- 4 自動電話機接続の **する**、または **しない** にタッチします。

- 通常は **する** を選択した状態で使用してください。
- 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。



- 5 **完了** にタッチします。

👉 アドバイス

- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACCまたはONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。(設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)
- ハンズフリーを使用する場合、他のBluetooth対応機器（ポータブルオーディオ）を使用しているときは、次のようになります。
 - 携帯電話のBluetooth接続が切断されることがあります。
 - ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
 - ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。
- Bluetoothオーディオ再生中に接続動作を行った場合、音声途切れることがあります。
- Bluetoothオーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中にBluetoothオーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。(次ページ参照)

1. ハンズフリーの準備

Bluetooth接続確認案内

電話詳細設定画面のACC ON時のBluetooth接続確認案内（75ページ参照）で**する**を選択しているときは、Bluetooth接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。

ハンズフリーを使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth接続確認案内



- Bluetooth接続されたかどうかは、Bluetooth接続状態表示でも確認できます。（35ページ参照）

自動接続できなかった場合

自動接続は約60秒行います。自動接続を開始して約15秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示され、同内容の音声案内が流れます。60秒以内に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（右記参照）

携帯電話を手動で接続・切断する

自動接続に失敗したときや自動電話機接続を**しない**に設定しているときに、手動でBluetooth接続することができます。また、Bluetooth接続中に、手動で切断することができます。

1 **情報** を押します。

- G-BOOKが選択されているときは **情報** にタッチします。

2 **電話** にタッチします。

アドバイス

- 携帯電話の接続状況により、携帯電話が車内にある場合でも「携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示されることがあります。
- 携帯電話を手動で接続するときは、Bluetooth接続可能な状態にしてください。
- 接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにした後、初めて携帯電話とBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。接続失敗の表示がされてもその後接続できれば、接続完了の表示が1回のみ表示されます。（ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。）
- 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

3 ハンズフリー にタッチします。

- タッチすることによって接続・切断を繰り返します。
- 接続中は作動表示灯が点灯します。

作動表示灯



●ダイヤル画面

作動表示灯



●ワンタッチダイヤル画面

Bluetooth接続の再接続について

エンジンスイッチがACCまたはONのときに、一度接続が成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。この場合、接続完了しても表示はありません。

■Bluetooth接続が意図的に切断された場合

手動でBluetooth接続を切断したときや携帯電話側からBluetooth接続をOFFにしたときなど、一度接続が成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

- 手動で接続する.....前ページ
- 改めて携帯電話を選択する.....67ページ

👉 アドバイス

再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(前ページ参照)

1. ハンズフリーの準備

通信モジュールを選択する

通信モジュール使用時

G-BOOK mX Proモデルで自動車専用ハンズフリー電話をオプション契約した場合は、通信モジュールを使用してハンズフリーを利用することができます。

通信モジュールでのハンズフリーと携帯電話のハンズフリー両方をご利用の場合、電話機選択で選択された機器が接続されます。

- 1 **設定** を押します。
- 2 **電話** にタッチします。
- 3 **電話機選択** にタッチします。
- 4 **通信モジュール** にタッチします。

- 5 **完了** にタッチします。

- 携帯電話を Bluetooth 接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。



2. 電話のかけ方

本機では様々な方法で電話番号を呼び出し、電話をかけることができます。

ダイヤル画面を表示する

1

情報 を押します。

- G-BOOKが選択されているときは **情報** にタッチします。

2

電話 にタッチします。

- ダイヤル画面が表示されます。走行中に操作した場合は、ワンタッチダイヤル画面が表示されます。
- 携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、携帯電話を登録することができます。(47ページ参照)



●ダイヤル画面

この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

- **ダイヤル発信** 55ページ
電話番号を入力して電話をかける
- **電話帳発信** 56ページ
本機の電話帳から電話をかける
- **履歴発信** 57ページ
発信履歴または着信履歴から電話をかける
- **ワンタッチ発信** 58ページ
ワンタッチダイヤルから電話をかける

その他、次の方法で電話をかけることもできます。

- **音声認識発信** 208ページ
音声認識で電話をかける
- **ナビからの発信** 58ページ
ナビまたはG-BOOKのデータから電話をかける
- **携帯電話本体からの発信** 59ページ
携帯電話本体から電話をかける

2. 電話のかけ方

アドバイス

- ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
 - Bluetooth携帯電話は、本機に携帯電話を登録してBluetooth接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(47ページ参照)
 - 携帯電話はBluetooth機能を使用できる状態にしてご使用ください。携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
 - Bluetooth接続状態表示が灰色の場合は、ハンズフリーはご使用になれません。
 - **ハンズフリー** の作動表示灯が点灯していない場合は、ハンズフリーはご使用になれません。
 - 走行中は安全のため画面に電話番号などが表示されず、一部の操作ができなくなります。ただし、電話帳に登録されている電話番号のときは、電話帳に登録されている名称が表示されます。
 - 電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。
- ハンズフリーで使用する携帯電話でデータ通信中に電話をかけようとした場合は、メッセージが表示されます。データ通信を終了しても良い場合は、**はい** にタッチしてください。データ通信を終了したくない場合は、**いいえ** にタッチし、データ通信が終了してから、再度電話をかけてください。

ダイヤル発信する


電話番号を入力して電話をかけることができます。

ダイヤル画面を表示しているときに走行を開始すると、10キーがトーンダウンして、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできません。

1 ダイヤル画面で、1桁ずつタッチして電話番号を入力します。

- **修正** にタッチすると、最後の1桁が消去できます。
タッチし続けると、最後から1桁ずつ順に消去できます。



2  にタッチします。

3 発信できると、発信中画面が表示されます。

- 発信音が鳴った後、呼出音が鳴ります。



4 相手が電話に出ると、通話中画面が表示されます。

- この画面で通話ができます。



📌 アドバイス

- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
 - 発信音や呼出音が鳴らず、無音になることがあります。
 - 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
 - 通信事業者のサービスにより発信中画面で10キー入力する必要がある場合、10キー入力をしていてもトーン信号を送れないことがあります。10キー入力については、「10キー入力する」(63 ページ参照) をご覧ください。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、Bluetooth オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

2. 電話のかけ方

電話帳発信する

あらかじめ電話番号を本機の電話帳に登録しておくことにより（76ページ参照）、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

1 ダイヤル画面で、**電話帳** にタッチします。

- 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、電話帳編集画面（76ページ参照）が表示されます。

2 必要に応じて、**電話帳選択** にタッチして、電話帳を切り替えます。

- ショートカットスイッチは、**その他** にタッチすると英数字ショートカット、**50音** にタッチすると50音ショートカットに切り替わります。
- 英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。
（例）**ABC** に2回タッチすると、Bで始まるデータのリストが先頭に表示されます。

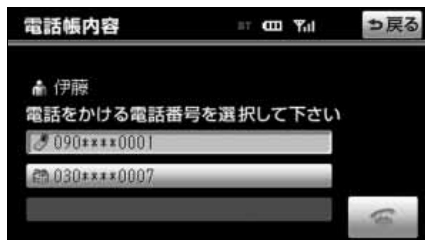



音声認識マーク

ショートカットスイッチ

3 希望の通話相手にタッチします。

4 電話番号が2件以上登録してあるときは、希望の電話番号にタッチします。



5  にタッチします。

アドバイス

音声認識の設定をしてあるデータは、名称の前に音声認識マークが表示されます。

履歴発信する

過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大5件記憶しています。それぞれの履歴は5件以上になると、古い履歴から自動で削除されます。

履歴に登録されている電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

1 ダイヤル画面で **履歴** にタッチします。



2 必要に応じて、**発信履歴** または **着信履歴** にタッチして、履歴の表示を切り替えます。



●発信履歴画面



●着信履歴画面

不在着信アイコン


着信拒否アイコン

アドバイス

- 着信履歴画面では、不在着信および着信拒否の電話番号の場合、それぞれアイコンが表示されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - 本機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されます。
 - 同一電話番号から発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
 - 本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されます。
 - 不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
 - 相手先電話番号の情報がない場合は、着信履歴に「通知不可」と表示されます。
- 携帯電話から位置情報を転送して表示した地図（「ナビゲーション／オーディオの操作詳細版」-「携帯電話から呼び出す」参照）で、**情報** にタッチして発信した場合、発信履歴に登録されなかったり、違う名称で登録されたりすることがあります。
- 履歴を削除したいときは、「履歴を削除する」（86 ページ参照）をご覧ください。

2. 電話のかけ方

3 希望の通話相手にタッチします。

4  にタッチします。



ワンタッチ発信する

電話帳に登録してある任意の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくことにより（84ページ参照）、簡単な操作で電話をかけることができます。

また、ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

1 ダイヤル画面で、**ワンタッチダイヤル** にタッチします。

2 希望の電話番号にタッチすると、発信されます。


● ページを切り替えるときは、**ワンタッチ1**、**ワンタッチ2**、**ワンタッチ3** のいずれかにタッチします。




■走行中に電話をかける場合

走行中にダイヤル画面を呼び出すと、ワンタッチダイヤル画面になり、ワンタッチで発信することができます。

ナビから発信する

ナビ画面で  または **電話をかける** が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

1  または **電話をかける** が表示されている画面を表示します。

2  または **電話をかける** にタッチします。



■ダイヤル画面の「交通・ナビ」の使い方

ダイヤル画面で **交通・ナビ** にタッチすると、ナビの交通・ナビ関連画面が表示され、電話をかけることができます。（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」-「電話帳を見る」参照）



👉 アドバイス

走行中にワンタッチ発信する場合、タッチスイッチに電話番号は表示されません。

携帯電話本体から発信する

携帯電話使用時


本機にBluetooth接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

■ハンズフリー画面を表示する

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth接続中であれば、情報・G画面（情報）で **電話** にタッチすると、ハンズフリー画面が表示されます。

この場合、**通話転送** 以外のタッチスイッチはトーンダウンし、操作できません。タッチスイッチを使用したいときは、通話転送の操作をしてください。（63ページ参照）

発信を中断する

発信中画面で  にタッチすると、発信を中断できます。

- 携帯電話本体で電話を切った場合も、発信を中断します。（携帯電話接続時）
- 発信が中断されると、ハンズフリー画面が解除されます。

⚠ 警告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

👉 アドバイス

- 携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
 - 携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
 - 単独で通話中の携帯電話が本機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。
- 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。


3. 電話の受け方

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号が表示されません。(64ページ参照)

電話を受ける

1 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知します。



2  にタッチします。

- 通話中画面が表示されます。
- 通話終了後は、ハンズフリー画面が解除されます。

👉 アドバイス


- 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
 - ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
 - 携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
 - 着信音については、
 - ① 車両のスピーカーから聞こえる
 - ② 携帯電話から聞こえる
 - ③ 両方から聞こえる
 など、機種によって異なります。また、携帯電話の着信音が鳴らないときは、本機に登録されている着信音が鳴ることがあります。
 - 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
 - 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
 - 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
 - 電話詳細設定画面で自動着信応答を **する** に設定しておくこと、自動で電話を受けることができます。(75ページ参照)
 - Bluetoothオーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

着信中画面で操作する


ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

電話を保留する（応答保留）

1 着信中、 にタッチします。

- 応答が保留されます。
- 応答保留中、**小** または **大** にタッチすると音量を調整できます。
- 応答保留中、 にタッチすると、電話を切って、ハンズフリー画面が解除されます。



2  にタッチします。

- 応答保留が解除され、通話できるようになります。



■ 通話を転送する

携帯電話使用時

Bluetooth携帯電話では、**通話転送** にタッチすると、応答保留中でも通話を転送することができます。（63ページ参照）

着信音量を調整する

着信中、次のいずれかの方法で調整します。

- 着信中画面で、**小** または **大** にタッチする。
- ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。（ステアリングスイッチ装着車の場合）

着信拒否する

着信中画面で、 にタッチし続けると、着信拒否できます。

ただし、携帯電話使用時は、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

👉 アドバイス

ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、本機の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。
- 着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

4. 通話中の操作

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。(64ページ参照)

通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- 受話音量の調整
- 通話の終了
- 10キー入力
- 送話音のミュート
- 通話の転送




●通話中画面

受話音量を調整する

通話中、次のいずれかの方法で調整します。

- 通話中画面で、**小** または **大** にタッチする。
- ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。(ステアリングスイッチ装着車の場合)

通話を終了する

通話中画面で  にタッチすると、通話を終了します。携帯電話使用時は、携帯電話本体で電話を切った場合も、通話は終了します。通話が終了すると、ハンズフリー画面が解除されます。

👉 アドバイス

ハンズフリーで携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

- 画面に表示される通話時間は、通話時間の目安を表示します。そのため、携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- 単独で通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのまま通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
- ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にする、またはエンジンをかけると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチがACCまたはONであれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(次ページ参照)

10キー入力する

通話中画面で、**トーン** にタッチすると、トーン入力画面が表示され、10キー入力できるようになります。



●トーン入力画面

送話音をミュート（消音）する

お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。（この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。）

通話中画面で **ミュート** にタッチします。

- ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- ミュートを解除したいときは、再度 **ミュート** にタッチします。



作動表示灯

通話を転送する

携帯電話使用時

Bluetooth携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

■画面で操作する

通話中画面または応答保留中画面で、**通話転送** にタッチします。

- 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

■携帯電話本体で操作する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、タッチスイッチでの操作ができます。
- 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

👉 アドバイス

- 携帯電話の機種により、送話音をミュート（消音）できない場合があります。
- 画面で通話転送の操作をした場合、転送に失敗して音声が聞こえなくなることがあります。

5. 簡易画面での操作

簡易画面で操作する

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。画面に電話番号および名称は表示されませんが、通常通り操作することができます。電話が切れる、または電話を切ると、表示は解除されます。

■簡易画面

電話詳細設定の着信割り込み表示（74ページ参照）で **簡易** を選択しているときに表示されます。



👉 アドバイス

携帯電話の機種により、画面に電話番号が表示される場合があります。

6. ハンズフリーの設定

ここでは、ハンズフリーの各種設定方法について説明しています。
お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

設定・編集画面（電話）を表示する

1 **設定** を押します。

2 **電話** にタッチします。

● 設定・編集画面（電話）が表示されます。



● 設定・編集画面（電話）

タッチスイッチ	機能	ページ
音量設定	ハンズフリーの各音量の設定	次ページ
電話機選択	使用する通信機器の選択	67
	電話機詳細情報の表示・変更	69
電話帳編集	電話帳の転送・登録・編集・削除	76
	ワンタッチダイヤルの登録・削除	84
Bluetooth設定	使用する携帯電話の登録	47
	携帯電話の登録削除	73
	Bluetooth設定の変更	71
電話詳細設定	セキュリティの設定	87
	自動着信応答の設定	75
	ACC ON時 接続確認案内の設定	75
	着信割り込み表示の設定	74
	自動電話機接続の設定	49

6. ハンズフリーの設定

音量の設定をする

- 1 設定・編集画面（電話）で **音量設定** にタッチします。



- 2 音量設定画面で各設定をします。



↑
作動表示灯

- 音量調整 右記
- 高速時の自動音量切替 右記

- 3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

音量の設定をする

音量設定画面で、各音量の **小**、または **大** にタッチして調整します。

受話音量：通話相手の音声の音量が調整できます。

着信音量：着信音の音量が調整できます。

高速走行時の自動音量切替を設定する

音量設定画面で、**高速時の自動音量切替** にタッチするたびに、ON（自動で上がる）とOFF（上がらない）が切り替わります。

- ONにしたときは、作動表示灯が点灯します。

アドバイス

- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 着信音音量は、着信中画面でも調整できます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。
- 高速時の自動音量切替をONにすると、車速が約80km/h以上になると、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。（車速が約70km/h以下になると、もとの音量に復帰します。）
- **初期状態** にタッチすると、音量設定の項目が初期設定の状態にもどります。

使用する通信機器を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。複数の携帯電話を使用するときや通信モジュールを使用するとき、必要に応じて通信機器を選択する必要があります。

携帯電話は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。

- 1** 設定・編集画面（電話）で **電話機選択** にタッチします。



- 2** 携帯電話を使用するときは、携帯電話をBluetooth接続可能状態にしておきます。

- 3** 使用する携帯電話または通信モジュールを選択しタッチします。

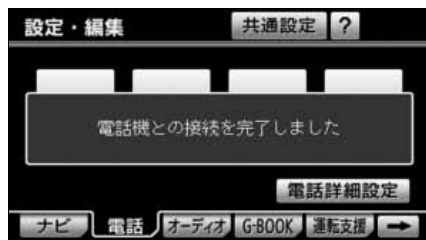


Bluetoothマーク

- 4** **完了** にタッチします。

- 通信モジュールを選択した場合は、これで使用できます。
- 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**はい** にタッチします。

- 5** 接続完了のメッセージが表示されます。



アドバイス

- Bluetooth接続中の携帯電話は、Bluetoothマークが表示されます。
- 携帯電話の登録については、「**携帯電話の登録**」47 ページを参照してください。
- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、電話機選択はできません。
- Bluetoothオーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声途切れることがあります。

6. ハンズフリーの設定

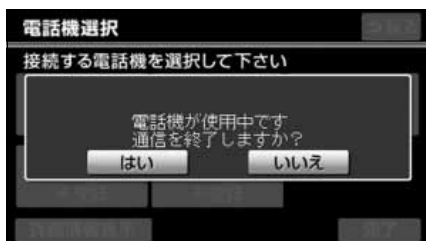
■G-BOOK オンラインサービスを携帯電話で利用するとき

携帯電話の利用方式が変更になる場合は、携帯電話の選択後、使用する携帯電話の設定を行ってください。(180 ページ参照)

■データ通信中の場合は

データ通信中に電話機選択をすると、メッセージが表示されます。通信を終了するときには **はい**、終了しないときは **いいえ** にタッチします。

- **いいえ** にタッチした場合は、データ通信終了後、再度 **3** からやり直します。



電話機詳細情報を表示する

電話機詳細情報は、本機に登録されている携帯電話または通信モジュールに関する情報の表示と設定をすることができます。情報は、次の項目が表示されます。

● 機器名称

本機に表示される携帯電話または通信モジュールの名称です。携帯電話の場合は、任意の名称に変更することができます。

● 機器アドレス

機器固有のアドレスで、変更することはできません。通信モジュールの場合は、表示されません。

● 自局電話番号

携帯電話または通信モジュールの電話番号です。

- 1 電話機選択画面で、詳細情報を表示したい携帯電話または通信モジュールを選択しタッチします。



- 2 **詳細情報表示** にタッチします。

- 電話機詳細情報画面が表示されます



- 電話機詳細情報画面

携帯電話の名称を変更する

携帯電話使用時

本機に表示される携帯電話の名称を、任意の名称に変更することができます。全角で最大10文字、半角で最大20文字まで入力できます。

なお、本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

- 1 電話機詳細情報画面で **変更** にタッチします。



- 2 機器名称をソフトウェアキーボードで入力します。



6. ハンズフリーの設定

自動で着信拒否する

通信モジュール使用時

電話機選択で通信モジュールを選択している場合は、自動着信拒否の設定をすることができます。自動着信拒否を設定すると、通信モジュールの電話番号に電話がかかってきたとき、自動で着信拒否します。ただし、ヘルプネットの呼び返し待機状態の間のみ、一時的に自動着信拒否を解除します。

通信モジュールを使用してハンズフリーを利用しているとき、電話に出たくない場合に使用します。

1 **設定** を押します。

2 **電話** にタッチします。

3 **電話機選択** にタッチします。

4 **通信モジュール** にタッチします。



5 **詳細情報表示** にタッチします。



6 自動着信拒否の **する** にタッチします。

- 設定を解除するときは **しない** にタッチします。



7 **完了** にタッチします。

Bluetooth設定を変更する

Bluetooth設定は、本機に関するBluetooth設定情報の表示と設定の変更をすることができます。情報は、次の項目が表示されます。

- **機器名称**
Bluetoothネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。
- **パスキー**
携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4～8桁の任意の数字に変更することができます。
- **機器アドレス**
本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称やパスキーを他のBluetooth機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

- 1** 設定・編集画面（電話）で
Bluetooth設定 にタッチします。



- 2** Bluetooth設定画面が表示されます。機器名称やパスキーを変更する場合は、この画面でそれぞれの **変更** にタッチします。



- 3** 機器名称はソフトウェアキーボードで入力します。

- 半角で最大20文字まで入力できます。
- 文字を修正するときは、**修正** にタッチします。



👉 アドバイス

- **初期状態** にタッチすると、Bluetooth設定の項目が初期設定の状態にもどります。
- 機器名称を変更した場合、Bluetoothオーディオ設定の機器名称（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」-「設定を変更する」参照）も同時に変更されます。パスキーについては、それぞれ別の数字を設定することができます。

6. ハンズフリーの設定

4 パスキーはパスキー変更画面で入力します。4～8桁の範囲で任意の数字を入力し、**完了** にタッチします。

- 数字を修正するときは、**修正** にタッチします。



5 設定が終わったら、**完了** にタッチします。



Bluetooth電話機の登録を削除する

- 1 Bluetooth設定画面で、Bluetooth電話設定の **削除** にタッチします。

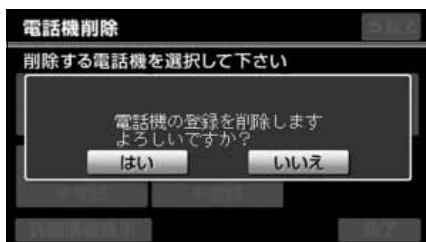


- 2 削除する携帯電話にタッチします。



- 3 **完了** にタッチします。

- 4 **はい** にタッチします。



■データ通信中の場合は

データ通信中に携帯電話の登録を削除すると、メッセージが表示されます。通信を終了するときは **はい**、終了しないときは **いいえ** にタッチします。

いいえ にタッチした場合は、データ通信終了後、再度 **2** からやり直します。

👉 アドバイス

緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

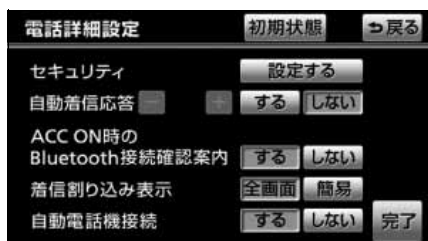
6. ハンズフリーの設定

電話詳細設定をする

- 1 設定・編集画面（電話）で
電話詳細設定 にタッチします。



- 2 電話詳細設定画面で各設定をします。



- セキュリティの設定 87ページ
- 自動着信応答 次ページ
- ACC ON時のBluetooth接続
確認案内 次ページ
- 着信割り込み表示 右記
- 自動電話機接続の設定 49ページ

- 3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

着信割り込み表示

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を選択できます。



●簡易表示

電話詳細設定画面で、着信割り込み表示の**全画面**、または**簡易** にタッチします。

全画面：着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、タッチスイッチで操作することができます。

簡易：着信中、通話中および応答保留中に、電話番号および名称を表示しない簡易画面が表示されます。全画面同様、タッチスイッチで操作することができます。

👉 アドバイス

着信割り込み表示の設定が**簡易**の場合でも、携帯電話の機種により、画面に電話番号が表示される場合があります。

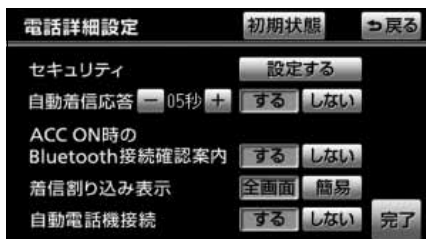
自動着信応答

自動着信応答を設定しておく、電話がかかってきたときに、あらかじめ設定した待ち時間を経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話することができます。

1 電話詳細設定画面で、自動着信応答の**する**にタッチします。

2 **ー**、または**+**にタッチして、自動応答するまでの待ち時間を1～60秒の間で設定します。

● 設定を解除するときは**しない**にタッチします。



ACC ON時のBluetooth接続確認案内

携帯電話使用時

エンジンスイッチをOFF (LOCK) からACCまたはONにして、携帯電話と自動的にBluetooth接続したときに、接続確認の案内を画面に表示するかしないかを選択できます。



● Bluetooth接続確認案内

電話詳細設定画面で、ACC ON時のBluetooth接続確認案内の**する**、または**しない**にタッチします。

■ 自動接続できなかった場合

自動接続は約60秒行います。自動接続を開始して約15秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか?」というメッセージが表示され、同内容の音声案内が流れます。60秒以内に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(50ページ参照)

アドバイス

- **初期状態** にタッチすると、電話詳細設定の項目が初期設定の状態にもどります。
- 携帯電話の機種により、Bluetooth接続確認案内が表示されない場合があります。
- 携帯電話の接続状況により、携帯電話が車内にある場合でも「携帯電話を忘れていませんか?」というメッセージが表示されることがあります。

7. 電話帳の編集

電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

- 携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する.....次ページ
- 本機の電話帳に新規登録する.....79ページ
- 発信履歴または着信履歴から登録する.....79ページ

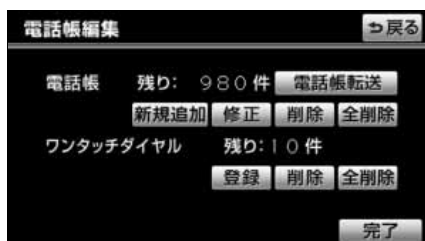
また、登録したデータは、本機で編集することができます。

この電話帳は1名につき最大3件の電話番号を登録でき、最大1000名分のデータを登録できます。

また、各データは電話帳でまとめることができ、最大5つの電話帳を使用できます。

電話帳編集画面を表示する

設定・編集画面（電話）で **電話帳編集** にタッチすると、電話帳編集画面が表示されます。



●電話帳編集画面

電話帳編集画面から、以下の操作を行うことができます。

- 電話帳データの転送.....次ページ
- 新規データの追加.....79ページ
- 電話帳データの修正.....82ページ
- 電話帳データの削除.....83ページ
- ワンタッチダイヤルの登録.....84ページ
- ワンタッチダイヤルの削除.....85ページ

👉 アドバイス

低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話使用時

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。本機の電話帳は、1名につき最大3件の電話番号を登録でき、最大1000名分のデータを登録できます。転送するときは、エンジンをかけた状態で行ってください。

この機能は、OPPに対応していない携帯電話では使用できません。

また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話に添付の取扱説明書を合わせてご覧ください。

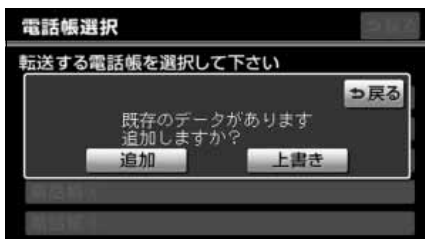
1 電話帳編集画面で、**電話帳転送** にタッチします。

2 電話帳データを転送したい電話帳を選択しタッチします。



3 選択した電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法の確認メッセージが表示されます。

既存のデータに上書きするときは**上書き**、既存のデータに追加するときは**追加**にタッチします。



4 電話帳データ転送画面が表示されたら、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。

- 携帯電話側の転送操作は、必ず下の画面を表示させた状態で行ってください。
- 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。
- 転送を中止したいときは、**中止** にタッチします。
- 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話帳編集画面にもどります。
- 転送失敗のメッセージが表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。



- 電話帳データ転送画面

7. 電話帳の編集

👉 アドバイス

- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
- 携帯電話の電話帳で1つの名称に4件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
- 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
- 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります。)
- 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
- 本機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
- 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。
- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
- 転送には10分程度かかる場合があります。
- 電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
- 電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
- 電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
- 電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンをかけて、再度転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
- 本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
- 何らかの原因で転送が中断されたとき
- 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- 電話帳データ転送中は、Bluetoothオーディオの接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります。)

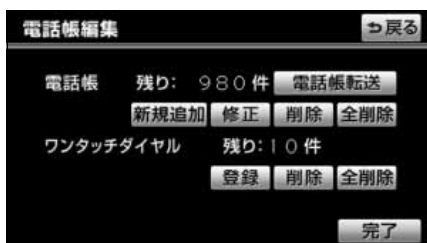
電話帳に新規データを追加する

本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

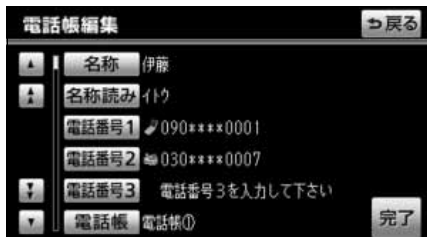
電話帳には、1名のデータにつき、次の項目を登録できます。

- 名称、名称読み、電話番号（最大3件）、電話番号アイコン（各電話番号に1つずつ）、電話帳、音声認識、認識読み

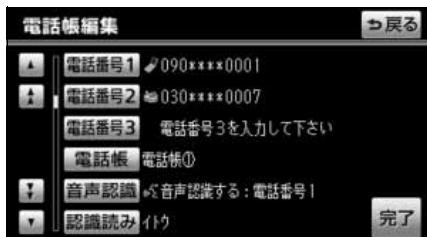
- 1 電話帳編集画面で **新規追加** にタッチします。



- 2 電話帳編集画面（詳細）で、各項目のスイッチにタッチして編集します。（次ページ参照）



- 電話帳編集画面（詳細）（1ページ目）



- 電話帳編集画面（詳細）（2ページ目）

- 3 編集が終わったら、**完了** にタッチします。

次の画面からも、電話帳編集画面を呼び出して、電話帳を編集することができます。

履歴内容画面

履歴内容画面（57 ページ参照）で、**新規登録** にタッチします。



7. 電話帳の編集

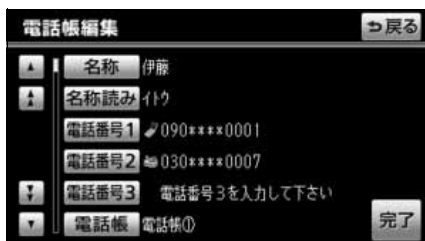
名称、名称読み、認識読みの編集をする

名称、名称読みは省略することができますが、その場合、電話帳画面には電話番号が表示されます。

認識読みは、音声認識発信をしたいときは必須入力項目です。なお、名称読みが入力されていないと、音声認識の対象にすることはできません。

- 1 電話帳編集画面（詳細）で、編集する項目のスイッチ（**名称**、**名称読み**、**認識読み**）にタッチします。

- 認識読みは、音声認識の設定（次ページ参照）がされているときのみ編集することができます。



- 2 ソフトウェアキーボードで入力します。



名称 : 全角で最大12文字、半角で最大24文字まで

名称読み: 半角で最大24文字まで

認識読み: 半角で最大24文字まで

電話番号を編集する

電話番号は、電話番号1、2、3にそれぞれ1件ずつ登録でき、1名につき最大3件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

- 1 電話帳編集画面（詳細）で、**電話番号1**、**電話番号2**、または**電話番号3** にタッチします。

- 2 電話番号画面で電話番号を入力し、**完了** にタッチします。



- 3 アイコン選択画面で、アイコンを選択しタッチします。



電話帳の選択をする

電話帳を設定しておく、電話帳選択画面で電話帳単位で表示できるので、通話相手を素早く検索することができます。

電話帳は、**電話帳①** ~ **電話帳⑤** の5つの中から選択できます。

1 電話帳編集画面（詳細）で **電話帳** にタッチします。

2 電話帳選択画面で、電話帳を選択しタッチします。



音声認識の設定をする

各データに対して、音声認識の対象にするかしないかを設定できます。

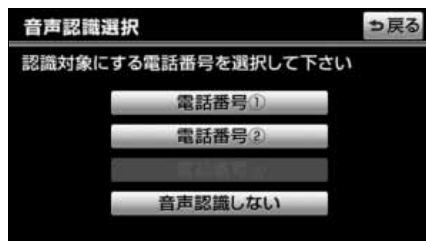
音声認識の対象に設定すると、各データの認識読みにより音声認識発信（208 ページ参照）ができます。

音声認識の対象にできるのは、最大500件です。

1 電話帳編集画面（詳細）で **音声認識** にタッチします。

2 音声認識選択画面で、**電話番号①**、**電話番号②**、または **電話番号③** にタッチして、音声認識の対象にする電話番号を選択します。

● 音声認識の対象からはずすときは、**音声認識しない** にタッチします。



3 音声認識読み確認画面で、音声認識で使用する読みを確認します。

● 読みを修正したいときは、**認識読み修正** にタッチして修正します。



4 **完了** にタッチします。

アドバイス

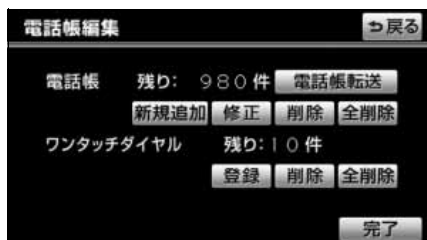
- 電話帳の名称読みが登録されていないと、音声認識の対象に設定することができません。音声認識発信で利用したい場合は、電話帳の名称読みを必ず登録しておいてください。
- 音声認識の対象に設定した電話番号を削除する、または電話帳の名称読みを削除すると、そのデータは音声認識の対象でなくなります。

7. 電話帳の編集

電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

- 1** 電話帳編集画面で、電話帳の **修正** にタッチします。

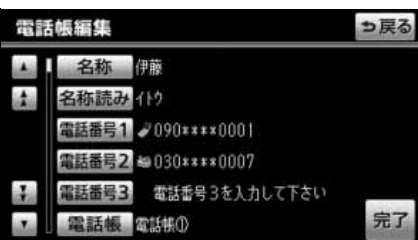


- 2** 修正したいデータにタッチします。

- **電話帳選択** にタッチすると、電話帳を選択することができます。



- 3** 各項目のスイッチにタッチして編集します。



- 4** 編集が終わったら、**完了** にタッチします。

電話帳のデータを削除する

電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

電話帳のデータを個別に削除する

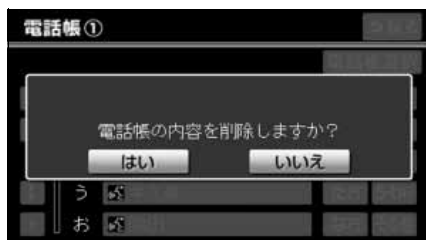
1 電話帳編集画面で、電話帳の **削除** にタッチします。

2 削除したいデータにタッチします。

● **電話帳選択** にタッチすると、電話帳を選択することができます。

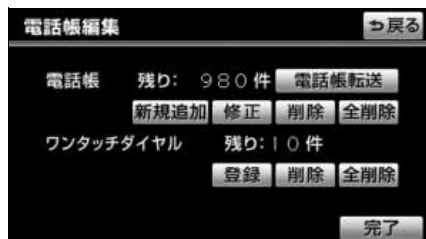


3 **はい** にタッチします。



電話帳のデータをすべて削除する

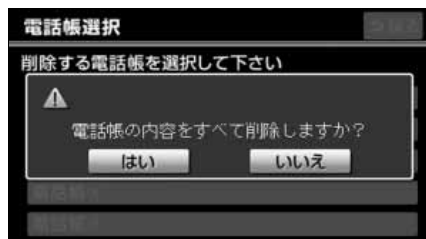
1 電話帳編集画面で、電話帳の **全削除** にタッチします。



2 削除する電話帳にタッチします。



3 **はい** にタッチします。



👉 アドバイス

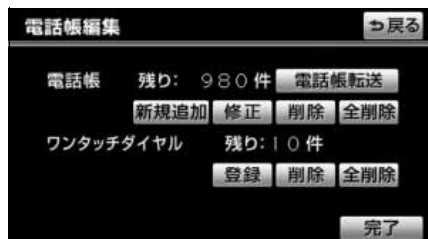
お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」- 「個人情報を元に戻す」参照)

7. 電話帳の編集

ワンタッチダイヤルを登録する

電話帳に登録してある任意の電話番号を、最大17件までワンタッチダイヤルに登録することができます。音声認識で発信したい番号は、**ワンタッチ1**（1ページ目）に登録してください。**ワンタッチ1**（1ページ目）の6件目には、自動的に最新の発信履歴（リダイヤル）が登録されます。

- 1** 電話帳編集画面で、ワンタッチダイヤルの **登録** にタッチします。

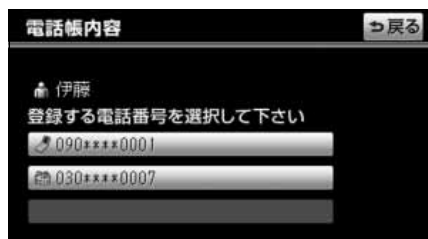


- 2** 登録したいデータにタッチします。

- **電話帳選択** にタッチすると、電話帳を選択することができます。



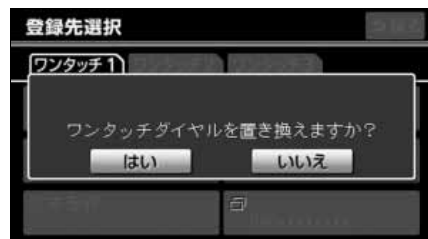
- 3** 登録したい電話番号にタッチします。



- 4** 登録したいスイッチにタッチします。



- 5** 登録済スイッチを選択したときは、置き換え確認のメッセージが表示されます。置き換えしてもよいときは **はい** にタッチします。

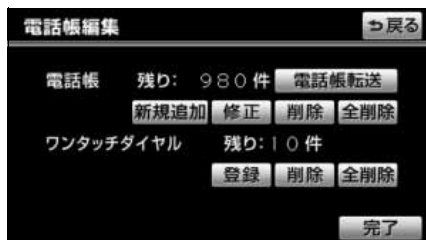


ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの01～17は、個別に選択して削除できます。
全削除すると、17件すべてを削除できます。

ワンタッチダイヤルを個別に削除する

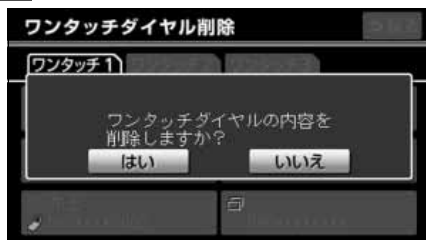
- 1** 電話帳編集画面でワンタッチダイヤルの **削除** にタッチします。



- 2** 削除したいワンタッチダイヤルのスイッチにタッチします。

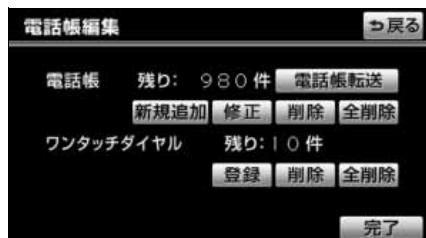


- 3** **はい** にタッチします。

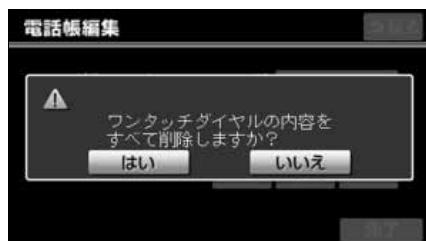


ワンタッチダイヤルをすべて削除する

- 1** 電話帳編集画面でワンタッチダイヤルの **全削除** にタッチします。



- 2** **はい** にタッチします。



👉 アドバイス

- ワンタッチダイヤルの01～17は、対応する電話帳のデータが削除されると、同時に削除されます。
- ワンタッチダイヤルのリダイヤルは、発信履歴をすべて削除した場合に削除されます。

8. 履歴の削除

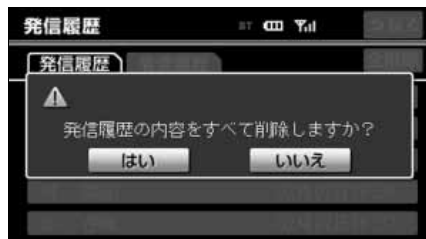
発信履歴および着信履歴のデータは、全削除ができます。

履歴を削除する

- 1** 発信履歴画面または着信履歴画面（57ページ参照）で、**全削除** にタッチします。



- 2** **はい** にタッチします。



👉 アドバイス

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」- 「個人情報を元に戻す」参照）

9. セキュリティの設定

セキュリティについて

セキュリティを設定すると、電話帳に関するハンズフリーの一部機能を使用できなくなることがあります。

ホテルで車を預けるときなど、他人に登録してあるデータを見られたくないときにご利用になると便利です。なお、セキュリティの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。

セキュリティを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。

ロックNo.を変更する

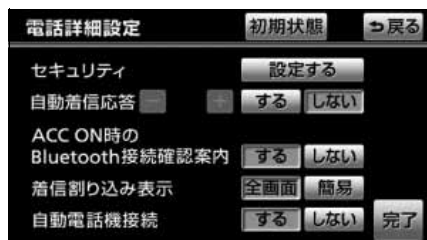
セキュリティの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。

ロックNo.は4桁の数字で、初期設定は「0000」になっています。

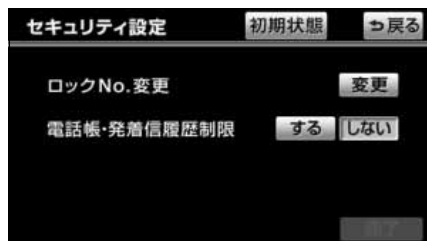
セキュリティを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。

なお、ロックNo.を変更するときは、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

- 1** 電話詳細設定画面(74 ページ参照)でセキュリティの **設定する** にタッチします。



- 2** ロックNo.変更の **変更** にタッチします。



- 3** 現在のロックNo.を入力します。

- 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



⚠ 注意

ロックNo.を変更するときは、ロックNo.を忘れないように管理してください。ロックNo.を忘れると、販売店でもセキュリティ設定を解除することができません。

万一ロックNo.を忘れてしまった場合は、セキュリティ設定の初期化を行ってください。(90 ページ参照) ただし、セキュリティ設定の初期化を行うと、電話帳データも削除されます。

9. セキュリティの設定

4 **完了** にタッチします。

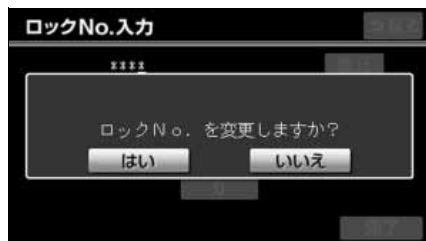


5 新しいロックNo.を入力します。

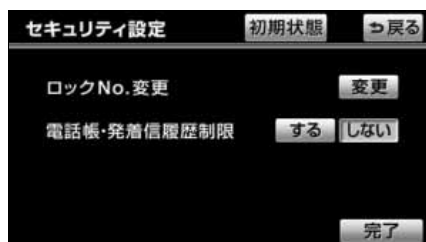


6 **完了** にタッチします。

7 **はい** にタッチします。



8 **完了** にタッチします。

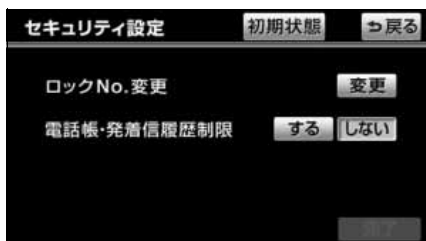


電話帳・発着信履歴制限をする

電話帳・発着信履歴制限を設定すると、次の機能を使用できなくなることができます。

- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・登録・修正・削除、電話帳発信
- ワンタッチダイヤル画面の表示、ワンタッチダイヤルの登録・削除、ワンタッチダイヤル発信
- 発信時および着信時の相手先名称の表示
- 発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- 電話機詳細情報画面の表示
- ロックNo.の変更

- 1 セキュリティ設定画面で電話帳・発着信履歴制限の **する** にタッチし、**完了** にタッチします。



- 2 ロックNo. 入力画面が表示されます。ロックNo.を入力し、**完了** にタッチします。



■ 設定を解除する

設定を解除するときには、セキュリティ設定画面で電話帳・発着信履歴制限の **しない** にタッチし、ロックNo.を入力します。

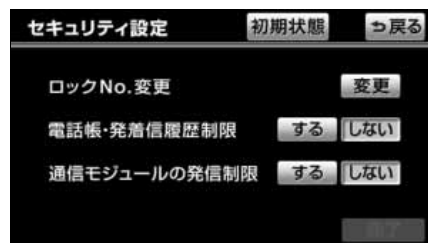
通信モジュールの発信制限をする

通信モジュール使用時

電話機選択で通信モジュールを選択している場合に、通信モジュールの発信制限をする、次の機能を使用できなくなることができます。

- ダイヤル発信
- 電話帳発信
- 履歴発信
- ワンタッチ発信
- 音声認識発信
- ナビからの発信
- 電話機選択(携帯電話から通信モジュールへ変更できなくなります。)

- 1 セキュリティ設定画面で通信モジュールの発信制限の **する** にタッチし、**完了** にタッチします。



- 2 ロックNo.入力画面が表示されます。ロックNo.を入力し、**完了** にタッチします。



■ 設定を解除する

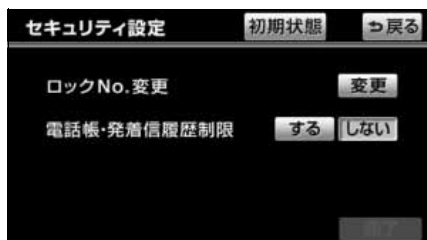
設定を解除するときには、セキュリティ設定画面で通信モジュールの発信制限の **しない** にタッチし、ロックNo.を入力します。

9. セキュリティの設定

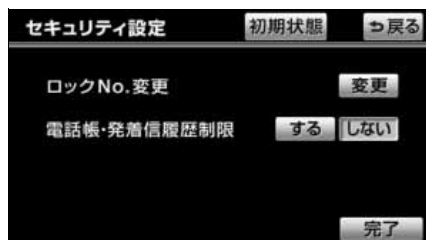
設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

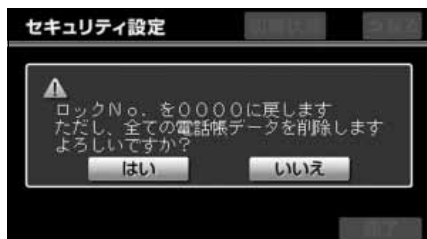
- 1** セキュリティ設定画面で **初期状態** にタッチします。



- 3** **完了** にタッチします。



- 2** **はい** にタッチします。



⚠ 注意

初期状態にもどすと、すべての電話帳データも削除されます。

1. 各種手続きをする

利用手続きについて

G-BOOK オンラインサービスの利用開始は、ご利用になるサービス（G-BOOK mX / G-BOOK mX Pro）により異なります。次の「利用手続きの手順」にしたがって実施してください。

アドバイス

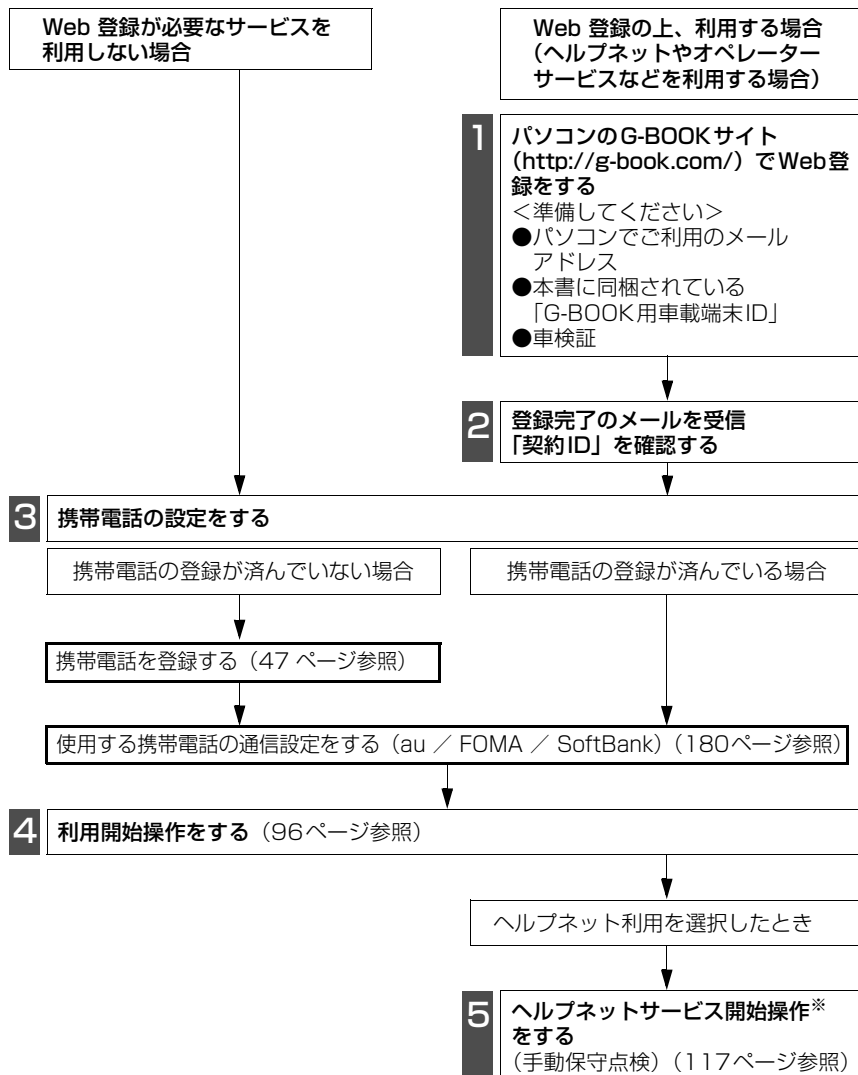
- 手続きを行うときは、次の点に注意して、手続きが中断しないようにしてください。中断すると、最初からやり直さなければなりません。
 - 通信が途中で切れないように、受信感度が良い場所で行ってください。
 - 手続きの途中で、中止や切断の操作をしないでください。また、エンジンをかけなおすなどのエンジンスイッチの操作をしないでください。
 - G-BOOK オンラインサービスを携帯電話で使用する場合、携帯電話を着信拒否に設定するなど、ハンズフリーで着信できないようにしてください。
- パソコンのG-BOOKサイト (<http://g-book.com/>) でWeb 登録をする場合、GAZOO 会員ID があれば、G-BOOK 契約ID として使えます。
- 車両1台につき1つの契約ID が必要です。同じ契約ID を複数の車両で利用することはできません。

1. 各種手続きをする

利用手続きの手順

利用手続きとそれに伴う各種設定は、ご利用になるサービスなどにより異なります。下図にしたがって、手続きを行ってください。

G-BOOK mX（携帯電話接続）をご利用の場合

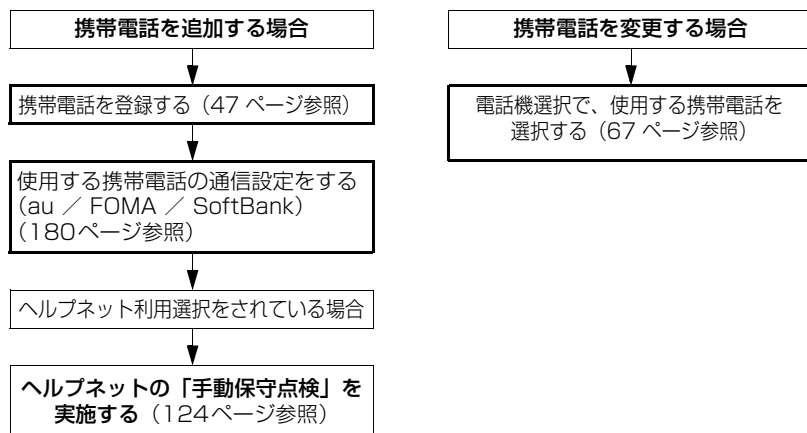


※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

携帯電話を追加・変更する場合

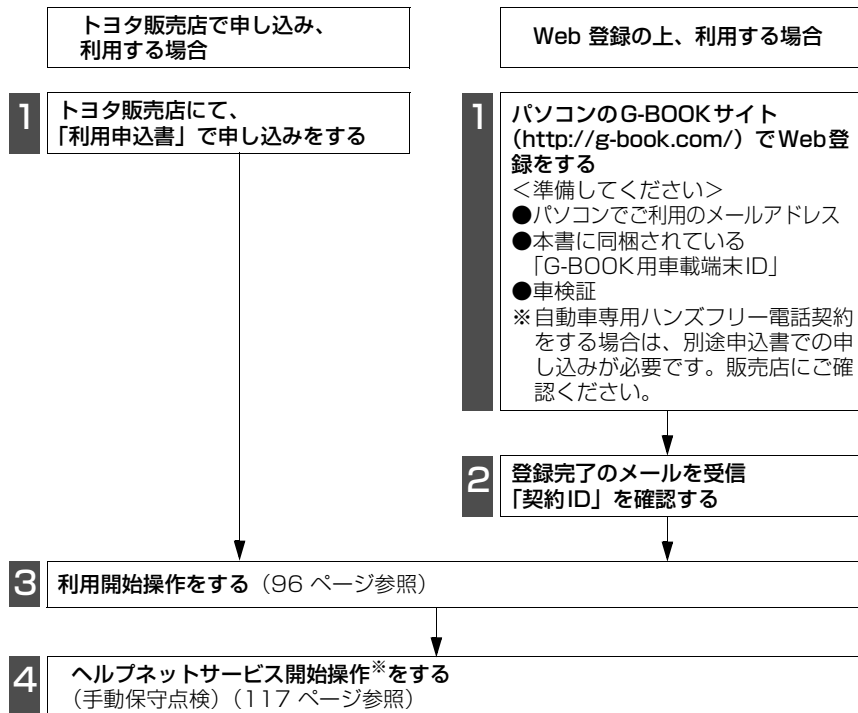
G-BOOK mX利用時

利用手続き後、データ通信に利用する携帯電話の追加や変更をする場合は、次の手続きを行ってください。



1. 各種手続きをする

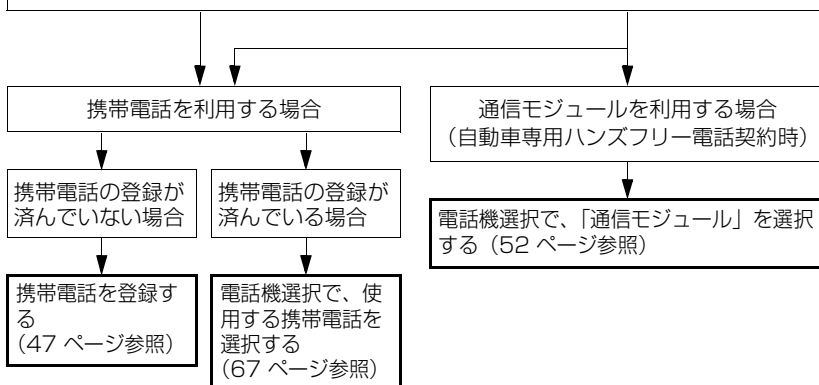
G-BOOK mX Pro（通信モジュール接続）をご利用の場合



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

ハンズフリー通話を利用する場合

5 ハンズフリー通話機器を選択する



- 初年度無料期間中は、G-BOOK 利用申し込み前でも一部のサービスはご利用いただけますが、すべてのサービスのご利用にはG-BOOK 利用申し込みが必要です。

初年度無料期間：初度登録日より初回の12ヶ月点検月の末日までとなります。

初年度無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。
利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。

1. 各種手続きをする

利用開始操作をする

利用開始操作は、ご利用のサービスにより操作手順が異なります。

該当のページをご覧くださいの上、手続きを行ってください。

利用開始操作は、可能な限り見晴しの良い場所で行ってください。

G-BOOK mXでWeb登録をしない場合 下記

G-BOOK mXでWeb登録をした場合 99ページ

G-BOOK mX Proの場合 100ページ

G-BOOK mXでWeb登録をしない場合

1 **情報** を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **メインメニュー** にタッチします。



3 **G-BOOK.com** にタッチします。



<参考>

- 画面が上記と異なる場合は、前ユーザーの解約手続きが完了していません。G-BOOK サポートセンターにご連絡ください。

G-BOOKサポートセンター
 全国共通・フリーダイヤル
 0120-104-370
 受付時間 9:00～18:00
 (年中無休)

4 **利用開始する** にタッチします。



5 サービス内容、利用規約などを確認し、画面の指示にしたがって操作します。

6 利用開始操作完了画面が表示されたら、**次へ** にタッチします。

- PC・携帯連携をご利用になる場合は、PC・携帯連携の利用手続きを行ってください。(右記参照)

■PC・携帯連携とは

GAZOO会員登録をした上で、PC・携帯連携の利用手続きをすると、パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで編集したデータを、本機で利用することができます。

●GAZOO 会員登録について

PC・携帯連携をご利用いただくには、GAZOO 会員である必要があります。GAZOO 会員の登録は、G-BOOK サイト (<http://g-book.com/>) で行ってください。PC・携帯連携の利用手続きでは、GAZOO 会員ID とパスワードの入力が必要です。

■PC・携帯連携を利用する

1 **情報** を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **メインメニュー** にタッチします。

3 **G-BOOK.com** にタッチします。

4 **ユーザー** にタッチします。

- 表示されているメニューは一例です。



👉 アドバイス

- 車両1台につき1つの契約ID が必要です。同じ契約ID を複数の車両で利用することはできません。
- 6ヶ月以上ご利用のない場合、再びGAZOO会員ID とパスワードを入力していただく必要があります。

1. 各種手続きをする

- 5** PC・携帯連携を利用する にタッチします。



- 6** 注意事項を確認し、画面の指示にしたがって操作します。

- 7** GAZOO 会員ID とパスワードを入力し、**決定** にタッチします。

- ID およびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボードで入力します。



- 8** 登録内容を確認し、画面の指示にしたがって操作します。

- 9** 手続き完了画面が表示されたら、利用が可能になります。

G-BOOK mXでWeb 登録をした場合

1 **情報** を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **メインメニュー** にタッチします。



3 **G-BOOK.com** にタッチします。



<参考>

- 画面が上記と異なる場合は、前ユーザーの解約手続きが完了していません。G-BOOK サポートセンターにご連絡ください。

G-BOOK サポートセンター
 全国共通・フリーダイヤル
 0120-104-370
 受付時間 9:00～18:00
 (年中無休)

4 **利用開始する (Web登録済の方)** にタッチします。



5 契約ID 照会画面が表示されます。ID とパスワードを入力し、**決定** にタッチします。

- ID およびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボードで入力します。



6 登録内容を確認し、画面の指示にたがって操作します。

7 G-BOOK利用手続き完了画面が表示されます。

- ヘルプネット利用を選択された場合は、**はい** にタッチし、ヘルプネットのサービス開始操作※ (117ページ参照) を行います。
- サービス開始操作が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

1. 各種手続きをする

G-BOOK mX Proの場合

1 **情報** を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **メインメニュー** にタッチします。



3 **G-BOOK.com** にタッチします。



<参考>

- 画面が上記と異なる場合は、前ユーザーの解約手続きが完了していません。G-BOOK サポートセンターにご連絡ください。

G-BOOK サポートセンター
 全国共通・フリーダイヤル
 0120-104-370
 受付時間 9:00～18:00
 (年中無休)

- 中古車の場合、**G-BOOK.com** にタッチしたあとに、通信初期設定画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

4 申し込み方法により、次の画面が表示されます。

- 申込書で申し込みの方は、本人確認の画面が表示されます。画面の指示にしたがって、確認・操作をします。
- Web 登録で申し込みの方は、契約ID照会画面が表示されます。IDとパスワードを入力し、**決定** にタッチします。

5 サービス内容などを確認し、画面の指示にしたがって操作します。

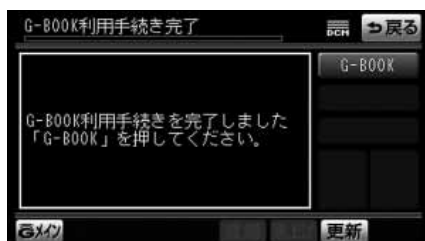
- G暗証番号の設定をしていない方は、G暗証番号の設定が表示されます。画面の指示にしたがって、確認・操作をします。

6 G-BOOK利用手続き完了画面に、ヘルプネットのサービス開始案内が表示されたら **はい** にタッチします。

7 ヘルプネットセンターの音声案内にしたがって、現在地とマイク音声を確認します。

8 G-BOOK利用手続き完了画面が表示されます。内容を確認し、手続きを終了します。

- サービス開始操作*が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。



*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

ユーザー画面について

登録内容の確認・変更やG 暗証番号の変更、支払方法の設定などを行なえます。

ユーザー画面を表示する

1 **情報** を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **メインメニュー** にタッチします。

3 **G-BOOK.com** にタッチします。



4 **ユーザー** にタッチします。

- 表示されているメニューは一例です。



ユーザー画面の使い方

ユーザー画面で行なえるメニューは、次のようなものがあります。

状況に応じて、次の各スイッチにタッチし、画面の指示にしたがって操作してください。

① **会員情報／利用契約変更・解約**

■ 利用登録・契約の解除

G-BOOK mXの利用登録・契約の解除、またはG-BOOK mX Proの解約手続きをするときに使用します。

② **コンテンツ購入履歴／解約**

有料コンテンツの解約をするときに使用します。

■ コンテンツ契約内容の確認

契約中コンテンツの確認および解約ができません。

③ **ドライブプランのデータコピー**

他のIDで作成したドライブプランデータ(My ルート、G メモリ)を、現在利用中のIDへコピーできます。

1. 各種手続きをする

Web 登録が必要なサービスを利用したくなったとき

G-BOOK mX 利用時

G-BOOK mX を Web 登録なしで利用開始したお客様で、有料コンテンツなどの Web 登録が必要なサービスを利用したい場合は、次の手順で再度、利用開始操作を行ってください。

■ Web 登録について

有料コンテンツのご利用には、まずパソコンの G-BOOK サイト (<http://g-book.com/>) で Web 登録が必要です。

G-BOOK センターから登録完了のメールを受信したら、本機から利用開始操作をします。

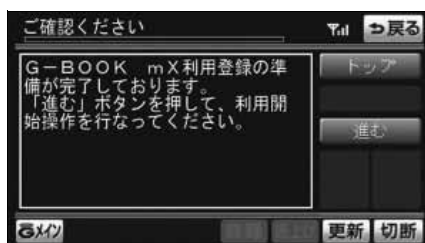
- 1 **情報** を押します。
- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

- 2 **メインメニュー** にタッチします。

- 3 **G-BOOK.com** にタッチします。



- 4 G-BOOK mX 利用登録準備完了の案内が表示されます。
進む にタッチします。



- 5 契約ID 照会画面が表示されます。ID とパスワードを入力し、**決定** にタッチします。

- ID およびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボードで入力します。



- 6 登録内容を確認し、画面の指示にたがって操作します。

👉 アドバイス

利用登録準備完了の案内が表示されない場合は、Web 登録手続きが G-BOOK センター側で完了していません。しばらくしてから再度操作してください。

サポートアドレスについて

サポートアドレスは、G-Securityやロードアシスト24などのサービス利用にあたって、お客様に連絡が必要になった場合の連絡先です。G-BOOK 利用申込書またはWeb 登録で入力いただいた緊急連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。

連絡先に変更があった場合は下記操作で変更してください。

サポートアドレスを確認・変更する

サポートアドレスの確認・変更は、ユーザーページで行います。

1 メインメニュー画面で
G-BOOK.com にタッチします。

2 **サポートアドレスの登録・変更** に
タッチします。

- 表示されているメニューは一例です。
この画面に表示されていないときは、**ユーザー** にタッチし、ユーザーページにて操作してください。



3 表示される電話番号を確認した後、
メール にタッチします。

- 電話番号を変更するときは、変更する電話番号にタッチし、入力します。

4 Eメールアドレスを確認します。

- Eメールアドレスを変更するときは、変更する Eメールアドレスにタッチし、入力します。

1. 各種手続きをする

継続方法を変更する

G-BOOK mX Pro利用時

G-BOOK mX Proは、年単位で契約更新となります。契約の更新日が近づくと、トヨタメディアサービス(株)より案内を送付します。契約の継続/停止は本機から手続きができます。

1 メインメニュー画面で
G-BOOK.com にタッチします。

2 **ユーザー** にタッチします。

3 **会員情報/利用契約変更・解約** に
タッチします。



4 **利用契約の確認・変更** にタッチします。



5 **利用契約内容の変更** にタッチします。



6 G暗証番号入力画面が表示されます。G暗証番号を入力し、**決定** にタッチします。

7 利用契約の変更画面が表示されます。

- 自動継続に変更したい場合は、**G-BOOK利用継続処理** にタッチします。
- 自動継続を停止[※]したい場合は、**自動継続停止** にタッチします。

※自動継続を停止すると、現在の契約期間の満了日をもって、解約となります。



8 G-BOOK利用契約の確認画面が表示されます。内容を確認し、**決定** にタッチします。

ポップアップ機能について

G-BOOK センターに接続すると、お客様のご利用状況により、ヘルプネット開通案内や次年度継続案内などのメッセージが表示されます。

お客様の必要に応じて、画面の指示にしたがって操作してください。(212 ページ参照)

アドバイス

- 自動継続に設定すると、次年度の契約を自動で更新します。契約の更新をし忘れて、ヘルプネットなどが解除されてしまうのを防ぐことができます。
- 契約の継続/停止は、パソコンのG-BOOKサイトからも手続きができます。

1. 各種手続きをする

有料コンテンツのご利用について

G-BOOK mXの場合、有料コンテンツの利用にはWeb 登録が必要です。

有料コンテンツの購入・解約

G-BOOK 有料コンテンツの購入・解約には、次の手続きが必要になります。
また、利用料金はコンテンツ毎に異なります。

■有料コンテンツ購入手続き

有料コンテンツを購入する際、コンテンツ購入手続き案内が表示される場合には、当該コンテンツの購入がされておられません。

画面の指示にしたがって、「規約への同意」「購入方法と支払い方法の確認」「G 暗証番号の入力」を実行し、ご利用ください。

■有料コンテンツ解約手続き

- 1 メインメニュー画面で
G-BOOK.com にタッチします。



- 2 **ユーザー** にタッチします。

- 表示されているメニューは一例です。



- 3 **コンテンツ購入履歴/解約** にタッチします。

- 4 **コンテンツ契約内容の確認** にタッチします。

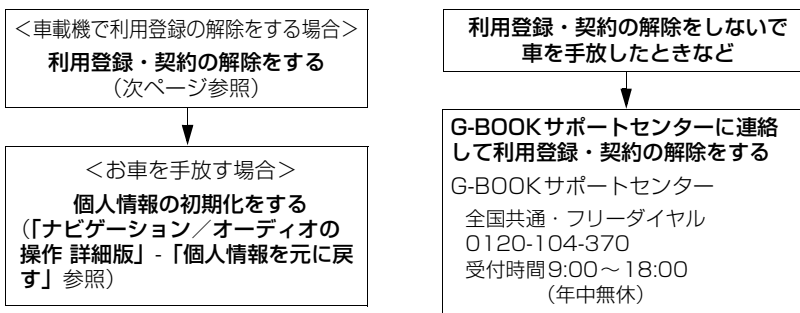
- 5 申し込み時、または利用手続き時に登録した「G 暗証番号」を入力の上、解約してください。

👉 アドバイス

「G 暗証番号」は、有料コンテンツを購入するときや、一部のサービスを本機や携帯電話から利用するときに入力していただく4桁の番号です。

利用登録・契約の解除について

お車を手放すときなど、G-BOOK オンラインサービスの利用登録・契約の解除をするときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。



👉 アドバイス

- 本機に保存した情報は、本機で利用登録・契約の解除をしたときのみ消去できます。お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、本機で利用登録・契約の解除および初期化を必ず行ってください。
- G-BOOK 契約ID は、利用登録・契約の解除後、GAZOO 会員ID として利用できます。

1. 各種手続きをする

利用登録・契約の解除をする

G-BOOK オンラインサービスの利用登録・契約の解除をするときは、次の手順で実施してください。

- 1 **設定** を押します。
- 2 **G-BOOK** にタッチします。
- 3 **G-BOOK 詳細設定** にタッチします。

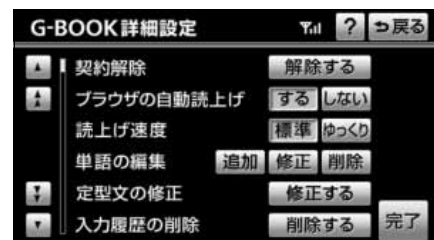
■お車を手放すとき

利用登録・契約の解除をただけでは、本機に保存したお客様の情報は消去されません。お車を手放すときは、次の操作も合わせて必ず実施してください。

- 個人情報の初期化（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」-「個人情報を元に戻す」参照）



- 4 契約解除の **解除する** にタッチします。



- 5 画面の指示にしたがって操作します。

👉 アドバイス

- ユーザー画面からでも利用登録・契約の解除ができます。
- G-BOOK オンラインサービスが利用できないようにしたい場合は、「非アクセス登録」をしてください。（次ページ参照）

非アクセス登録をする

G-BOOK オンラインサービスが不要というお客様は、G-BOOK サポートセンターに電話をしてください。

オペレーターに「非アクセス登録」を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。提出いただくと、利用開始操作ができないように設定します。

※ G-BOOK オンラインサービスを利用中のお客様は、事前に利用登録・契約の解除を行ってください。

- 再びG-BOOK オンラインサービスの利用をご希望の際は、G-BOOK サポートセンターに電話をしてください。「非アクセス登録」の解除を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。

G-BOOKサポートセンター
全国共通・フリーコール
0800-123-0016
受付時間 9:00～18:00
(年中無休)

2. ヘルプネット

ヘルプネットについて

ヘルプネットは、急病などの緊急事態発生時に、ヘルプネットスイッチにタッチするだけでヘルプネットセンターに接続し、車内からの通報を補助するシステムです。

ヘルプネットセンターに電話が接続されるとオペレーターが応答し、ドライバーあるいは他の乗員から状況を確認して、通報位置に適した警察または消防にお客様の状況を通報します。本システムは、エンジンスイッチがACCまたはONのときに作動します。

- G-BOOK mXの場合、G-BOOK利用開始日より3年間で利用いただけます。

なお、4年目以降およびG-BOOK利用登録解除・ヘルプネット利用登録解除後の再利用登録は、有料となります。

料金については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。

ご利用には、Web登録が必要です。

■ サービス開始と利用登録の解除について

ヘルプネットは、本機でG-BOOK オンラインサービスを利用開始の上、サービス開始操作※が完了すると利用することができます。(117ページ参照)

利用登録の更新については、トヨタメディアサービス(株)より、更新月前に案内があります。

ヘルプネットの利用登録の解除は、G-BOOK オンラインサービスの利用登録・契約の解除と同時に実施されます。G-BOOK mXの場合は、ヘルプネットのみの利用登録の解除を本機から行うことができます。(127ページ参照)

- ヘルプネットは(株)日本緊急通報サービスの登録商標です。



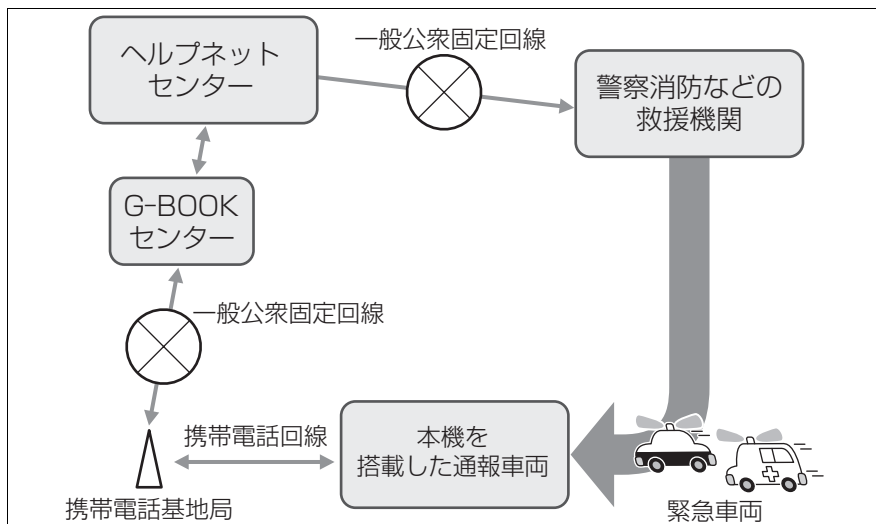
注意

ヘルプネットは警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行えません。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

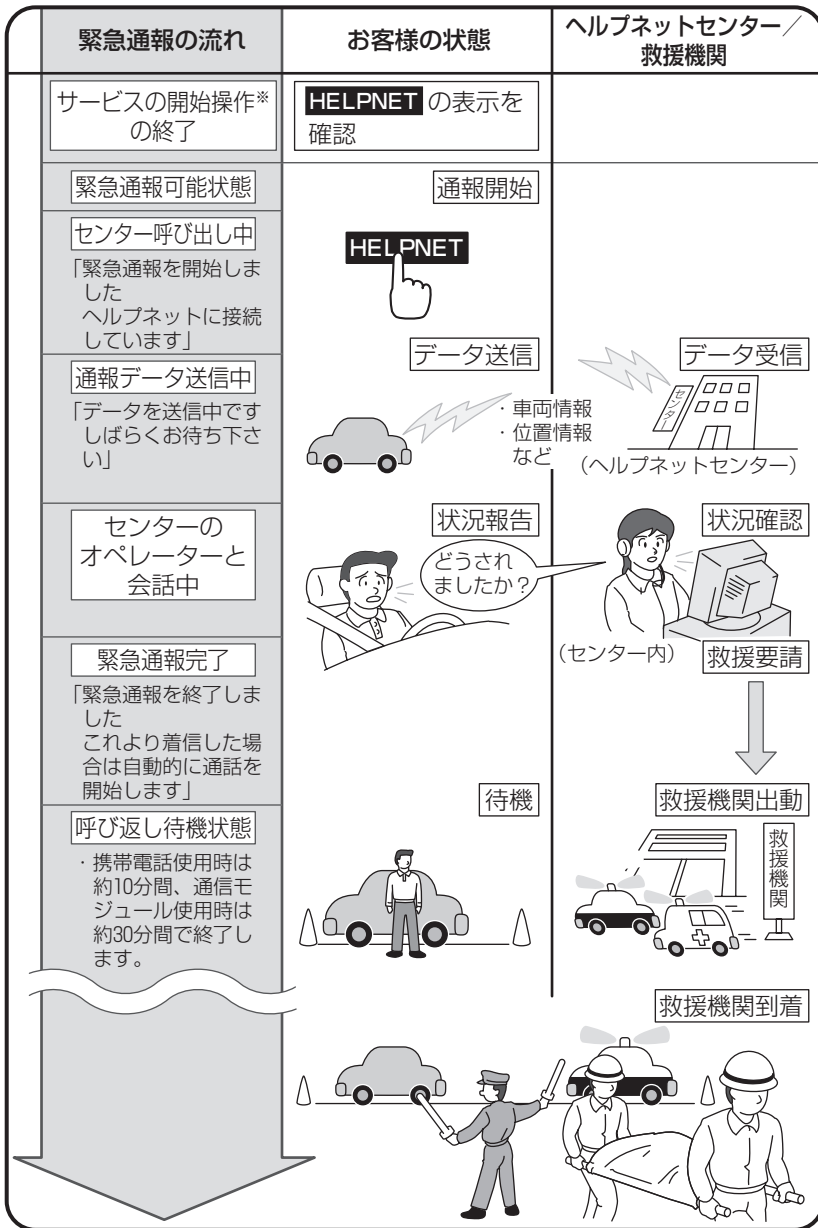
緊急通報のしくみ

本機の画面に表示される **HELPNET** にタッチすると、ヘルプネットセンターに通報し、専門のオペレーターが応答します。



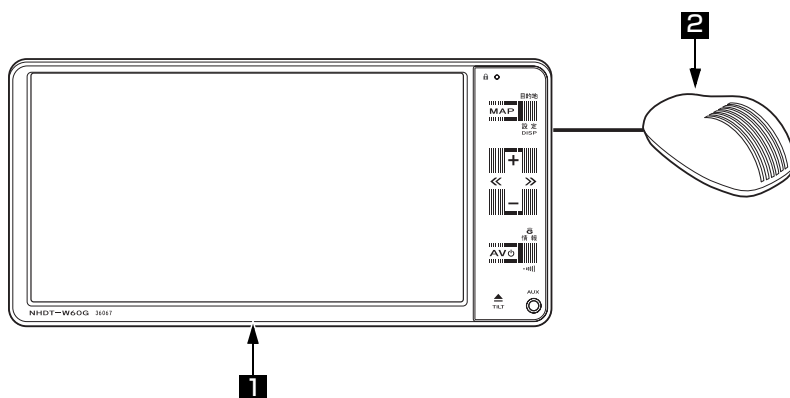
2. ヘルプネット

■緊急通報の主な流れ



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

各部の名称とはたらき



	名称	機能
1	車載機	緊急通報時や手動保守点検時に使用します。
2	マイク	緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用します。

⚠ 注意

本機が故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。本機に液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。本機が故障したときは、必ず販売店にご相談ください。

2. ヘルプネット

安全のために

⚠ 警告

- 安全運転を心がけてください。
本機は、急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じる時は、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- サービス開始操作^{*}は契約者本人が行い、情報・G画面（G-BOOK）に **HELPNET** が表示されていることを必ず確認してください。
- 本機は衝撃などによって、作動しなくなる場合があります。
このような場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できない場合があります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話できません。
緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - 携帯電話サービスエリア外でご使用の場合
 - 機器（車載機本体、携帯電話回線に接続する機器、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線）に異常または損傷があり、故障している場合
 - G-BOOK オンラインサービスの利用登録がされていない、または利用登録期限が切れている場合
 - ヘルプネットの利用登録がされていない、または利用登録が更新されていない場合
 - サービス開始操作^{*}を実施していないため、本機が緊急通報可能状態になっていない場合
- ヘルプネットを携帯電話で使用するとき、次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - 携帯電話と本機がBluetooth 接続されていない場合
 - 携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している場合
 - 携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない場合
 - 携帯電話が故障している場合
 - 携帯電話の料金を滞納している場合

^{*}ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

 警告

- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。「**携帯電話について**」をご覧ください。(128ページ参照)
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。
基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機のBluetooth接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。
走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。
- 本機はエアバッグと連動していないため、エアバッグが作動しても通報されません。
このような場合には、**HELPNET** による緊急通報をしてください。
- G-BOOK オンラインサービス、またはヘルプネットの利用登録を解除しても、G-BOOK画面に **HELPNET** が表示されているときは、販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。
- 煙が出る、変な匂いがするなどの異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止して販売店にご相談ください。

2. ヘルプネット

⚠ 注意

- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがある場合には、すぐに販売店にご相談ください。
- 本機の取り外しを行うと、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなる可能性があります。取り外しが必要な場合には、販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ず販売店にご相談ください。
- 次の温度範囲以外では、緊急通報や携帯電話が正常に動作しない場合があります。そのときは、最寄りの公衆電話を使用してください。
動作温度範囲：-20℃～+60℃
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物については、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合および車外に避難するときは、パークブレーキを確実に作動させ、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしてください。この場合、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした時点で、緊急通報は終了します。なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機のBluetooth接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、電話料金を滞納していると、緊急通報できません。電話料金の滞納にはくれぐれもご注意ください。

👉 アドバイス

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、ヘルプネットによる緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信の通信料金や通話時の通話料は、お客様のご負担となります。
- いたずらなどが原因で救急車両などの出動が起きた場合、該当費用に関しての請求や関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないようにしてください。

サービス開始操作※をする

ヘルプネットは、サービス開始操作※を完了してはじめて利用できるようになります。利用開始操作完了後、次の手順でサービス開始操作※および本機が正常に動作するか確認してください。この確認が行われないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

サービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

1 可能な限り見晴らしの良い場所に車を移動します。

- ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

2 「**手動保守点検**」(124ページ参照)を行い、次の点を確認します。

- 手動保守点検で、通信が正常に開始することを確認します。
- 通報位置が正しいことをヘルプネットセンターとの通話で確認します。
- 通話ができることを確認します。

3 手動保守点検後、情報・G画面(G-BOOK)に **HELPNET** が表示されます。

- 情報・G画面(G-BOOK)に **HELPNET** が表示されない場合は、再度、手動保守点検を実施してください。
- 手動保守点検が正常に終了しなくても **HELPNET** が表示される場合があります。この場合、緊急通報できないことがあるため、販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

2. ヘルプネット

⚠ 警告

- 通話が正常に終了したか否かの確認画面で **いいえ** にタッチする、または **MAP** などを押して他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作*を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、販売店にご相談ください。
- 次のように、本機が正常に動作しない場合、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
 - 発呼しない。
 - 通報位置とヘルプネットセンターでの位置表示が間違っている。
 - 通話できない。
- サービス開始操作*は途中で中断せず、最後まで完了してください。途中で中断した場合は、基本的に **HELPNET** は表示されませんが、**HELPNET** が表示された場合は販売店にご相談ください。
- サービス開始操作*時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあり危険です。手動保守点検時に本機が正常に動作しない場合や、**HELPNET** は表示されたが通話できない場合には、販売店にご相談ください。
- 手動保守点検後、**HELPNET** が表示されない場合、緊急通報は動作しません。**HELPNET** の表示が正常に行われない場合は、販売店にご相談ください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
 - 本システムで動作確認済みの携帯電話を使用してください。動作確認済みでない携帯電話をご使用になられると、緊急通報が動作しないおそれがあり危険です。また、携帯電話本体の破損など故障の原因となります場合があります。
 - ヘルプネットを使用する前に、携帯電話の登録（47 ページ参照）および使用する携帯電話の設定（180ページ参照）を行ってください。
 - 本機に携帯電話をBluetooth接続する際は、必ず携帯電話の電池残量を確認してください。携帯電話の電池が空になると携帯電話が動作しないため、緊急通報も動作しません。なお、本機には携帯電話の充電機能はありません。
 - 電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。「携帯電話について」をご覧ください。（128ページ参照）
 - 携帯電話と本機がBluetooth接続されていることを確認してください。接続されていないと、緊急通報は動作しません。

👉 アドバイス

- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー通話などが利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACC またはON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話の照明をOFF に設定してください。（設定については携帯電話の取扱説明書をご参照ください。）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

緊急通報をする

緊急通報は、急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターに通報するときに使用します。

エンジンスイッチがACC または ON のとき、情報・G画面（G-BOOK）で **HELPNET** にタッチすると緊急通報を開始します。

この操作をすれば、あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがっていただければ、緊急通報は完了します。

ここでは、緊急通報の流れを一通り説明します。実際に使用するときにあわてないために、流れを覚えておいてください。

ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機がBluetooth 接続されていることを確認してください。

1 情報 を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **HELPNET** にタッチします。



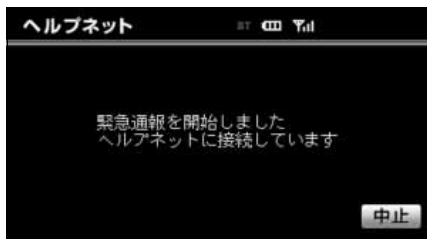
警告

- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
 - 携帯電話サービスエリア外では緊急通報動作が開始しても、緊急通報できません。
 - 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話できません。
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットセンターへ接続中に、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。緊急通報が中止されます。エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしてしまった場合、緊急通報はできていないので、再度エンジンスイッチをACC またはON にして通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機をBluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

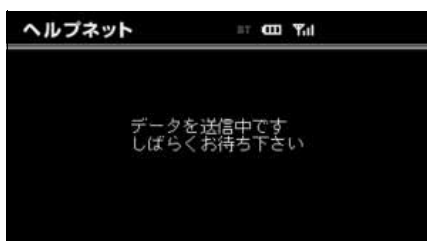
2. ヘルプネット

3 ヘルプネットセンターに接続を開始し、緊急通報を開始します。

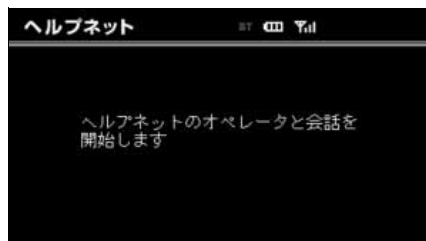
- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- 緊急通報を中止するときは **中止** にタッチします。



4 ヘルプネットセンターとデータ通信を行い、車両の位置などを送信します。



5 データ通信完了後、通話モードに切り替わります。



6 オペレーターと通話します。

- ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察または消防などへの通報の要・不要を伝えてください。
- 通話音量を調整するときは次のいずれかの操作をします。
 - ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。(ステアリングスイッチ装着車の場合)
 - **小** または **大** にタッチする。



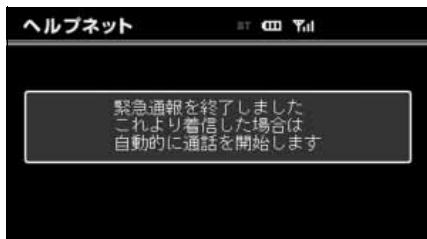
👉 アドバイス

- 緊急通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の応答が取れたときに関係機関に通報します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、通話中にエンジンスイッチをOFF (LOCK) にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。(ヘルプネットを通信モジュールで使用する場合は、緊急通報は中止されません。)

7 警察または消防への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察または消防に接続します。

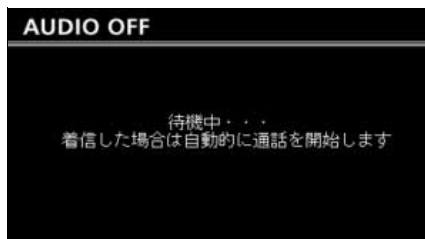
8 通話を終了します。

- ヘルプネットセンターが電話回線の切断を行います。



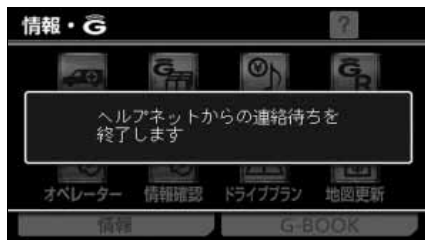
9 通話終了後、しばらくの間（携帯電話使用時は約10分間、通信モジュール(DCM)使用時は約30分間）は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になります。

- この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。



10 呼び返し待機状態が終了します。

- ヘルプネット画面が解除されます。



警告

呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。

基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。

なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と本機のBluetooth接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源がOFFになってしまった場合は、携帯電話の電源をONにし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth接続の切断により、通話も切断されることがあります。

2. ヘルプネット

アドバイス

- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、呼び返し待機中に携帯電話本体で電話を受けると、その時点でヘルプネット画面は解除されます。
- 呼び返し待機中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOK オンラインサービスは利用できません。
- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始時から通話終了までの間は、本機の音声自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOK オンラインサービスは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。

保守点検について

保守点検は、自動または手で車内からヘルプネットセンターに接続し、動作確認や契約状態の確認などを行うときに使用します。

保守点検は、次の2種類があります。

自動保守点検 下記
 手動保守点検 次ページ

自動保守点検

自動保守点検は、本機が定期的に自動で実施する保守点検です。お客様が利用登録されているかの確認を、ヘルプネットセンターがするために実施されます。

自動保守点検を行うための特別な操作は、とくに必要ありません。

自動保守点検は、次の要領で行われます。

■点検時期

(株) 日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。

■点検時間

自動保守点検は、開始後 1 ～ 2 分で終了します。



警告

ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機を Bluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。



注意

自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断してしまった場合は、次にエンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しない場合は、販売店にご相談ください。



アドバイス

自動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他の G-BOOK オンラインサービスは利用できません。この場合、自動保守点検が終了してからご利用ください。

2. ヘルプネット

手動保守点検

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

G-BOOK mXの場合、使用する携帯電話を追加・変更したときは、必ず手動保守点検と動作確認を行ってください。

手動保守点検は、次の保守点検を実施します。

- 車載機の保守点検（車載機修理点検や車両修理後の保守点検）
 - ヘルプネットセンターに利用登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機がBluetooth 接続されていることを確認してください。

- 1 現在地画面でGPS の受信（GPS マークが表示されること）を確認します。

GPS マーク



- 2 **情報** を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

- 3 **メインメニュー** にタッチします。

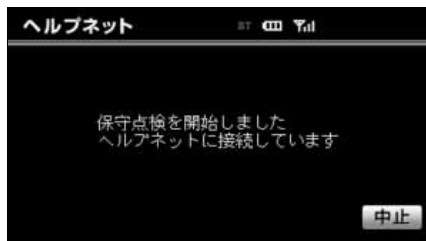


- 4 **保守点検** に約 10 秒以上タッチし続けます。



- 5 ヘルプネットセンターに接続を開始します。

- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
- 中止するときは **中止** にタッチします。



警告

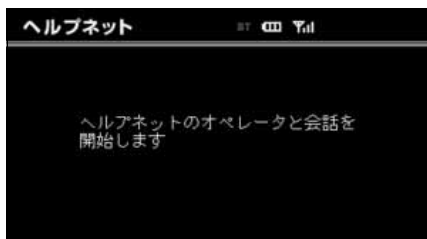
- 手動保守点検の途中で、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。エンジンスイッチをOFF (LOCK) にしてしまった場合は、再度手動保守点検をやり直してください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と本機をBluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

6 ヘルプネットセンターに接続すると、次の確認をするため、最初にデータ通信を行います。

- 車両の現在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに利用登録されているかどうか



7 データ通信完了後、通話モードに切り替わります。

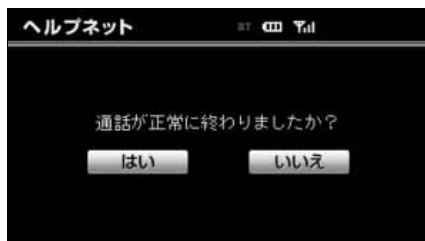


8 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話します。

- ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。“ビー”と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。
- 通話音量を調整したいときは、次のいずれかの操作をします。
 - ステアリングスイッチの音量スイッチで調整する。(ステアリングスイッチ装着車の場合)
 - **小** または **大** にタッチする。



9 サービス開始操作[※]時は、通話が正常に終了したら **はい** にタッチします。



! 警告

手順 **9** で表示された画面で **いいえ** にタッチする、または **MAP** などを押して他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作[※]を行い、本機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

2. ヘルプネット

- 10 メッセージが表示され、保守点検を完了します。



- 11 **情報** を押して、情報・G画面（G-BOOK）に **HELPNET** が表示されていることを確認します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。



⚠ 警告

サービス開始操作*で手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。

途中で中断した場合は、基本的に **HELPNET** は表示されませんが、**HELPNET** が表示された場合は販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- 手動保守点検は、正確に位置情報を送れることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPSを受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、エンジンスイッチを一度OFF（LOCK）にし、手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されない場合には、販売店にご相談ください。

👉 アドバイス

- 手動保守点検開始時から通話終了までの間は、本機の音声自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他のG-BOOK オンラインサービスは利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。

*ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

利用登録の解除

G-BOOK mX利用時

G-BOOK mXをご利用の方で、ヘルプネットのみ利用登録を解除したい場合は、次の手順で手続きを行ってください。

なお、ヘルプネット利用登録解除後に再利用登録をする場合は、有料となります。料金については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。

1 **情報** を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **メインメニュー** にタッチします。

3 **G-BOOK.com** にタッチします。

4 **ヘルプネットの利用登録と解除** にタッチします。

- 表示されているメニューは一例です。



5 **利用登録内容の確認・解除** にタッチします。



6 画面の指示にしたがって操作します。

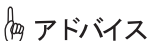
2. ヘルプネット

携帯電話について



警告

- 緊急通報の妨げになる電話機能は利用しないでください。(機能を解除する方法については、携帯電話の取扱説明書をご参照ください。)
 - (1) ダイヤルロック
 - (2) 発信を制限もしくは禁止する機能
 - (3) ドライブモード
 - (4) 着信拒否、着信制限
 - (5) 着信転送
 - (6) 留守番電話
 - (7) 発信者電話番号非通知
 - (8) 着信を制限もしくは禁止する機能
- ※ (1) (2) の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターに電話をかけることができないため、緊急通報が動作せず、危険です。
(3) ~ (8) の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターからの呼び返しができず、救援困難となる可能性があり危険です。
また、各通信事業者が独自に設定している付加サービス（キャッチホン、三者通話、セレクフォン、マルチナンバーなど）によっては、緊急通報が正常に動作しない場合があります。
- ヘルプネットはG-BOOK オンラインサービスの通信設定を利用します。
ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話を追加したときは、必ず使用する携帯電話の設定（180ページ参照）を行ってから、手動保守点検を実施して正常に動作することを確認してください。



アドバイス

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の通信機能はヘルプネットに優先的に使用されます。このため、次のような場合は携帯電話は使用できません。
- 携帯電話を使用中の場合でも、緊急通報が開始されると携帯電話の使用を中止します。
 - 緊急通報中は、携帯電話は使用できません。
 - 自動保守点検、手動保守点検のいずれかが先行して通信機能を使用している場合、携帯電話は使用できません。

緊急通報できない場合について

次のような場合には、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障があることがあります。

■G-BOOK 利用登録・契約の不成立または消滅

- 未登録の場合
- 利用登録・契約を解除した場合

■ヘルプネット利用登録の不成立または消滅

- サービス開始操作*を完了していない場合
- 利用登録を解除した場合

■車載機または車両関連機器の異常による通信不能

- 車載機（本機、通信モジュール、マイク、スピーカー、接続電気回路など）の故障
- バッテリーの電圧低下など、車両関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、車載機または車両関連機器の損傷

■緊急通報センターシステムの位置評定エラー

- GPSのシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などでGPSでの位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きい場合

■ヘルプネットセンター／G-BOOKセンターシステムの異常による通信不能

- センターシステムの故障など
- センターの火災などによる、センターシステムの損傷

■ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置する場合
- 携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信が不能の場合
- 携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑した場合など、通話利用もしくは通話時間の制限が行われ、結果としてヘルプネットによる通信ができない場合
- 通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができない場合
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止された場合

👉 アドバイス

ヘルプネットは、本機のGPS から位置情報を取得しています。（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」-「ナビゲーション画面の見方」参照）をご覧ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

2. ヘルプネット

■緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- センターシステムの保守を、定期的にもまたは緊急に行う必要がある場合
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中した場合

■その他

- ヘルプネットを携帯電話で使用する時、次のような理由で携帯電話が使用できない場合
 - 携帯電話と本機がBluetooth接続されていない
 - 携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している
 - 携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない
 - 携帯電話が故障している
 - 携帯電話の料金を滞納しているなど
- 緊急通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができない場合（緊急通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

3. G-Security (Gセキュリティ)

G-BOOK mX Pro利用時

G-Securityについて

G-Securityは、ドアのこじ開けなどオートアラームの作動を検知した場合、異常をメールや電話でお知らせします。また、車両盗難時はお客様の要請により、車両の位置を追跡し、警備員を現場に派遣します。

G-Securityのご利用に際して

G-Securityを利用するには、次の機器の装着が必要です。

- 車載機
- 通信モジュール
- G-BOOK対応オートアラーム：アラーム通知サービス利用時に必要です。

上記の必要機器を車両に装着された上で、G-BOOK mX Proに申し込みいただくと、次のようなサービスをご利用いただけます。

詳しくは、パソコンや携帯電話のG-BOOKサイト (<http://g-book.com/>) をご覧ください。

- **アラーム通知 (G-BOOK対応オートアラーム装着車のみ)** 137ページ
お車のオートアラーム作動を検知した場合、お客様へメールと電話でお知らせします。
- **エンジン始動通知** 137ページ
エンジンの始動を検知し、メールでお知らせします。
- **車両の位置確認** 138ページ
お客様の要請により、盗難車の位置を追跡します。
- **警備員の派遣** 138ページ
車両盗難や車上荒らしの際、お客様の要請により、警備員を派遣します。

👉 アドバイス

G-Securityでは車両の位置情報を使用します。本機が起動していない状態で車両が移動された場合、または電波の届かない場所に車両が移動された場合は、位置情報の変化を確認できません。

Eメールによる通知については遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。

また、G-BOOK利用契約を解除した場合、Eメールによる通知は送信されません。

3. G-Security (Gセキュリティ)

初期設定の確認・変更

アラーム通知※、エンジン始動通知の設定の確認・変更ができます。

- サポートアドレス（電話番号／Eメールアドレス）の登録がない場合は、通知されません。（135 ページ参照）

※ G-BOOK 対応オートアラーム装着車のみ

■ 通知設定の一覧

* 初期設定

サービス名	通知方法	設定	
アラーム通知	電話	設定中*	解除中
	Eメール	設定中*	解除中
エンジン始動通知	Eメール	設定中	解除中*

設定中・・・通知します。

解除中・・・通知されません。

解除中から設定中へ切り替える

1 **情報** を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **メインメニュー** にタッチします。



3 **セキュリティ** にタッチします。



4 設定したい項目にタッチします。



- 設定の説明画面が表示されるときは、内容を確認し、**確認** にタッチします。
- スイッチが「設定中」にかわり、通知設定が切り替わります。

設定中から解除中へ切り替える

1 **情報** を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **メインメニュー** にタッチします。



3 **セキュリティ** にタッチします。

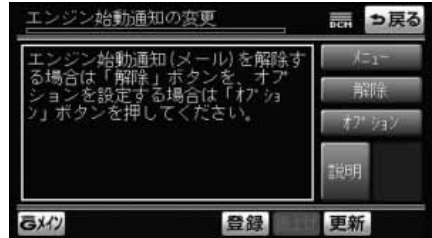


4 解除したい項目にタッチします。



5 エンジン始動通知を解除するときは、**解除** にタッチします。

- アラーム通知を解除するときは、**6** の手順を操作します。



6 G暗証番号またはパスワードを入力します。

- G暗証番号を登録しているときは、G暗証番号表示窓スイッチにタッチします。
- G暗証番号を登録していないときは、パスワード表示窓スイッチにタッチします。
- ソフトウェアキーボードで入力します。

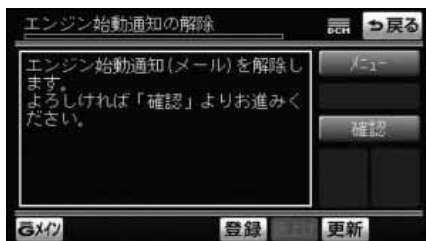
7 **解除** にタッチします。



3. G-Security (Gセキュリティ)

8 **確認** にタッチします。

- 設定が「解除中」にかわり、通知設定が切り替わります。



サポートアドレスについて

サポートアドレスは、車両の異常を検知した場合に、お客様にご連絡する際必要となる大切な連絡先です。

G-BOOK利用申込書またはWeb登録で入力いただいた電話番号とEメールアドレスが、あらかじめ登録されています。

連絡先に変更があった場合は下記操作で変更してください。

サポートアドレスの確認・追加・変更

1 **情報** を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **メインメニュー** にタッチします。



3 **セキュリティ** にタッチします。



4 **通知先の設定** にタッチします。



3. G-Security (Gセキュリティ)

5 追加・変更したい項目にタッチします。

■電話番号登録画面

- Eメールアドレスを追加・変更するときは、**メール** にタッチします。

サポートアドレスの登録

携帯電話: 09000000000

固定電話: 0000000000

予備電話: 未登録

TEL

メール

完了

説明

更新

■Eメールアドレス登録画面

- 電話番号を追加・変更するときは、**TEL** にタッチします。

サポートアドレスの登録

携帯メール: 未登録

予備メール1: 未登録

予備メール2: 未登録

TEL

メール

完了

説明

更新

6 編集画面で入力し **決定** にタッチします。

7 **完了** にタッチします。

サポートアドレスの登録

携帯メール: 未登録

予備メール1: 未登録

予備メール2: 未登録

TEL

メール

完了

説明

更新

👉 アドバイス

予備メールには、携帯電話またはパソコンのメールアドレスを登録できます。

アラーム通知

G-BOOK対応オートアラーム装着車

ドアのこじ開け、車内侵入などのオートアラーム作動^{*}を検知した場合、サポートアドレスに登録してあるEメールアドレスや電話番号に通知します。

^{*}詳しくは、別冊の取扱書をご覧ください。

アラーム通知の設定・解除を行うことができます。(132 ページ参照)

- 車外に出た後、ドア・トランク・ボンネットを閉め、全てのドアをロックした後、30 秒以上経過すると自動的にオートアラームが設定されます。
- アラーム通知はサポートアドレスに連絡されます。
- アラーム通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。(次ページ参照)
- バッテリーがあがった場合、アラーム通知は行われません。
- 車両の室内温度が非常に高いとき、アラーム通知の送信が行われないことがあります。
- 通信環境の整わない状況等によりアラーム通知の送信が行われない場合、送信が完了するまで継続されます。
- アラーム通知が未送信状態で、アラームが複数回作動した場合は、最新のアラームを通知します。
- ヘルプネット通報中は、通報が終わるまで、アラーム通知は行われません。
- G-BOOK利用契約を解除した場合、アラーム通知は送信されません。

エンジン始動通知

エンジン始動を検知し、ご指定のEメールアドレスに通知します。

また、車両から離れるとき、携帯電話などから設定しておく、第三者によるエンジン始動が分かります。

エンジン始動通知の設定・解除を行うことができます。(132 ページ参照)

- エンジン始動通知はサポートアドレスに連絡されます。
- エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。(次ページ参照)
- エンジン始動通知の連絡を受けた後、エンジンスイッチが OFF (LOCK) になったとき、ふたたび通知させることができます。
- エンジン始動通知の連絡を受けた後、10分間隔でふたたび通知させることができます。(24時間経過後、自動解除されます。)

3. G-Security (Gセキュリティ)

車両の位置確認

お客様の要請により、オペレーターが盗難車両の位置を追跡します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 - 57 - 6818
(365 日24 時間対応)

警備員の派遣

お車が盗難にあたり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

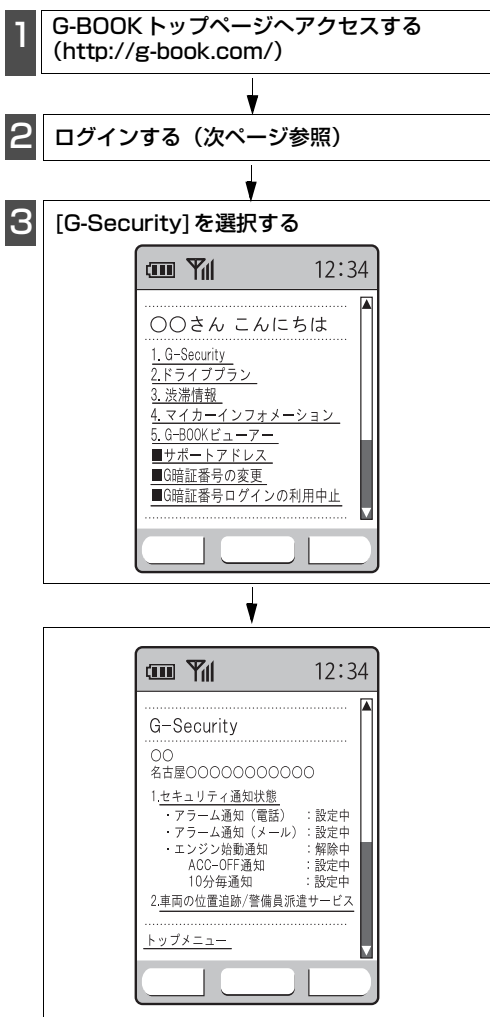
オペレーターサービス専用電話番号
0561 - 57 - 6818
(365 日24 時間対応)

- 警備員が出勤してから 1 時間以内は無料です。1 時間を超える場合は、オペレーターから延長するかどうかの確認を行います。延長した場合の利用料金は、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト (<http://g-book.com/>) でご確認ください。
- 警備員は盗難車両の確保はいたしません。追跡調査のみ行います。

携帯電話での操作について

G-Securityの設定・変更は、携帯電話のG-BOOKサイトから行うこともできます。
G-Securityの携帯電話での操作について簡単に説明します。

- 携帯電話本体の操作方法は、機種により異なります。
- 画面の内容は変更することがあります。
- G-BOOKのトップページのURLをブックマークとして登録することをお勧めします。
- 表示画面は、携帯電話の機種により異なります。



3. G-Security (Gセキュリティ)

G暗証番号ログインの登録

携帯電話のG-BOOKサイトでG暗証番号ログインの登録を行うと、サイトに簡単にログインできます。

G-BOOKのトップページへアクセスします。



QRコード※¹

↓
[G暗証番号ログインの登録] を選択します。

↓
携帯電話情報を送信しますか？※²

[はい] を選択します。

↓
IDとパスワードを入力します。

↓
[送信] を選択します。

↓
G暗証番号を入力します。※³

↓
[登録する] を選択します。

↓
[G-BOOKトップメニュー] を選択します。

↓
操作が完了します。

※¹ QRコードからアクセスできない場合は、URL (<http://g-book.com/>) からアクセスしてください。

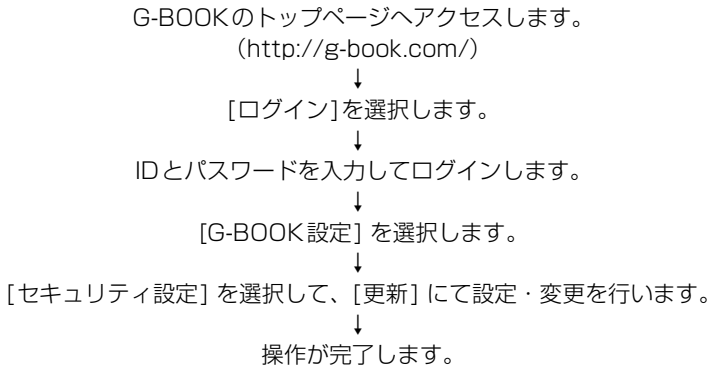
※² 一部機種のみ表示されます。(メッセージは機種により異なります。)

※³ すでに登録しているときはスキップします。

パソコンでの操作について

G-Securityの設定・変更は、パソコンのG-BOOKサイトから行うことができます。
G-Securityのパソコンでの操作について簡単に説明します。

- パソコン本体の操作方法は、機種により異なります。
- 画面の内容は変更することがあります。
- G-BOOKのトップページのURLをブックマークとして登録することをお勧めします。
- 表示画面は、パソコンの機種により異なります。



4. オペレーターサービス

オペレーターサービスについて

オペレーターサービスは、電話で依頼するだけで、オペレーターがお客様に代わって、ナビの目的地設定やレストラン／駐車場の検索などを行うサービスです。

■オペレーターサービスメニュー

ドライブサポート ●ナビの目的地設定 ●施設情報の案内／交通情報の案内
 ●駐車場の案内 ●ニュース／天気予報の配信
 ●電話番号の案内 ●夜間・休日診療機関の案内

セキュリティサービス ●オートアラームの作動連絡 ●盗難車両の位置追跡
 (G-BOOK mX Pro契約が必要) ●警備員の派遣手配

トラブルサポート ●ロードアシスト24への取次ぎ

	G-BOOK mX	G-BOOK mX Pro
申込	Web登録が必要(有料)	不要
ハンズフリー	必要	不要
通話料	お客様負担	無料*

* 携帯電話・固定電話からの通話料は、お客様のご負担になります。

詳しいサービス内容については、G-BOOKサイト (<http://g-book.com/>) をご覧ください。

👉 アドバイス

- 本機の時刻データが更新されていないと、オペレーターサービスを利用できません。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動し、**MAP** を押して地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。
- ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、オペレーターサービスを利用できません。
- オペレーターサービス中は、ヘルプネット以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、オペレーターサービスを終了してからご使用ください。
- マルチナンバーなど、ひとつの携帯電話に複数の番号が付与されるサービスをご利用の場合、オペレーターサービスが正常に動作しないことがあります。
- G-BOOK オンラインサービスを通信モジュールで使用する場合、電話機選択で携帯電話が選択されていても、オペレーターサービス中は一時的にBluetooth接続が切断されます。

オペレーターサービスを 購入する

G-BOOK mX利用時

利用するには、事前にWeb登録をした上で、コンテンツの購入手続きをします。

1 **情報** を押します。

● 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **オペレーター** にタッチします。



3 画面の指示にしたがって、購入手続きをします。

オペレーターサービス を使う

車内よりオペレーターサービスを利用する場合の使用例を紹介します。

1 **情報** を押します。

● 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **オペレーター** にタッチします。



👉 アドバイス

G-BOOK mX Proをご利用の場合は、オペレーターへの発信のみ可能です。着信やオペレーター以外への発信はできません。*

本機からご利用の場合は通話料は必要ありませんが、携帯電話、自宅やオフィスの電話からご利用の場合、通話料はお客様のご負担になります。

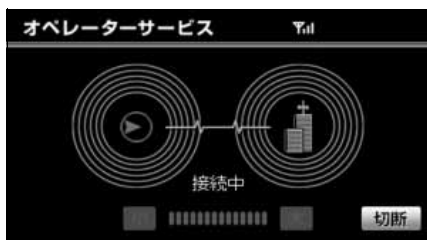
詳しくは、「携帯電話・固定電話から利用する」(145 ページ参照)をご覧ください。

* 自動車専用ハンズフリー電話を契約した場合は、着信やオペレーター以外への発信も可能です。

4. オペレーターサービス

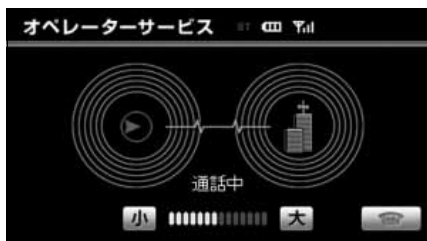
3 オペレーターに接続します。

- 中止するときには、**切断**（携帯電話使用時）または **中止**（通信モジュール使用時）にタッチします。



4 オペレーターと通話します。

- 「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容をオペレーターにお伝えください。



5 オペレーターとの通話が終了します。

- 自動的に回線が切断されます。



6 画面の指示にしたがって操作します。

- 「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、G-BOOK センターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。



携帯電話・固定電話から利用する

いつもご利用の携帯電話、自宅やオフィスの電話からも利用できます。

1 オペレーターに電話をかけます。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 - 57 - 6818
(365 日24 時間対応)

2 利用したい内容を伝えます。

- ドライブサポート
- トラブルサポート

3 本機に情報の送信を依頼した場合は、手動で受信します。

- 携帯電話や固定電話から利用すると、次回エンジンスイッチをACC またはON にしたときに、情報の受信をお知らせするメッセージが本機に表示されます。画面の指示にしたがって、操作してください。表示されない場合は、手動で情報を取得してください。(右記参照)

手動で情報を取得する

自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

1 情報 を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 情報確認 にタッチします。

3 メッセージが表示されたら、はい にタッチします。



■メッセージが表示されないときは

4 受信一覧 にタッチします。

- 過去に依頼した情報が表示されます。



👉 アドバイス

- ご利用の際は、お申し込み時にサポートアドレスとして登録した番号から、発信者番号通知でかけていただくと、スムーズにご利用いただけます。
- ご本人であることをオペレーターが確認させていただく場合があります。
- 通話料はお客様のご負担になります。

5. G-BOOKとナビの連携機能

ナビ連携機能について

ナビ連携機能は、ナビゲーションとG-BOOKセンターを通信でつなぐことにより、リアルタイムな情報を提供し、ナビゲーションを更に有効に活用できる機能です。

ナビ連携機能には、次の機能があります。

- **渋滞予測** 次ページ
渋滞予測情報を表示します。
- **Gルート探索（プローブ情報付）** 151ページ
VICSとプローブコミュニケーション交通情報で最適ルートを案内します。
- **Gメモリ地点**[※] 153ページ
パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したGメモリを、本機でGメモリ地点として利用します。
- **ドライブプラン**[※] 154ページ
パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで作成したドライブプランを本機で利用します。
- **Gで設定**[※] 155ページ
パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで作成したドライブプランや、Gメモリを本機で利用します。
- **施設情報表示** 158ページ
施設の情報を表示します。
- **G情報マーク表示** 158ページ
G情報マークを表示します。
- **G情報マーク運動サービス** 160ページ
G情報マーク運動サービスを利用します。

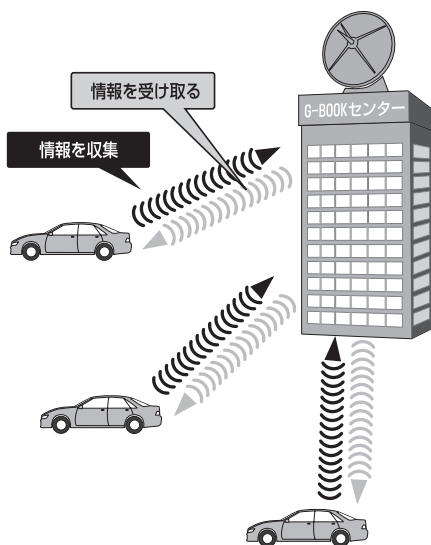
※ G-BOOK mXをWeb登録せずにご利用の場合は、PC・携帯連携の利用手続きが必要です。（97ページ参照）

■プローブコミュニケーション交通情報について

プローブコミュニケーション交通情報とは、G-BOOKユーザーの走行情報をG-BOOKセンターで集約し、G-BOOKユーザーに配信するリアルタイムな交通情報です。G-BOOKユーザーが増えるにつれて、従来の交通情報に比べ、幅広いエリアのリアルタイムな交通情報を提供できるようになります。この情報は、次の機能・サービスに利用されています。

- VICS 情報の表示（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」-「交通情報を表示する（VICS）」参照）
- Gルート探索（151ページ参照）
- 到着予想時刻（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」-「ナビゲーションの詳細を設定する」参照）

また、ここで得られた交通情報は、独自の統計処理により地図データベースに格納されており、統計情報として地図上に表示することができます。



渋滞予測情報を表示する

G-BOOK センターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。

高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることができます。

今後の旅行の計画を立てるときに利用すると便利です。



●渋滞予測情報画面

渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表示	名称	内容
➡ (赤色)	渋滞	渋滞の区間を示しています。
➡ (橙色)	混雑	混雑の区間を示しています。
➡ (黒色)	通行止め区間	通行止めの区間を示しています。
➡ (灰色)	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。

なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。

交通情報提供区間の距離が短い場合は、矢じりを表示しません。

■渋滞予測情報を提供する路線について

- 都市間高速道路
- 都市高速道路
- 主な有料道路
- 一部の一般道路

松永道路、名阪道路、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど

※情報提供路線は随時更新されます。

5. G-BOOKとナビの連携機能

1 **情報** を押します。

- G-BOOKが選択されているときは **情報** にタッチします。

2 **渋滞予測** にタッチします。



3 G-BOOK センターに接続し、渋滞予測情報を取得します。

- 情報の表示および読み上げを行います。
- 中止するときは、**切断**（携帯電話使用時）または **中止**（通信モジュール使用時）にタッチします。



渋滞予測時間を変更する

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

次のいずれかにタッチしてください。

- +** ……渋滞予測時間を進める
- ……渋滞予測時間をもどす
- 現在** ……現在の渋滞状況を表示する

👉 アドバイス

- 渋滞予測情報の読み上げは、ブラウザの自動読み上げ設定（167ページ参照）に関係なく、常に読み上げられます。
- 以前に取得した渋滞予測情報が本機に保存されているときは、G-BOOK センターに接続しないことがあります。
- 極端に遠い距離の渋滞予測情報（到着予想時刻を含む）は、表示されないことがあります。
- G-BOOK センターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。
- 渋滞予測時間を変更したとき、その時間の渋滞予測情報を取得していないときは、G-BOOK センターに接続して渋滞予測情報を取得します。

渋滞増減予測を表示する

渋滞予測画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。

渋滞増減予測アイコンのON（表示する）／OFF（表示しない）を選択できます。

1 情報・G画面（情報）で **渋滞予測** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。



3 **渋滞増減予測表示** にタッチします。

- アイコン表示がONのときは、作動表示灯が点灯します。
- アイコンを表示しないときは、再度 **渋滞増減予測表示** にタッチします。



作動表示灯

4 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンにタッチします。

- 渋滞情報を読み上げます。

アイコン



アイコン	内容
	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。

👉 アドバイス

- 渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によっては、表示されないものもあります。
- 渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

5. G-BOOKとナビの連携機能

渋滞予測地図の縮尺を切り替える

渋滞予測画面の地図は、通常の地図と同様に地図の縮尺を切り替えることができます。

1 広域 または 詳細 にタッチします。

- ルートが設定されているときは、もっとも詳細な縮尺に切り替えると、地図上にIC毎の到着予想時刻が表示されます。



区間所要時間予測を表示する

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要時間予測を行います。ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。



● 区間所要時間予測表示

- 1 情報・G画面 (情報) で **渋滞予測** にタッチします。

- 2 **所要時間** にタッチします。

- G-BOOK センターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。

- 3 区間所要時間予測表示を解除するときは、**終了** または **戻る** にタッチします。

👉 アドバイス

- もっとも詳細な縮尺で表示される到着予想時刻は、3時間先以降は到着予想時刻設定 (「ナビゲーション/オーディオの操作 詳細版」-「到着予想時刻と残り距離を表示する」) で設定した車速から計算されます。そのため、渋滞予測情報から計算される到着予想時刻にくらべると、誤差が広がることがあります。
- 区間所要時間予測表示は、出口IC までの距離が遠い場合、出口IC まで表示されないことがあります。
- 渋滞予測画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される内容は、それぞれ独自で処理するため異なる表示をすることがあります。

G ルート探索（プローブ情報付）をする

G-BOOK センターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探査し、ご案内します。

全ルート図表示画面と再探索画面で使用することができます。

全ルート図表示画面からGルート探索する

ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面から、G ルート探索することができます。

1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で **Gルート** にタッチします。

- G-BOOK センターに接続し、G ルート探索を行います。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。
- 通常のルート探索をしたルートにもどすときは **元ルート** にタッチします。



再探索でGルート探索する

再探索するとき、G ルート探索することができます。

1 現在地画面で **再探索** にタッチします。



アドバイス

- 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
- **Gルート** は表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 旅行時間データが提供されていない路線については、G ルート探索を実行してもルートが変わりません。
- G ルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。
- 広域の渋滞予測情報は、再探索に利用する他に、現在地周辺の渋滞情報を表示するために利用されます。
- 目的地案内開始後は、全ルート図表示画面からGルート探索させることはできません。この場合、**再探索** - **Gルート探索** の順にタッチすると、G ルート探索することができます。
- 広域の渋滞予測情報が本機に保存されていれば、**元ルート** にタッチしたあとに **Gルート** にタッチしても、G-BOOK センターに接続されません。
- G ルート探索後にIC 指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。

5. G-BOOKとナビの連携機能

2 Gルート探索 にタッチします。

- G-BOOK センターに接続し、G ルート探索を行います。
- G ルート探索情報の取得を中止するときは **再探索** — **取得中止** の順にタッチします。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。



G ルート情報の取得を自動継続する

G ルート情報（広域の渋滞予測情報）の取得を自動継続に設定すると、次のタイミングで自動で取得できます。

- 定期的にG-BOOK センターに接続
- JCT 手前や高速道路に乗る手前などでG-BOOK センターに接続

G ルート情報の取得方法について、自動継続のON（する）／OFF（しない）を選択できます。

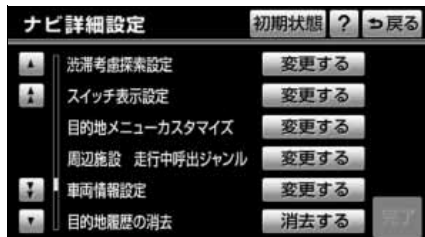
設定はナビ詳細画面から行います。（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」-「ナビゲーションの詳細を設定する」参照）

1 設定 を押します。

2 ナビ詳細設定 にタッチします。

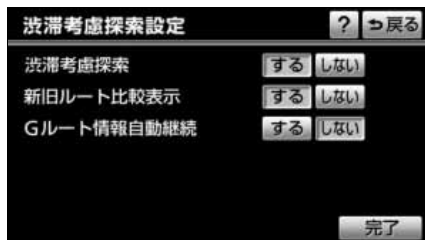
3 ルート系設定 にタッチします。

4 渋滞考慮探索設定の **変更する** にタッチします。



5 G ルート情報自動継続の **する** にタッチします。

- 解除するときは **しない** にタッチします。



6 完了 にタッチします。

アドバイス

携帯電話でG-BOOK センターに接続するときの確認メッセージを表示する／しないは、通信設定の通信接続時の確認の項目（181ページ参照）で選択することができます。

G メモリ地点について

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したG メモリを、本機のメモリ地点に登録したものを「G メモリ地点」といいます。一度G メモリ地点に登録すると、G-BOOKセンターに接続しなくても、Gメモリを呼び出すことができます。

G メモリ地点を登録する

Gメモリを本機に登録するときは、次のいずれかの方法で行ってください。

本機から登録する

本機でG-BOOK.com コンテンツを表示し、詳細情報が表示されている画面で

Gメモリ にタッチします。

- パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトのG メモリ、および本機のG メモリ地点に地点情報が登録されます。

G で設定を使って登録する

「G メモリを一括ダウンロードする」をご覧ください。(157 ページ参照)

G メモリ地点を表示する

G メモリ地点として登録した地点情報は、メインメニューから呼び出すことができます。

- 1 メインメニュー画面で **Gメモリ地点情報** にタッチします。



- 2 G メモリ地点名称 にタッチします。

- G メモリ地点情報が表示されます。



- 3 ブラウザ画面に切り替わります。

- G-BOOK.com コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

アドバイス

- G メモリ地点は、ナビゲーションのメモリ地点と同様に、メモリ地点が呼び出せるナビゲーションの画面からも呼び出すことができます。また、名称読みが登録してあれば、音声認識を使用することもできます。
- 同一のG メモリ地点は、上書き登録されます。ただし、音声認識で使用する名称読みが登録してある場合、その情報は保持されます。
- G メモリ地点は、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。ただし、修正できるのは「自宅・特別メモリに種別変更」と「名称読み」に限定されます。詳しくは、「場所を登録する (メモリ地点)」をご覧ください。(「ナビゲーション/オーディオの操作 詳細版」- 「場所を登録する (メモリ地点)」参照)

5. G-BOOKとナビの連携機能

ドライブプランを利用する

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトでドライブプランを作成しておく、本機にダウンロードするだけで経由地および目的地が設定できます。

1 **情報** を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **ドライブプラン** にタッチします。



3 **Myルート** にタッチします。



4 設定したいルートにタッチします。



5 ドライブプランをダウンロード後、経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始します。

👉 アドバイス

- 目的地が設定されているときにドライブプランで目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。
- ドライブプランは次のサービスからも利用できます。
 - Myリクエスト (193ページ参照)
 - Gで設定 (156ページ参照)

Gで設定について

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで作成したドライブプランやGメモリを、本機で利用することができます。

Gで設定画面を表示する

1 **目的地** を押します。

2 **Gで設定** にタッチします。



Gで設定画面から、次の機能を利用できます。

項目	ページ
ドライブプラン (Myルート)	次ページ
Gメモリ	次ページ
G-BLOG	157
Gメモリー一括ダウンロード	157

アドバイス

目的地が設定されているときに **Gで設定** で目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。
 なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。

5. G-BOOKとナビの連携機能

ドライブプランを利用する

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトでドライブプランを作成しておくと、本機にダウンロードするだけで経由地および目的地を設定できます。

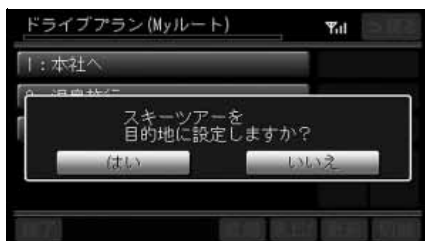
- 1 Gで設定画面で **ドライブプラン (Myルート)** にタッチします。



- 2 設定したいドライブプランにタッチします。



- 3 **はい** にタッチします。



- 4 **案内開始** にタッチすると、ルート探索を開始します。

Gメモリを利用する

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したGメモリを呼び出して、ナビの目的地に設定できます。ナビのデータベースに収録されていない地点が利用できるようになります。

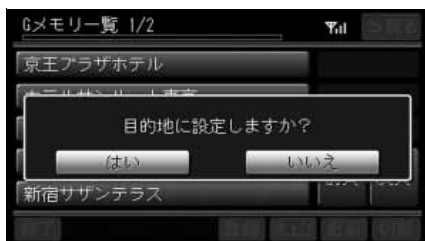
- 1 Gで設定画面で **Gメモリ** にタッチします。



- 2 目的地に設定したいGメモリにタッチします。



- 3 **はい** にタッチします。



- 4 目的地が設定され、ルート探索を開始します。

G-BLOG を利用する

GAZOO.com のユーザーが紹介するスポット情報や口コミ情報を検索し、目的地に設定できます。

- 1 G で設定画面で **G-BLOG** にタッチします。

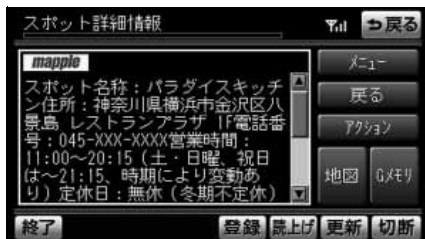


- 2 目的に合わせて検索します。



- 3 画面の指示にしたがって操作します。

- 4 スポット詳細情報画面で **地図** にタッチします。



- 5 **目的地セット** にタッチします。



- 6 目的地が設定され、ルート探索を開始します。

Gメモリを一括ダウンロードする

パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトで登録したGメモリを一度本機に一括ダウンロードすると、次からはG-BOOKセンターに接続しなくてもナビのメモリ地点 (Gメモリ地点) として常にご利用することができます。

- 1 G で設定画面で **Gメモリ一括ダウンロード** にタッチします。



- 2 ダウンロード完了の画面が表示されます。

- Gメモリ地点として利用できます。「Gメモリ地点について」(153ページ)をご覧ください。

5. G-BOOKとナビの連携機能

施設の情報を表示する

地図上にG-BOOK.com コンテンツから取得したアイコンが表示されているときは、その施設の情報を見ることができます。

- 1 アイコンにタッチします。



- 2 **情報** にタッチします。



- 3 ブラウザ画面に切り替わります。

- 詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

G 情報マークを表示する

G 情報マークは、G-BOOK.com コンテンツが提供する地点情報です。通常は、情報を取得すると自動でG 情報マークが地図に表示されます。

G 情報マークが表示されていないときは、次の手順で表示することができます。



- G 情報マーク表示

- 1 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。



- 2 **周辺施設** にタッチします。



3 G情報マーク表示 にタッチします。

- 取得済みのG情報マークが表示されます。
- G 情報マーク表示がON のときは、作動表示灯が点灯します。
- G 情報マーク表示を解除するときは再度 **G情報マーク表示** にタッチします。
- ナビ詳細設定の周辺施設表示設定（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」- 「ナビゲーションの詳細を設定する」参照）からも設定することができます。

作動表示灯



G情報マークの表示種類について

G-BOOK.comコンテンツで取得したG情報マークには以下の種類があります。G情報マークは、表示／非表示を設定できます。（158ページ参照）



マーク	内容	
	G-BOOK.comコンテンツから取得した施設や地点情報	
	G-駐車場	満車
		混雑
		空車
		満空情報なし
		車両制限の可能性あり
		休止中

👉 アドバイス

- **G情報マーク表示** で表示／非表示を切り替えることができるG情報マークは、次のいずれかになります。
 - パソコンや携帯電話のG-BOOKサイトのGメモリを表示させたG情報マーク
 - Myリクエストなどで、G-BOOK.comコンテンツを利用して表示させたG情報マーク
- なお、Gメモリ地点のG情報マークは常に表示され、非表示にすることはできません。
- G-駐車場のこだわり検索では、設定した優先順位に合わない駐車場を薄い色のマークで表示します。

5. G-BOOKとナビの連携機能

G 情報マーク連動サービスについて

G 情報マーク連動サービスを利用すると、現在地が近接案内情報を持つ施設などに近づいたとき、その施設などの情報を読み上げ、G-BOOK センターから情報を取得します。ナビ詳細設定のG 情報マーク連動サービス*で **する** を選択しているときに利用することができます。

※ G-BOOK 利用契約をされているときに操作することができます。

■ G 情報マーク連動サービスを利用するコンテンツ

● G-駐車場

オペレーターに目的地周辺の駐車場情報の送信を依頼した場合に、目的地に近づくと最新の満空情報に自動で更新されます。表示される駐車場のマークについては「**G 情報マークの表示種類について**」（159 ページ参照）をご覧ください。

G 情報マーク連動サービスの設定をする

G 情報マーク連動サービスは、サービスを ON (する) にするか、OFF (しない) にするか選ぶことができます。

設定はナビ詳細設定画面から行います。（「**ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版**」-「**ナビゲーションの詳細を設定する**」参照）

1 ナビ詳細設定画面で **案内表示設定** にタッチします。

2 G 情報マーク連動サービスの **する** にタッチします。

● 解除するときは **しない** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

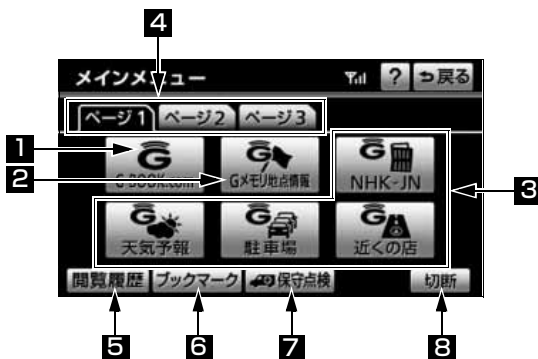
👉 アドバイス

- ナビ詳細設定のG 情報マーク連動サービスの設定は、初期状態では **する** が選択されています。
- 近接案内は、G 情報マークの地点情報を取得していれば、マークの表示に関係なく行われます。また、マークが表示されていない場合でも、近接案内が行われるとマークが自動で表示されます。
- 近接案内情報の読み上げは、ブラウザの自動読み上げ設定（167 ページ参照）に関係なく、常に読み上げられます。
- 近接案内情報の読み上げ中の操作は、My リクエスト（189 ページ参照）と同様です。
- 近接案内中に別の近接案内対象施設に近づいたときは、案内中の近接案内は中止され、次の近接案内に切り替わります。
- 携帯電話で接続するときは、G 情報マーク連動サービスで **する** を選択すると、携帯電話が正しく接続されている場合に近接案内が行われます。

6. メインメニュー

メインメニュー画面の使い方

メインメニューは、G-BOOK オンラインサービスの各コンテンツを起動するメニューです。情報・G画面（G-BOOK）で **メインメニュー** にタッチすると表示されます。



	スイッチ	機能
1	G-BOOK.comスイッチ	G-BOOKセンターに接続し、ブラウザ画面（163ページ参照）が表示され、G-BOOK.comコンテンツが閲覧できます。
2	Gメモリ地点情報スイッチ	Gメモリ地点情報のリスト画面を表示します。（153ページ参照）
3	コンテンツスイッチ	該当のサービスにアクセスできます。表示されるスイッチは、ご利用のサービスにより異なります。
4	ページ切り替えスイッチ	ページを切り替えます。
5	閲覧履歴スイッチ	閲覧履歴画面（169ページ参照）を表示します。

アドバイス

Gメモリ地点は、同じ内容がナビのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビのメモリ地点画面で行ってください。（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」 - 「登録した場所を修正する」参照）

6. メインメニュー

	スイッチ	機能
6	ブックマークスイッチ	ブックマーク画面（171ページ参照）を表示します。
7	保守点検スイッチ	ヘルプネットの手動保守点検を実施します。（124ページ参照）
8	切断スイッチ [携帯電話使用時]	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 切断されているときは、スイッチがトーンダウンします。

アドバイス

G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

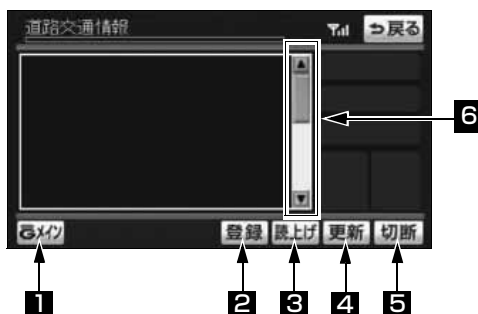
ブラウザ画面で操作する

ブラウザは、G-BOOK オンラインサービスの各種コンテンツの表示や操作を行います。ブラウザ画面には、コンテンツ閲覧中に表示される画面と、コンテンツ読み上げ中に表示される画面があります。

閲覧中に操作する

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。

各スイッチはブラウザ表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあります。



	スイッチ	機能
1	Gメイン/終了スイッチ	Gメイン ……メインメニュー画面にもどります。 終了 …… ブラウザ画面を終了し、ブラウザ表示前の画面にもどります。
2	登録スイッチ	表示中のページをブックマークに登録できます。登録したブックマークを表示するときは「 ブックマークしたコンテンツを見る 」(171ページ参照)をご覧ください。
3	読上げスイッチ	読み上げを開始します。読み上げ情報がないときは、スイッチがトーンダウンします。

アドバイス

読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。(167ページ参照)

6. メインメニュー

	スイッチ	機能
4	更新／中止スイッチ	<p>更新 …… コンテンツの再読み込みをして画面を更新します。 (コンテンツの読み込みが完了、または中断しているときに表示されます。)</p> <p>中止 …… コンテンツの読み込みを中止します。 (コンテンツの読み込み中に表示されます。)</p>
5	切断スイッチ 〔 携帯電話使用時 〕	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。切断されているときは、スイッチがトーンダウンします。
6	スクロールスイッチ	表示中のページが画面に収まらないとき、スクロールバーにタッチすると画面が移動します。タッチし続けると、連続して画面が移動します。走行中はスクロール操作できません。

👉 アドバイス

- コンテンツの読み込み中に **中止** にタッチしたり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。
 - **更新** にタッチして、コンテンツを再取得する。
 - **戻る** にタッチしていったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。
- G-BOOK オンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

読み上げ中に操作する

読み上げ情報があるコンテンツの読み上げ中は、次の操作ができます。



	スイッチ	機能
1	Gメインスイッチ	メインメニュー画面にもどります。
2	音量調整スイッチ	コンテンツを読み上げるときの音量が調整できます。 ▼VOL …… 音量が小さくなります。 VOL▲ …… 音量が大きくなります。
3	前項目／次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更できます。 ◀ …… 読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめます。 前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、 ◀ にタッチしてから約1秒以内に再度タッチしてください。 ▶ …… 次の項目の先頭から読み上げをはじめます。
4	停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどります。
5	ポーズ／再開スイッチ	 …… コンテンツの読み上げを一時停止します。 (読み上げ中に表示されます。) ▶ …… 読み上げていた項目の頭から読み上げを再開します。 (読み上げ一時停止中に表示されます。)

6. メインメニュー

	スイッチ	機能
6	切断スイッチ 〔 携帯電話使用時 〕	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。 切断されているときは、スイッチがトーンダウンし ます。

アドバイス

G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

ブラウザの設定をする

G-BOOK 詳細設定で、次の項目を設定することができます。

- 1 **設定** を押します。
- 2 **G-BOOK** にタッチします。
- 3 **G-BOOK詳細設定** にタッチします。



● G-BOOK 詳細設定画面

■ ブラウザの自動読上げ

ブラウザで読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをすることができます。

ブラウザの自動読上げの **する** にタッチすると、設定されます。

- 解除するときには **しない** にタッチします。

■ 読上げ速度

読み上げが聞き取りづらいとき、読み上げの速度を設定することができます。

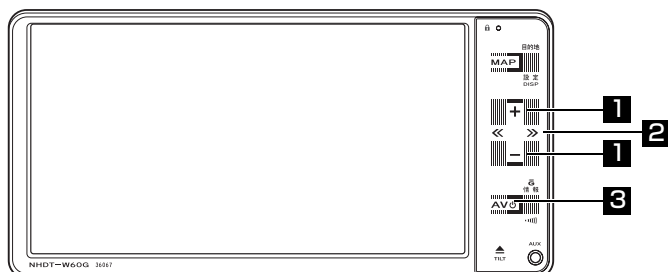
標準 ……………標準の速度で読み上げます

ゆっくり ……………ゆっくり読み上げます

設定が終わったら、**完了** にタッチします。

6. メインメニュー

本機のスイッチで操作する



	スイッチ	機能
1	音量調整スイッチ	コンテンツの読み上げ音量を調整します。 + …… 音量が大きくなります。 - …… 音量が小さくなります。
2	選局／選曲スイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更します。 >> …… 次の項目の先頭から読み上げをはじめます。 << …… 読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめます。 前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは << を押してから 1 秒以内に再度押します。
3	AVスイッチ (1 秒以上)	コンテンツの読み上げを停止します。

ステアリングスイッチで操作する

ブラウザ画面はステアリングスイッチからも操作することができます。
 ステアリングスイッチの操作については、「ステアリングスイッチについて」(210ページ)をご覧ください。

閲覧履歴について

閲覧履歴には、これまでブラウザで閲覧したコンテンツのタイトルが、閲覧した日付が新しいものから順に保存されています。以前に閲覧したコンテンツを再度閲覧したい場合に使用すると便利です。

閲覧履歴は、最大100件まで登録されます。

100件以上になると、古いものから順に削除されます。

閲覧履歴からコンテンツを表示する

1 メインメニュー画面で **閲覧履歴** にタッチします。



2 閲覧したいコンテンツにタッチします。

- リストは最近閲覧したコンテンツの順に表示されます。
- リストの先頭に移動するときは **最新** にタッチします。

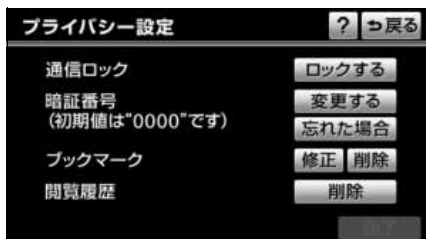


6. メインメニュー

閲覧履歴を削除する

閲覧履歴は100件以上になると古いものから順に削除されますが、任意で履歴を削除することもできます。

- 1 **設定** を押します。
- 2 **G-BOOK** にタッチします。
- 3 **プライバシー設定** にタッチします。
- 4 閲覧履歴の **削除** にタッチします。

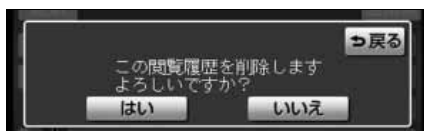


- 5 削除したい閲覧履歴にタッチします。

- すべての履歴を削除するときは **全削除** にタッチします。



- 6 **はい** にタッチします。



ブックマークについて

ブラウザで表示しているページをブックマークに登録することができます。ブックマークは、閲覧履歴のように古いものから順に削除されることがありません。そのため、再度閲覧したいページがあるときなどに使用すると、ブックマーク画面から簡単にそのページを表示することができます。また、登録したブックマークのタイトルは、あとで修正することができます。ブックマークは最大50件まで登録できます。

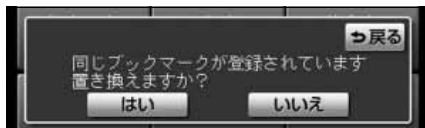
ブックマークに登録する

1 ブラウザ画面（163 ページ参照）で、ブックマークに登録したいページを表示します。

2 **登録** にタッチします。



3 同じブックマークが登録されているときはメッセージが表示されます。置き換えてもよければ、**はい** にタッチします。



👉 アドバイス

ページによっては、ブックマークに登録できないことがあります。そのようなページでは、登録スイッチがトーンダウンします。

ブックマークしたコンテンツを見る

1 メインメニュー画面で **ブックマーク** にタッチします。



2 希望のブックマークにタッチします。

- リストを並べ替えるときは「リストを並べ替える」（下記）をご覧ください。



リストを並べ替える

リストは登録順と閲覧順の2種類の並べ方をさせることができます。

登録順 ……ブックマークに登録した日時が新しいものから順に並べます。

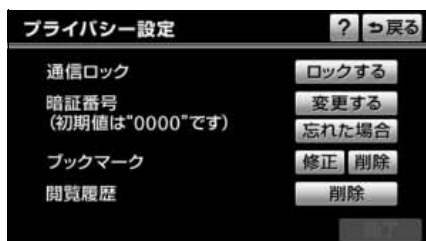
閲覧順 ……コンテンツを最後に閲覧した日時が新しいものから順に並べます。

6. メインメニュー

ブックマークの修正をする

ブックマークのタイトルは、ブックマークを探しやすくするための目的で、お好みのタイトルに変更することができます。

- 1 **設定** を押します。
- 2 **G-BOOK** にタッチします。
- 3 **プライバシー設定** にタッチします。
- 4 ブックマークの **修正** にタッチします。



- 5 修正したいブックマークにタッチします。



- 6 **タイトル** にタッチします。



- 7 タイトルを修正します。
● ソフトウェアキーボードで入力します。



- 8 **完了** にタッチします。



ブックマークを削除する

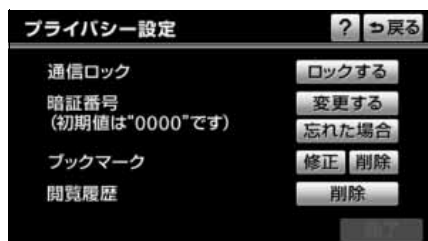
ブックマークは、最大50件まで登録できます。最大登録件数を超えて登録しようとした場合はメッセージが表示されます。この場合は、不要なブックマークを削除してから登録してください。

1 **設定** を押します。

2 **G-BOOK** にタッチします。

3 **プライバシー設定** にタッチします。

4 ブックマークの **削除** にタッチします。



5 削除したいブックマークにタッチします。

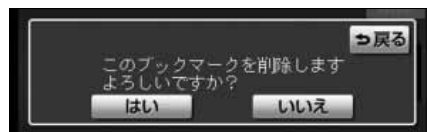
- すべてのブックマークを削除するときは **全削除** にタッチして、7 の手順を操作します。



6 **削除** にタッチします。



7 **はい** にタッチします。



7. G-BOOKの設定

設定・編集画面を表示する

G-BOOK オンラインサービスを利用するときの各種設定は、設定・編集画面から行います。

1 **設定** を押します。

2 **G-BOOK** にタッチします。



●設定・編集画面 (G-BOOK)

設定・編集画面で、次の項目を設定することができます。

項目	ページ
プライバシー設定	右記
通信設定*	180
G-BOOK 詳細設定	182
My リクエスト編集	194
G-SOUND 削除	203

*携帯電話接続時のみ設定することができます。

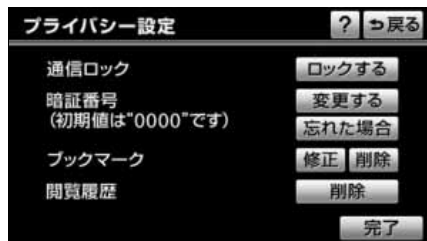
プライバシー設定をする

プライバシーに関する各種設定をすることができます。

1 設定・編集画面 (G-BOOK) で **プライバシー設定** にタッチします。



2 各項目を設定します。



●プライバシー設定画面

3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

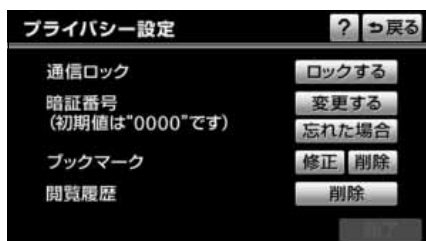
項目	ページ
暗証番号を変更する	次ページ
通信ロックを使う	178
ブックマークの修正と削除をする	172、 173
ブラウザ閲覧履歴を削除する	170

暗証番号を変更する

暗証番号は、通信ロック（178ページ参照）したときに、ロックを解除するために入力が必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

- **暗証番号は4桁の数字です。**初期設定は「0000」になっています。暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしておいてください。
 - **質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。**（177ページ参照）
質問とその回答は、お客様以外にわかりにくい内容にしておいてください。
- 暗証番号を変更するときも、同様の操作で行なうことができます。

- 1** プライバシー設定画面で、暗証番号の**変更する**にタッチします。



- 2** 現在の暗証番号を入力し、**完了**にタッチします。

- はじめて設定するときは「0000」を入力します。
- 変更するときは 設定してある暗証番号を入力します。
- 間違えたときは **修正** にタッチします。
- 暗証番号を忘れたときは「**暗証番号を忘れた場合**」（177ページ参照）をご覧ください。



👉 アドバイス

完了 にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。

- エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする。
- エンジンをかけなおす。

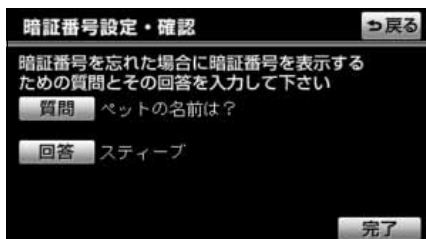
7. G-BOOKの設定

- 3** 新しく設定したい暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。



- 4** 新しい暗証番号の確認のため、再度新しく設定したい暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。

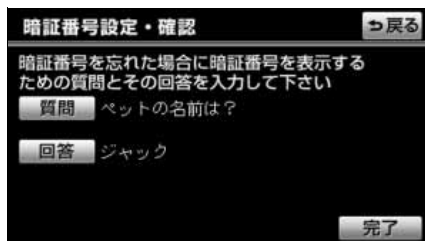
- 5** **質問**、**回答** にタッチして、それぞれ入力します。



- 6** ソフトウェアキーボードで入力します。

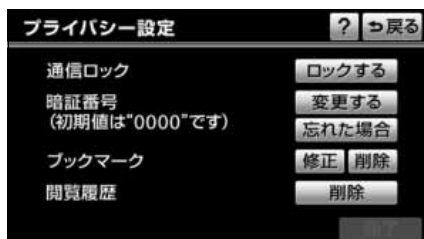


- 7** **完了** にタッチします。

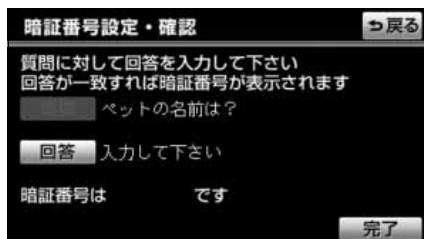


暗証番号を忘れた場合

- 1 プライバシー設定画面で、暗証番号の**忘れた場合**にタッチします。



- 2 **回答**にタッチします。



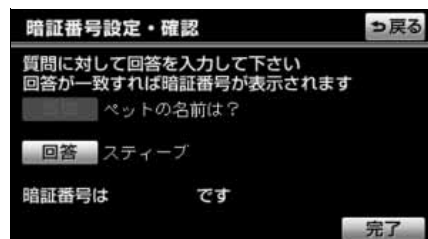
- 3 回答を入力します。

- ソフトウェアキーボードで入力します。

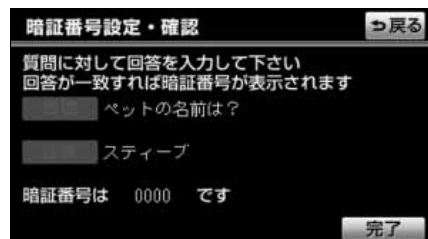


- 4 **完了**にタッチします。

- 回答が一致すると、暗証番号が表示されます。



- 5 暗証番号を確認したら、**完了**にタッチします。



7. G-BOOKの設定

通信ロックを使う

通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限することができます。他人に車を貸す場合など、G-BOOK オンラインサービスを触らせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。

- ：利用できます。
×：利用できません。

機 能		動 作
ヘルプネット		○
メインメニュー	G-BOOK.com	×
	閲覧履歴	×
	ブックマーク	×
My リクエスト		×
オペレーターサービス		×
G-SOUND	G-SOUND (試聴・利用手続き)	×
	G-SOUND コピー	○
CD タイトル情報取得		×
G-BOOK と ナビの連携機能	渋滞予測	×
	G ルート探索	× (プローブコミュニケーション交通 情報を含む)
	G メモリ地点	○ (保存済みデータのみ)
	ドライブプラン	×
	G で設定	×
	施設情報表示	×
	G 情報マーク連動サービス	○ (情報の読み上げのみ)
マップオンデマンド (地図更新)		× (携帯電話または通信モジュール で更新するとき)

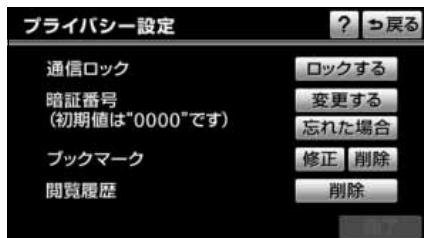


アドバイス

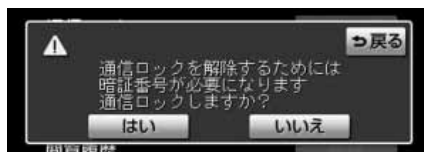
通信ロックを使用するような場合は、ハンズフリーの発信制限も合わせてご利用ください。
(89 ページ参照)

ロックする

- 1 プライバシー設定画面で、通信ロックの **ロックする** にタッチします。



- 2 **はい** にタッチします。



解除する

- 1 プライバシー設定画面で、通信ロックの **解除する** にタッチします。



- 2 暗証番号を入力し、**完了** にタッチします。

- 間違えたときは **修正** にタッチします。



アドバイス

通信ロックを解除するときは、暗証番号が必要になります。暗証番号については、「暗証番号を変更する」をご覧ください。(175ページ参照)

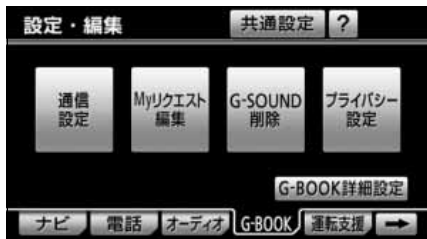
7. G-BOOKの設定

通信設定をする

携帯電話使用時

携帯電話でデータ通信を行う場合、通信に関する各種設定をすることができます。

- 1 設定・編集画面 (G-BOOK) で **通信設定** にタッチします。



- 2 各項目を設定します。



- 3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

項目	ページ
使用する携帯電話の通信設定をする	右記
通信接続時の確認	次ページ
自動通信の設定	次ページ

使用する携帯電話の通信設定をする

次のような場合は、必ず使用する携帯電話の設定を確認してください。

- 携帯電話を初めて接続するとき
- 携帯電話の機種を変更したとき
- バッテリーの接続が断られたとき
- ハンズフリーで使用する携帯電話を変更したとき

通信事業者の設定が間違っていると、G-BOOKオンラインサービスを利用できません。

- 1 使用する携帯電話の通信事業者を選択します。



au	au のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
FOMA	FOMA のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
SoftBank	SoftBank のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
通信に利用しない	携帯電話をハンズフリー通話のみに使用する場合

※ auはKDDI 株式会社の商標または登録商標です。

※ 「FOMA / フォーマ」は株式会社NTT ドコモの商標です。

※ SoftBank はソフトバンクモバイル株式会社の商標です。

👉 アドバイス

- **完了** にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
 - エンジンスイッチをOFF (LOCK) にする。
 - エンジンをかけなおす。
- 次の項目は携帯電話毎に設定が保持されます。
 - 使用する携帯電話の設定
 - 通信接続時の確認

通信接続時の確認

携帯電話でG-BOOK センターへ接続するときに、確認のメッセージを表示することができます。

1 通信接続時の確認の **する** にタッチします。

● 解除するときは **しない** にタッチします。



自動通信の設定

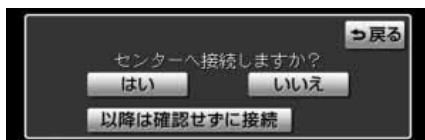
携帯電話による自動通信をすることができます。

1 自動通信の **する** にタッチします。

● 解除するときは **しない** にタッチします。

アドバイス

- 接続確認画面で **以降は確認せずに接続** にタッチすると、次回接続時以降は、接続確認画面が表示されません。
このとき、通信接続時の確認は **しない** に設定されます。
再度表示したいときは、通信接続時の確認を **する** に設定してください。



- 通信接続時の確認を **しない** に設定すると、画面に「自動で通信する場合があります」と表示されます。
これは、自動で通信するサービスを利用したとき、お客様が気付かないところで通信料金が発生する場合があることをご確認くださいのためのものです。
- 電話機選択 (67 ページ参照) で携帯電話を変更すると、自動通信の設定も **する** に変更されます。**しない** を選択していた場合は、設定しなおしてください。
自動通信の設定を **しない** に設定しても、G ルート情報自動継続の設定 (152 ページ参照) により自動で通信する場合があります。

7. G-BOOKの設定

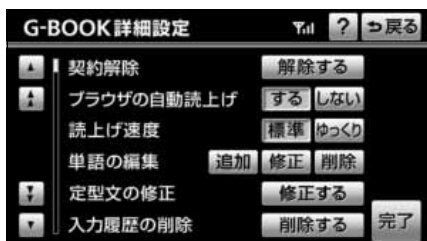
G-BOOK 詳細設定をする

G-BOOK に関する各種設定をすることができます。

- 1 設定・編集画面 (G-BOOK) で、**G-BOOK詳細設定** にタッチします。



- 2 各項目を設定します。



● G-BOOK 詳細設定画面

- 3 設定が終わったら、**完了** にタッチします。

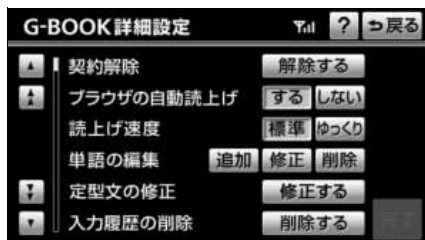
項目	ページ
ブラウザの自動読上げ	167
読上げ速度の選択	167
単語の編集	右記
定型文の修正	184
入力履歴の削除	185
予測変換候補の表示設定	185
契約の解除手続き	108

単語の編集

読みと単語を指定して、本機の辞書に変換候補対象となる単語を追加することができます。また、追加した単語を修正・削除することができます。

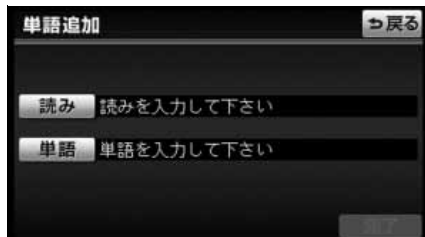
単語の追加

- 1 G-BOOK 詳細設定画面で、単語の編集の **追加** にタッチします。

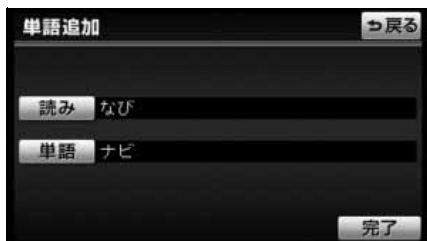


- 2 **読み** および **単語** にタッチして、それぞれ入力します。

- ソフトウェアキーボードで入力します。
- 句読点などの読みの先頭に使用できない文字を入力したときは、メッセージが表示され、読みを登録できません。



3 **完了** にタッチします。



単語の修正

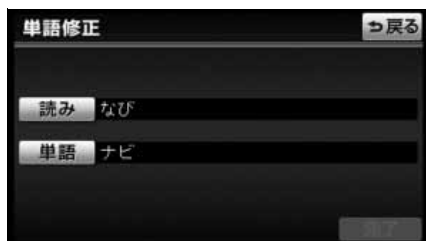
1 G-BOOK 詳細設定画面で、単語の編集の **修正** にタッチします。

2 修正したい単語の右側にある **修正** にタッチします。



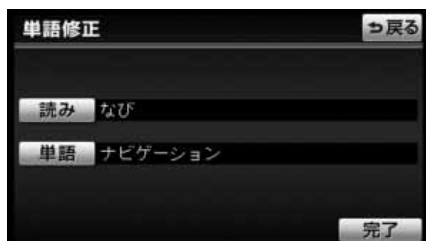
3 **読み** および **単語** にタッチして、修正します。

- ソフトウェアキーボードで入力します。
- 句読点などの読みの先頭に使用できない文字を入力したときは、メッセージが表示され、読みを修正できません。



4 **完了** にタッチします。

- 引き続き単語の修正をするときは **2** ~ **4** を繰り返します。



7. G-BOOKの設定

単語の削除

1 G-BOOK詳細設定画面で、単語の編集の **削除** にタッチします。

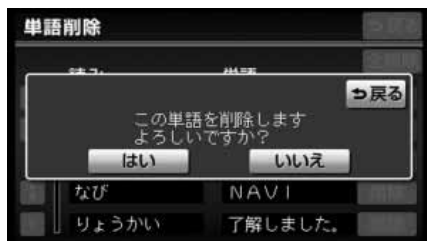
2 削除したい単語の右側にある **削除** にタッチします。

- すべての単語を削除するときは **全削除** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると、元の画面にもどります。



定型文の修正

本機に登録されている定型文を修正することができます。ただし、新規の文章を追加で登録することはできません。

1 G-BOOK詳細設定画面で、定型文の修正の **修正する** にタッチします。

- 定型文修正画面が表示されます。



2 修正したい定型文にタッチします。



3 定型文を編集して、**完了** にタッチします。

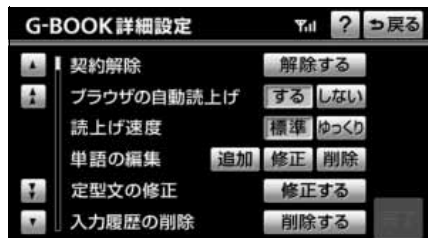
- ソフトウェアキーボードで入力します。
- 定型文は全角で最大17文字まで入力することができます。

入力履歴の削除

入力した単語や文章の履歴を削除することができます。

1 G-BOOK詳細設定画面で、入力履歴の削除の **削除する** にタッチします。

- 入力履歴削除画面が表示されます。



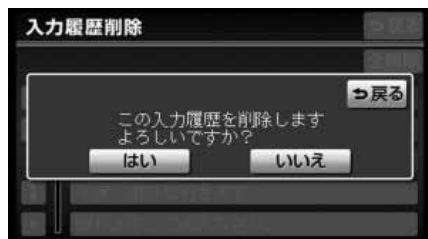
2 削除したい入力履歴にタッチします。

- すべての入力履歴を削除するときは、**全削除** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。

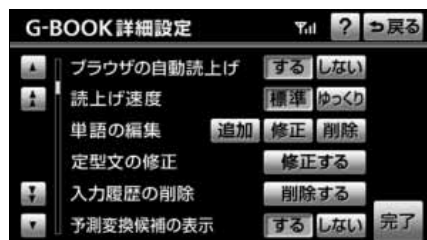
- **いいえ** にタッチすると、元の画面にもどります。



予測変換候補の表示

単語や文章を入力する際に、予測変換候補を表示するかしないか設定することができます。

1 G-BOOK詳細設定画面で、予測変換候補の表示の **する**、または **しない** にタッチします。



2 **完了** にタッチします。

7. G-BOOKの設定

ソフトウェアキーボードの使い方

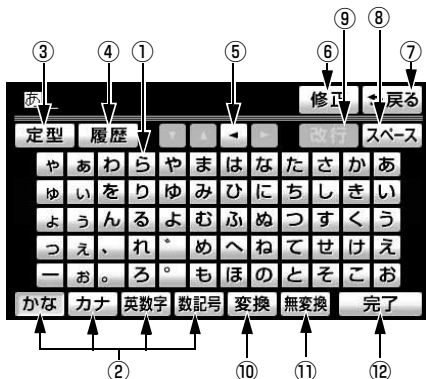
ブラウザなどで文字入力が必要になると、ソフトウェアキーボード画面が表示されます。

ソフトウェアキーボード画面

ソフトウェアキーボード画面には、下記の入力画面があります。

<かな・漢字入力画面>

<カタカナ入力画面>

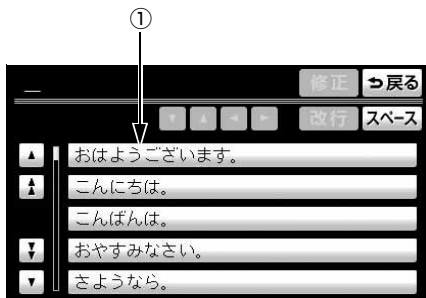


<英字・数字入力画面>

<数字・記号入力画面>



<定型文・履歴入力画面>



①文字入力スイッチ

文字を入力します。

定型文入力画面では、選んだ文を入力します。

②入力モード切り替えスイッチ

文字の入力モードを切り替えます。

かな …ひらがな、漢字を入力します。

カナ …カタカナを入力します。

英数字 …アルファベット、数字を入力します。

数記号 …数字、記号を入力します。

③定型スイッチ

定型文を入力するときに使用します。

④履歴スイッチ

前回までに入力した文字列の履歴から入力するときに使用します。

⑤カーソル移動スイッチ

カーソルの移動ができます。

タッチし続けると、連続してカーソルが移動できます。

確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。

なお、未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動できます。

⑥修正スイッチ

文字が消去できます。

タッチし続けると、すべての文字が消去できます。

⑦戻るスイッチ

各入力画面を終了します。

⑧スペーススイッチ

カーソル位置に空白が入力できます。

⑨改行スイッチ

タッチスイッチがトーンダウンし、タッチしても操作できません。

⑩変換スイッチ

かな文字入力後にタッチすると、漢字に変換します。

⑪無変換スイッチ

かな文字入力後にタッチすると、ひらがなで入力します。

⑫完了スイッチ

すべての文字を入力後にタッチします。

前の画面（ブラウザ画面）にもどり、文字が入力されます。

⑬全角／半角スイッチ

タッチするたびに、半角入力と全角入力が切り替わります。

⑭大文字／小文字スイッチ

タッチするたびに、大文字と小文字が切り替わります。

7. G-BOOKの設定

漢字に変換するには

1 かな入力状態で、文字を入力します。

2 **変換** にタッチします。

- 漢字変換候補が表示されます。



3 すべての文字が変換されたままの状態であれば、**全確定** にタッチします。入力したい文字でないときは、漢字変換候補リストから、希望の候補を選択しタッチします。

- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶** にタッチすると、漢字変換候補リストが自動的に更新されます。



入力したい漢字に変換されないときは

漢字変換候補リストに入力したい漢字が表示されないときは、漢字を一つずつ変換してください。

1 漢字変換候補リストで、**単漢字** にタッチします。

- 単漢字変換候補が表示されます。



2 単漢字変換候補から、希望の候補を選択しタッチします。

- 単漢字変換候補には、音読み、訓読みに対応した単漢字を表示します。
- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶** にタッチすると、単漢字変換候補リストが自動的に更新されます。



8. My リクエスト

My リクエストについて

My リクエストでは、ニュースや天気予報などを簡単な操作でリクエストして、取得した情報を読み上げることができます。

- G-BOOK mXをWeb登録してご利用の方、およびG-BOOK mX Proをご利用の方は、登録するメニューを変更したり、並べ替えることができます。
 - G-BOOK mXをWeb登録なしでご利用の方は、メニューが固定されます。
- 操作は、My リクエスト画面をタッチする方法と、音声認識で行う方法があります。

My リクエスト画面で操作する

1 情報 を押します。



2 My リクエスト にタッチします。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。



	スイッチ	機能
1	音量調整スイッチ	コンテンツの読み上げ音量が調整できます。 ▼VOL ……音量が小さくなります。 VOL▲ ……音量が大きくなります。
2	前項目／次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更できます。 ◀ ……読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめます。 前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは、 ◀ にタッチしてから約1秒以内に再度タッチしてください。 ▶ ……次の項目の先頭から読み上げをはじめます。

8. My リクエスト

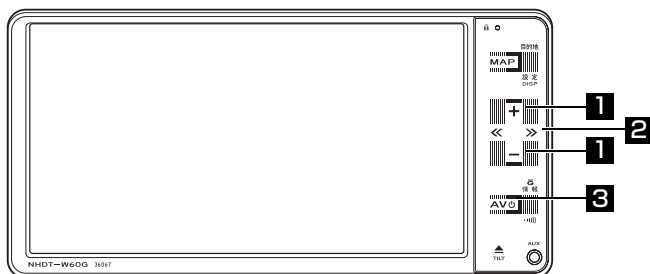
	スイッチ	機能
3	停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどります。
4	ポーズ/再開スイッチ	 …… コンテンツの読み上げを一時停止します。 (読み上げ中に表示されます。)  …… 読み上げていた項目の頭から読み上げを再開します。 (読み上げ一時停止中に表示されます。)
5	切断スイッチ <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">携帯電話使用時</div>	G-BOOKセンターとのデータ通信を切断します。切断されているときは、スイッチがトーンダウンします。
6	中止スイッチ <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">通信モジュール使用時</div>	G-BOOKセンターとのデータ通信を中止します。



アドバイス

G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できない場合があります。

本機のスイッチで操作する



	スイッチ	機能
1	音量調整スイッチ	コンテンツの読み上げ音量を調整します。 + …… 音量が大きくなります。 - …… 音量が小さくなります。
2	選局／選曲スイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更します。 >> …… 次の項目の先頭から読み上げをはじめます。 << …… 読み上げ中の項目の先頭から読み上げをはじめます。 前の項目の先頭から読み上げをはじめたいときは << を押してから 1 秒以内に再度押します。
3	AVスイッチ (1 秒以上)	コンテンツの読み上げを停止します。

ステアリングスイッチで操作する

My リクエスト画面はステアリングスイッチからも操作することができます。
 ステアリングスイッチの操作については、「**ステアリングスイッチについて**」(210ページ)をご覧ください。

8. My リクエスト

My リクエストを使う

- 1** My リクエスト画面でリクエストしたいコンテンツにタッチします。



- 2** ナビ画面に切り替わります。

- データ取得後、コンテンツの読み上げ、または地図上へのアイコン表示などが行われます。
- ネットワーク接続中は、通信中マークが表示されます。

通信中マーク



読み上げ中に操作する

読み上げ中に音量調整などの操作をしたいときは、本機のスイッチやステアリングスイッチで操作する（前ページ参照）か、My リクエスト画面を表示させてタッチスイッチで操作します。（189ページ参照）

👉 アドバイス

- 走行中はリストを動かすことができません。2 ページ目以降に登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、音声認識でリクエストしてください。（194ページ参照）
- コンテンツの読み上げ中に別の読み上げコンテンツを受信したときは、読み上げ中のコンテンツを中止し、次の読み上げコンテンツに切り替わります。
- リクエストによっては、画面上にメッセージが表示されることがあります。状況によって、次のようになります。
 - 運転補助画面（交差点案内などの運転を補助する画面）が表示されているときは、運転補助画面が優先されるため、運転補助画面の終了後にメッセージが表示されます。
 - ハンズフリーなど優先度の高い機能の割り込みがあると、メッセージは破棄されます。
- コンテンツの読み上げ中にナビの音声案内が出力されたときは、読み上げを一時停止します。なお、音声案内が終了すると読み上げが再開されます。
- コンテンツの読み上げ中にハンズフリーの着信があったときは、読み上げを終了します。
- リクエストによるコンテンツの読み上げは、ブラウザの自動読み上げの設定（167ページ参照）に関係なく行われます。

情報を見る

リクエストによって、地図上にアイコンが表示されたときは、その施設の情報を見ることができます。

- 1 アイコンにタッチします。

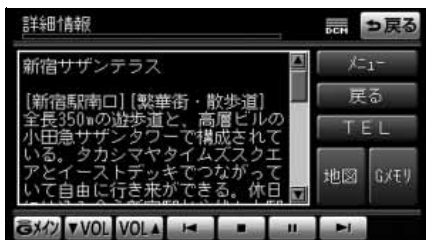


- 2 **情報** にタッチします。

- ブラウザ画面または施設情報画面に切り替わり、情報が表示されます。



- 3 スポット詳細情報が表示されます。



アドバイス

- アイコンが表示されるコンテンツにもかかわらず、アイコンが画面に表示されていないときは、地図縮尺の切り替えや地図の移動をすると、アイコンが確認できます。
- リクエストで地図上に表示されたアイコンの表示/非表示を設定することができます。(158ページ参照)

ドライブプランを利用する

My リクエストからもドライブプランを利用できます。

- 1 My リクエスト画面で、**ドライブプラン** にタッチします。



- 2 **はい** にタッチします。



- 3 「ドライブプランを利用する」(154ページ参照)の **3** 以降と同様の操作を行います。

8. My リクエスト

音声認識でリクエストをする

音声認識でリクエストすると、登録してあるすべてのコンテンツを、走行中でもリクエストすることができます。

リクエストのしかたについては「**My リクエストを使う**」(192ページ参照)をご覧ください。リクエストしたあとの操作については、My リクエスト画面からタッチスイッチでリクエストした場合と同様です。

My リクエストの編集をする

My リクエストに登録するコンテンツの変更や並べ替えをすることができます。G-BOOK mXモデルをWeb 登録してご利用の方、およびG-BOOK mX Proをご利用の方のみ操作できます。

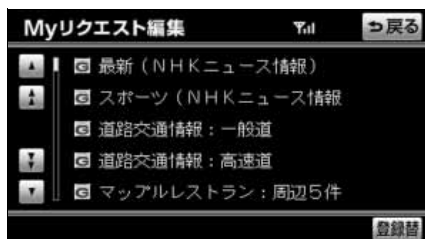
1 **設定** を押します。

2 **G-BOOK** にタッチします。

3 **My リクエスト編集** にタッチします。



4 **登録替** にタッチします。



5 画面の指示にしたがって、リクエストしたいコンテンツを登録します。



9. G-SOUND

G-SOUNDについて

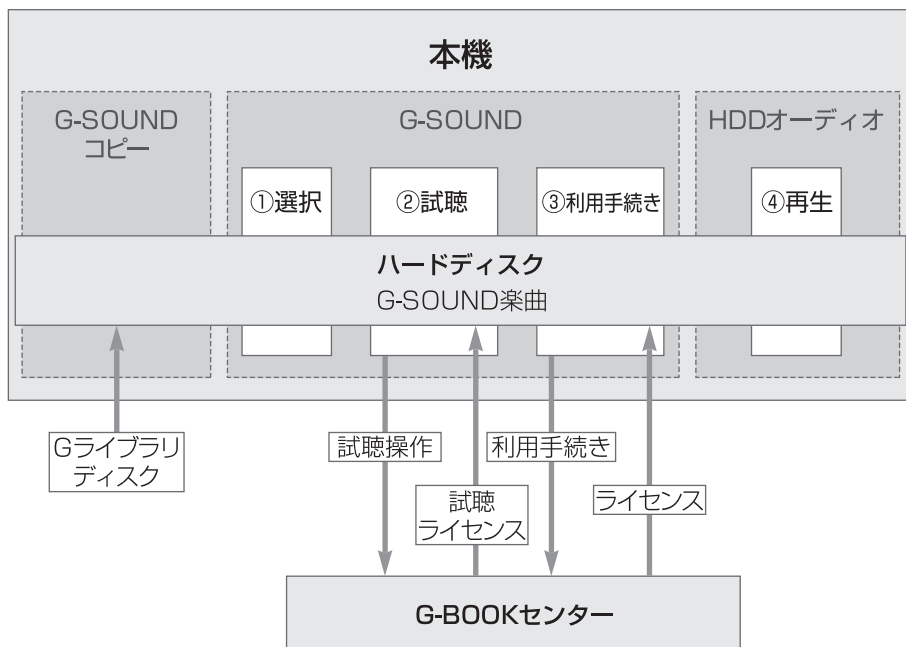
G-SOUND は、本機のハードディスクに保存されている曲（G-SOUND 楽曲）を、利用手続きをしてG-BOOK センターからライセンスを取得することにより、再生可能にするサービスです。

有料カプセルおよび単曲は、G-BOOK mXをWeb 登録してご利用の方、およびG-BOOK mX Proモデルをご利用の方のみ利用できます。

次のようにして利用します。

- ① G-SOUND で、希望の楽曲を選択します。
- ②楽曲を試聴します。（試聴は省略してもかまいません。）
- ③利用手続きをします。
- ④HDDオーディオで、楽曲を再生します。

なお、Gライブラリディスクを入手された場合は、G-SOUNDコピーを利用して本機のハードディスクにコピーすることで、同様に再生することができます。



9. G-SOUND

G-SOUND 楽曲について

G-SOUND 楽曲には、「カプセル」と「単曲」があります。

カプセル ……複数の曲が収録されています。タイトルに「無料」と表示されているカプセルは、無料で再生できます。

単曲 …… 1 曲のみ収録されています。

本機のハードディスク内に保存されている G-SOUND 楽曲は、G-SOUND を利用して、試聴および利用手続きができます。

単曲は、いろいろな検索条件を設定することで、保存されている楽曲の中から聴きたい楽曲を絞り込むことができます。

また、「オススメ情報」では、季節やドライブコースに合ったカプセルの紹介をしています。

G-SOUND 楽曲は、本機のハードディスクにプリインストールされていますが、次の方法で入手することもできます。

- G ライブラリディスクを入手して、ハードディスクにコピーする。
- G-BOOK センターから楽曲を取得する。

■ライセンスについて

G-SOUND 楽曲を再生するときは、利用手続きをして、その楽曲のライセンスを取得する必要があります。

ライセンスに有効期限が設定されている場合は、有効期限までその楽曲を再生することができます。

本サービスにて提供された著作物データを、個人的な利用の目的以外で複製、頒布すること、または改変、インターネットなどによる公衆送信などの行為を行うことは、法律により禁止されています。

👉 アドバイス

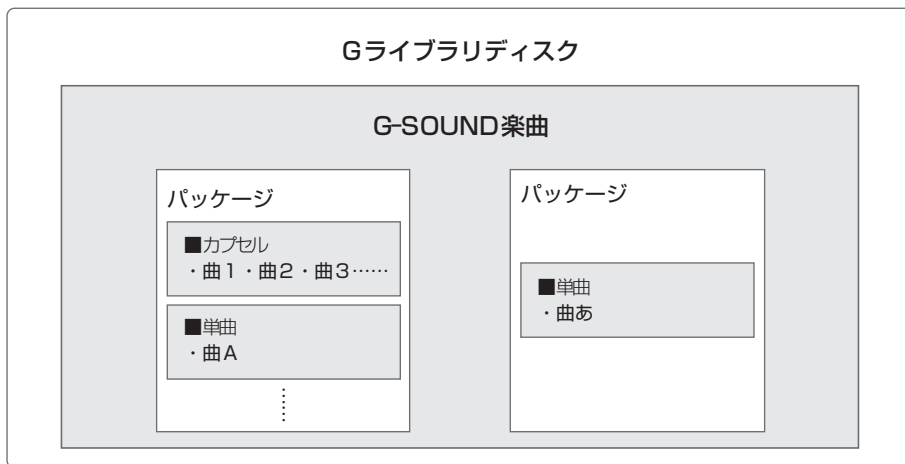
- G-BOOK オンラインサービスの利用登録・契約の解除をしても個人情報の初期化をしなければ、ライセンス取得済みの G-SOUND 楽曲はそのままご利用いただけます。
- 本機に保存できる G-SOUND 楽曲は、最大 5000 曲※です。
※ ハードディスクの空き容量などにより、異なることがあります。

Gライブラリディスクについて

Gライブラリディスクに収録されている楽曲は、G-SOUND コピーを利用して、本機のハードディスクにコピーすることができます。

■Gライブラリディスクに含まれる内容

Gライブラリディスクには、G-SOUND 楽曲（前ページ参照）が収録されています。コピーをするときは、パッケージ単位でコピーされます。



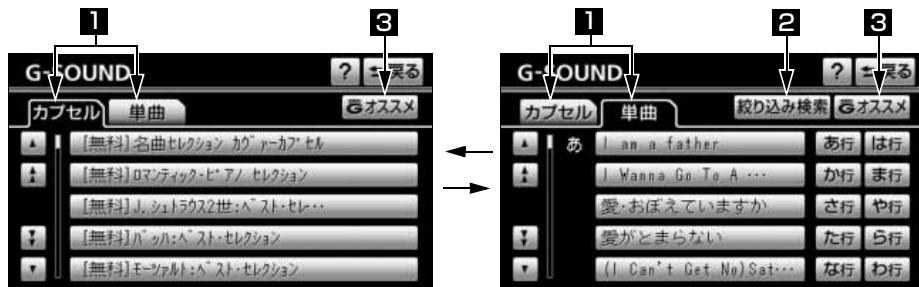
9. G-SOUND

G-SOUND 画面の使い方

1 情報 を押します。

- 情報が選択されているときは **G-BOOK** にタッチします。

2 **G-SOUND** にタッチします。



	スイッチ	機能
1	カプセル／単曲スイッチ	リストの表示を切り替えます。 カプセル …… カプセルを一覧表示します。 単曲 …………… 単曲を一覧表示します。
2	絞り込み検索スイッチ (単曲一覧表示時のみ)	ハードディスク内のG-SOUND 楽曲の中から、検索条件を変更して希望の楽曲を検索します。
3	G オススメスイッチ	オススメするカプセルと直接配信コンテンツの紹介ページを表示します。

楽曲を試聴する

G-SOUND画面から聴きたい楽曲を選択して、利用手続きの前に試聴することができます。

楽曲の試聴をするには、「試聴ライセンス」が必要です。

試聴ライセンスには、試聴期限または試聴回数が設定されており、それらを超えた楽曲は試聴することができません。

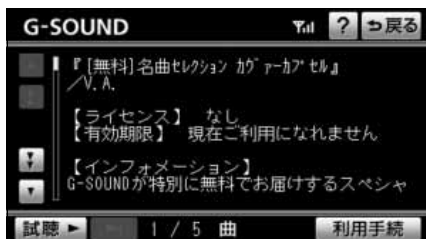
- 1 G-SOUND画面または絞り込み検索結果画面（201 ページ参照）で、聴きたい楽曲にタッチします。

- 単曲を選択するときは、絞り込み検索をすると便利です。（次ページ参照）



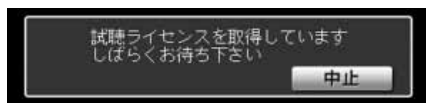
- 2 **試聴▶** にタッチします。

- 試聴は単曲3回、カプセル3回まで可能です。



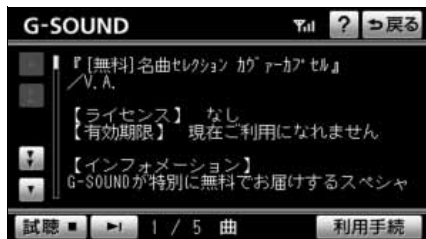
- 3 試聴ライセンスを取得していない場合は、試聴ライセンスの取得を開始します。

- 中止するときは **中止** にタッチします。



- 4 試聴再生を開始します。

- 試聴再生を停止するとき **試聴■** にタッチします。
- 次の曲を試聴再生するとき **▶** にタッチします。
- HDDオーディオ操作画面を表示するときは **AV** を押します。



📌 アドバイス

- 1回の試聴時間は、1曲あたり約30秒です。
- カプセルの試聴は、カプセル単位での試聴になります。
- **試聴▶** にタッチしたら、その時点で試聴回数は1回と計算されます。
- 次の場合は、ライセンスの取得が中止されます。
 - 試聴ライセンスを取得中に他の画面に切り替えたととき
 - ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったとき

9. G-SOUND

希望の楽曲を検索する

単曲を選択する場合、いろいろな検索条件を設定して希望の楽曲を検索することができます。

- 1** 単曲一覧表示で、**絞り込み検索** にタッチします。



- 2** 検索条件に設定したい項目にタッチします。

- 検索条件を解除するときは項目の右側にある **解除** にタッチします。
- すべての検索条件を解除するときは **全解除** にタッチします。



- 3** 検索条件に設定したい項目にタッチします。



- **2** で **アーティスト** を選択したときは、希望のアーティストにタッチします。



- 4** **完了** にタッチします。

検索条件表示欄



5 絞り込み検索結果が表示されます。

- 絞り込みを解除するときは「**絞り込み解除**」にタッチします。
- 楽曲の試聴・利用手続きをするときは「**楽曲を試聴する**」（199ページ参照）「**利用手続きをする**」（次ページ参照）をご覧ください。



👉 アドバイス

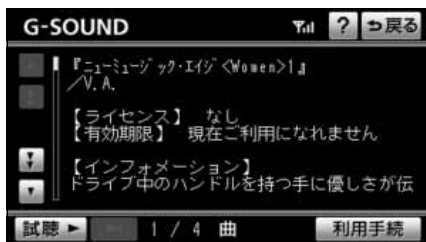
設定した検索条件は検索条件表示欄に表示されます。◀ または ▶ にタッチしてスクロールさせると、設定した検索条件をすべて確認することができます。

9. G-SOUND

利用手続きをする

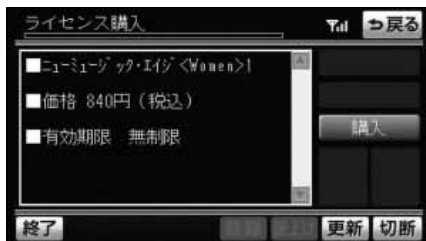
試聴してみて、継続して聴きたい楽曲の場合は、利用手続きをしてライセンスを取得します。ライセンスは最大1000個まで購入することができます。

- 1** G-SOUND画面（試聴、利用手続）で、**利用手続** にタッチします。



- 2** **購入** にタッチします。

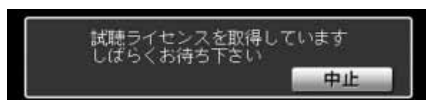
- 無料カプセルの場合は **次へ** にタッチして、**4** の手順を操作します。



- 3** G暗証番号を入力し、**決定** にタッチします。

- 4** ライセンスの取得を開始します。

- 中止するときは **中止** にタッチします。



- 5** ライセンスの取得が完了すると、再生を開始します。

- HDDオーディオ操作画面を表示するときは **AV** を押します。

ライセンスを取得できないとき

HDDオーディオの再生可能曲数を超える場合は、メッセージが表示され、ライセンスを取得できません。

この場合、サウンドライブラリ編集画面から不要なライセンス取得済みの楽曲を削除してください。（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」 - 「アルバムを消去する」参照）

👉 アドバイス

- 購入金額は、G-SOUND 楽曲、ライセンス利用期限により異なります。
- ライセンス取得に失敗した場合は、再度手続きを行ってください。
- ライセンスの取得を中断したときは、次のG-SOUND起動時に利用手続きの再開確認メッセージが表示されます。

はい にタッチすると、利用手続きを再開します。

ただし、ライセンス取得に失敗した楽曲を削除すると、その楽曲のライセンスは取得できません。

G-SOUND 楽曲を再生する

ライセンスを取得したG-SOUND 楽曲は、HDDオーディオ（「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」-「HDDオーディオを聞く」参照）で再生することができます。

G-SOUND 楽曲の操作方法は、次の「HDDオーディオで録音した曲との相違点」を除いては、HDDオーディオで録音した曲と同様です。

HDDオーディオで録音した曲との相違点

G-SOUND 楽曲は、次の点がHDDオーディオで録音した曲と異なります。

- タイトル情報の取得機能はありません。
- 曲（トラック）単位で削除することができません。削除する場合は、コンテンツ単位での削除になります。

G-SOUND 楽曲を削除する

ライセンスのない不要なG-SOUND 楽曲は削除することができます。

- 1 **設定** を押します。
- 2 **G-BOOK** にタッチします。
- 3 **G-SOUND 削除** に10秒以上タッチし続けます。



- 4 削除したい楽曲にタッチします。

- 単曲またはカプセルの、すべての楽曲を削除するときは **全削除** にタッチして 6 の手順を操作します。
- 単曲を削除するときは、絞り込み検索をしてから削除することができます。（次ページ参照）

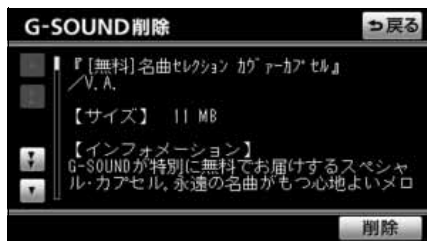


アドバイス

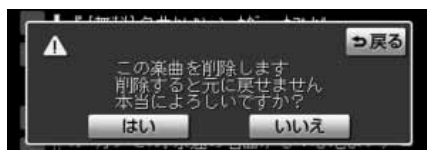
- すべてのG-SOUND 楽曲を削除すると、G-SOUND 楽曲はすべて利用できなくなります。
- 本機にプリインストールされているG-SOUND 楽曲を削除する場合は、本当に削除してもよいかご確認ください。削除した楽曲をもとにもどすことはできません。

9. G-SOUND

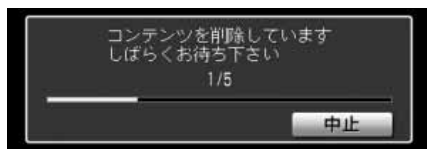
5 **削除** にタッチします。



6 **はい** にタッチします。



7 **全削除** を選択した場合、途中で削除を中止するときは **中止** にタッチします。



楽曲を絞り込んで削除する

単曲を削除する場合、いろいろな検索条件を設定して絞り込むことができます。

1 G-SOUND 削除画面の単曲一覧表示で **絞り込み検索** にタッチします。



2 「希望の楽曲を検索する」(200ページ参照)の **2** ~ **4** と同様の操作を行います。

3 削除したい楽曲にタッチします。

- 絞り込んだ楽曲をすべて削除するときは **絞り込み削除** にタッチして「G-SOUND 楽曲を削除する」の **6** の操作を行います。
- 絞り込みを解除するときは **絞り込み解除** にタッチします。



4 「G-SOUND 楽曲を削除する」の手順 **5** ~ **6** と同様の操作をします。

👉 アドバイス

- 全削除の途中で削除を中止しても、すでに削除処理が終了した楽曲をもとにもどすことはできません。
- ライセンス取得済みの楽曲は、削除画面のリストに表示されません。削除する場合は、サウンドライブラリ編集画面(「ナビゲーション/オーディオの操作 詳細版」-「アルバムを消去する」参照)から削除してください。

パッケージをコピーする

Gライブラリディスクに収録されているパッケージを本機のハードディスクにコピーできます。

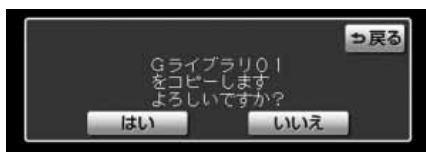
1 Gライブラリディスクを本機に差し込みます。

2 コピーしたいパッケージ にタッチします。



3 メッセージが表示されたら **はい** にタッチします。

● コピーを開始します。



● コピー中は進行状況が表示されます。

● コピーを中止するときは **中止** にタッチします。



4 メッセージが表示され、コピーが完了します。

Gライブラリのコピーを完了しました

ディスクの収録内容を確認する

Gライブラリディスクからコピーする前に、パッケージの詳細情報を確認することができます。

1 Gライブラリディスクを本機に差し込みます。

2 確認したいパッケージの **情報** にタッチします。



3 収録されているコンテンツが一覧表示されます。確認したいコンテンツにタッチします。



コピーできなかったとき

次のような場合はメッセージが表示され、パッケージをコピーできません。

- ハードディスクの空き容量が不足しているとき
- コンテンツの最大保存数が超過するとき
この場合、G-SOUND 削除画面から不要な楽曲を削除してください。(203ページ参照)

9. G-SOUND

アドバイス

- 本機の時刻データが更新されていないと、コピーできないことがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動し、**MAP** を押して地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。
- Gライブラリディスクを挿入してからG-SOUNDコピー画面が表示されるまでは、少し時間がかかります。
- コピー中に通信ロック（178ページ参照）をすると、コピーが中止されます。
- パッケージによっては、コピーをするのに非常に時間がかかる場合があります。（20MBコピーするのに、約1分かかります。）
- コピー中は、他の機能の動作が遅くなることがあります。
- コピー中に他の画面に切り替えても、コピーは継続されます。この場合、情報・G画面（G-BOOK）で **G-SOUND** にタッチすると、コピーの進行状況が確認できます。
- 他の画面に切り替えているときにコピーが終了すると、メッセージが表示されます。このとき **はい** にタッチすると、再度G-SOUNDコピー画面を表示することができます。
- コピー中はGライブラリディスクを取り出さないでください。コピーが中止されます。
- Gライブラリディスクを挿入したままエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしないでください。コピー中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、コピーが中止されます。そのままエンジンスイッチをACC またはON にすると、G-SOUND コピー画面が表示されることがあります。
- その他の原因によりコピーが中止された場合は、自動的にコピーを再開することができません。この場合は、最初からコピー操作をやり直してください。
- パッケージをコピーする場合、コピーを中止しても、既にコピーが終了した楽曲は G-SOUND画面に表示されます。

10. CDタイトル情報取得

タイトル情報を取得する

HDDオーディオでは、音楽CD から内蔵のハードディスクへ録音した楽曲のタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、ジャンル名など）を、ハードディスクに収録されているデータベースから取得することができます。ただし、新しい曲などはデータベースにタイトル情報がないものもあります。G-BOOK オンラインサービスを利用すると、最新のCD タイトル情報をG-BOOK センター経由でGracenote メディアデータベース から取得することができます。

データベースの検索については「タイトル情報を再取得する」(「ナビゲーション／オーディオの操作 詳細版」 - 「アルバムの情報を自動取得する」参照)をご覧ください。

1 HDDオーディオ操作画面で、タイトル情報を取得したい楽曲を表示します。

2 **タイトル入力** にタッチします。



3 **Gで検索** にタッチします。



4 表示された画面の指示にしたがって、希望のタイトルを選択・登録します。

👉 アドバイス

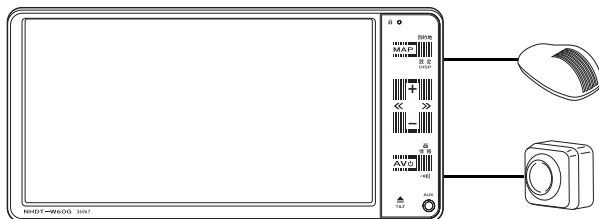
- 該当するCD タイトル情報が見つからなかった場合は、メッセージが表示されたあとにアルバム修正画面にもどります。
- ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CD タイトル情報の取得を中止します。

1. 音声操作システムについて

音声操作システムの構成

音声操作システムを使用することにより、音声操作コマンドを話して、ハンズフリー・G-BOOKの操作を行うことができます。また、走行中、操作できなかった機能を使うことも可能になります。

音声操作コマンドについては「音声操作コマンド一覧表」（次ページ参照）で確認することができます。



音声入力マイク
音声入力を認識します。

音声入力スイッチ
音声操作への切り替えや、解除に使用します。

音声を正しく認識するために

音声操作システムは音声操作コマンドを正しく話さないと認識しない場合があります。正しく認識させるため以下の点に留意してください。

- 話す前は、必ず音声入力スイッチを短く押してください。
- “ピッ” という音の後にお話してください。“ピッ” という音の前または同時に話した場合は正しく認識されません。
- 大きな声でハッキリと話してください。
- 声色によっては、認識されづらいこともあります。
- 騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、話すときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコンのファンの音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
- 方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで話してください。
- 地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで話してください。

2. 音声操作コマンド一覧表

ハンズフリー・G-BOOKの操作

音声操作を行うときは、それぞれのコマンドの読みを発声してください。

ハンズフリー

音声操作コマンド	読み	機能
電話をかける	でんわをかける	電話番号入力画面を表示する。
〇〇〇（電話帳に登録されている名前）	〇〇〇（電話帳に登録されている名称読み）	電話帳に登録されている名称読みで電話番号を検索する。
発信	はっしん	電話番号入力欄に入力されている番号に発信する。

G-BOOK

音声操作コマンド	読み	機能
オペレーターサービス	おぺれーたーさーびす	オペレーターサービスに接続する。
マイリクエスト	まいりくえすと	Myリクエスト画面を表示する。
〇〇〇 （コマンドはG-BOOKセンターが指定）	〇〇〇（コマンドはG-BOOKセンターが指定）	G-BOOKセンターが指定するコマンドの動作を実行する。

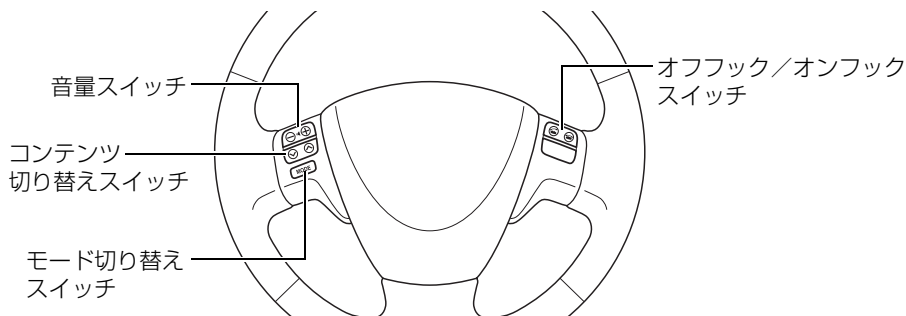


アドバイス

- 音声操作コマンドは、G-BOOK オンラインサービスの利用開始操作が完了しているときに使用可能になります。
- 音声操作で選曲する場合、曲名だけでは選曲できません。アーティスト名と曲名は、一度に発生しても、分けて発生してもかまいませんが、必ず先にアーティストを発声する必要があります。

1. ステアリングスイッチについて

ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリング部スイッチでハンズフリーなどの主要操作が可能です。



各部の機能名称と概要

共通操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(+)・(-)	音量スイッチ	押すごとに1ステップずつ音量が変わります。また、押し続けると音量が連続して変わります。	「着信音量を調整する」 61ページ 「受話音量を調整する」 62ページ 「ブラウザ画面で操作する」 163ページ 「Myリクエスト画面で操作する」 189ページ

G-BOOKの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(MODE)	モード切り替え スイッチ	コンテンツの読み上げを解除 します。	「ブラウザ画面で操作する」 163ページ 「Myリクエスト画面で操作する」 189ページ
(ハ) ・ (V)	コンテンツ 切り替え スイッチ	コンテンツの読み上げ開始位 置を切り替えます。	「ブラウザ画面で操作する」 163ページ 「Myリクエスト画面で操作する」 189ページ

ハンズフリーの操作

スイッチ	名称	機能	操作説明
(☎)	オフフック スイッチ	着信中や応答保留中に押す と、通話を開始することがで きます。また、電話の待ち受 け中にスイッチを押すと、ハ ンズフリーの電話番号入力画 面が表示されます。	「電話のかけ方」 53 ページ 「電話の受け方」 60 ページ
(☎)	オンフック スイッチ	通話中や応答保留中に押す と、通話を終了することがで きます。	「電話を保留する」 61 ページ 「通話を終了する」 62 ページ

1. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、考えられることと処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	考えられること	処置
G-BOOK の利用手続きが必要で す 情報・G のメインメニューのG- BOOK.comから手続きできます	G-BOOK オンラインサービスの 利用手続きがされていない。	利用手続きを行ってください。 (91 ページ参照)
電話機選択が必要で す 設定・編集の電話から設定でき ます	使用する電話機が選択されてい ない。	使用する電話機を選択してくだ さい。(67ページ参照)
携帯電話の通信設定が必要で す 設定・編集のG-BOOKから設定で きます	使用する携帯電話の設定がされて いない。	使用する携帯電話の設定を行っ てください。(180ページ参照)
Bluetooth 設定が必要で す 設定・編集の電話から設定でき ます	Bluetooth の設定がされていな い。	Bluetooth の設定を行ってくだ さい。(71 ページ参照)
緊急通報中です G-BOOK サービスをご利用でき ません	ヘルプネットの緊急通報中のため。	緊急通報が終了してから、ご利用 ください。 ・ 誤操作などでヘルプネットセ ンターに接続されたときは、 ヘルプネットセンターのオペ レーターに理由を告げて、通 報を終了してください。
G-BOOK の利用手続きを行って ください	G-BOOK mX Proに申し込んだ が、車載機で利用開始操作が実施 されていない。	利用開始操作の方法を選択して ください。 ・ すぐに操作をするときは、 開始する にタッチします。 ・ あとで操作をするときは あとで にタッチします。
ヘルプネットのサービス開始操 作を行ってください	・ G-BOOK mXのWeb 登録で、 ヘルプネットを利用選択した が、サービス開始操作*が実施さ れていない。 ・ G-BOOK mX Proの利用手続 きで、ヘルプネットのサービス 開始操作*が実施されていない。	サービス開始操作の方法を選択し てください。* ・ すぐに操作をするときは 開始する にタッチします。 ・ あとで操作をするときは あとで にタッチします。
まもなく、ヘルプネットの利用期 間が終了します	G-BOOK mX利用の場合で、ヘル プネットの利用登録更新時期が近 づいている。	継続手続きの状況により選択して ください。 ・ 継続手続きが済んでいるとき は 了解 にタッチします。 ・ 継続手続きが済んでいないと きは 説明を読む にタッチ します。

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

メッセージ	考えられること	処置
オペレーターと通話中です 終了してからご利用下さい	オペレーターサービスを利用中のため。	オペレーターサービスが終了してからご利用ください。
センター接続中は変更できません 回線を切断して再度操作して下さい	通信中のため。	通信が終了してから再度操作する、または 切断 にタッチして通信を終了してください。
電話機が使用中です 通話を終了してからご利用下さい 通話中は操作できません	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
これ以上登録できません 設定・編集のG-BOOKのプライバシー設定で削除して下さい	ブックマークの最大登録数を超過したため。	不要なブックマークを削除してください。(173ページ参照)
携帯電話が接続されていません 保守点検はできません	携帯電話が接続されていないため。	携帯電話を接続してください。 (「携帯電話の接続」(49ページ参照))
通話中は試聴できません	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
これ以上ライセンスを取得できません 設定・編集のオーディオから手続済のG-SOUND楽曲を削除して下さい	ライセンスの最大保存数を超過したため。	不要なライセンス取得済みG-SOUND楽曲を削除してください。(203ページ参照)
これ以上楽曲を追加できません 設定・編集のG-BOOKのG-SOUND 削除で楽曲を削除して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ・ G-SOUND 楽曲の最大保存数を超過したため。 ・ ハードディスクの空き容量が不足しているため。 	① 不要なG-SOUND 楽曲を削除してください。(「G-SOUND 楽曲を削除する」(203ページ参照)) ② 削除できるG-SOUND 楽曲が無く、ハードディスクの空き容量が不足している場合は、ハードディスクに録音した曲を削除してください。
これ以上コピーできません 設定・編集のG-BOOKのG-SOUND 削除で楽曲を削除して下さい		
これ以上G メモリ地点を登録できません 設定・編集のナビから不要なG メモリ地点情報を削除して下さい	G メモリ地点の最大保存数を超過したため。	不要なG メモリ地点を削除してください。(「ナビゲーション/オーディオの操作 詳細版」-「登録した場所を消去する」参照)
通信ロック中です ロックを解除してからお使い下さい	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を忘れた場合は、プライバシー設定画面で暗証番号の 忘れた場合 にタッチして確認してください。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	考えられること	処置
回線が混み合っている等により表示できません しばらく待ってから操作して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスエリア圏外にいる。 ・ 認証に失敗した。 ・ 通信環境が悪い。 ・ 通信機器の接続状態に異常がある。 	① 携帯電話について、次の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ・ 携帯電話単体で正常動作するか。 ・ 携帯電話の異常でないか。 (携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障) ② 携帯電話とBluetooth接続ができていないか確認してください。 ③ 他の携帯電話に変えて、試してみてください。
時刻データが古いため使用できません GPSを受信して下さい	GPSが受信できていない。	GPSが受信できる場所に移動してください。
電話機をご確認下さい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話がBluetooth接続されていない。 ・ 携帯電話に異常がある。(携帯電話の電源OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障) ・ 携帯電話が動作確認済みの機種でない。 	次の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話とBluetooth接続されているか。 ・ 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ・ 携帯電話の充電は十分であるか。
回線が混雑しています しばらく待ってお使い下さい	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通信エリア外です 通信エリアに移動してご利用下さい	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
回線が混み合っている等により情報を取得できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスエリア圏外にいる。 ・ 認証に失敗した。 ・ 通信環境が悪い。 ・ 通信機器の接続状態に異常がある。 ・ 通信設定に誤りがある。 	① しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。 ② 使用する携帯電話の設定を確認してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症 状	考えられること	処 置
保守点検 が表示されない。	利用開始操作が完了していない。	利用開始操作を実施してください。(96ページ参照)
HELPNET が表示されない。	サービス開始操作*が完了していない。	サービス開始操作を実施してください。(117ページ参照) *
緊急通報できない。	[携帯電話使用時] 動作確認済みの携帯電話を使用していますか。	お求めの販売店にご確認ください。
	[携帯電話使用時] 使用する携帯電話の設定をしましたか。	使用する携帯電話の設定をしてください。(180ページ参照)
	[携帯電話使用時] 携帯電話で、緊急通報の妨げになる電話機能を利用していませんか。	携帯電話およびネットワークサービスの発信や着信を制限もしくは禁止する機能を解除してください。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良い場所に移動して、手動保守点検を実施してください。(124ページ参照)
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	しばらくしてから、または電波状態の良い場所に移動して、手動保守点検を実施してください。(124ページ参照)

※ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

2. 用語説明

より楽しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

- Bluetooth** 2.4GHz帯域を用いて、Bluetooth搭載機器間で無線通信を行うことができます。
本機は、Bluetoothを搭載した携帯電話やポータブルオーディオとの無線通信によりハンズフリーや音楽ファイルの再生ができます。
- G-BOOK** 車両に搭載された専用の通信端末（DCM）や携帯電話などを使って地図やニュース、お天気、交通情報、ゲームなどの様々なコンテンツを楽しむ情報サービスのことです。トヨタメディアサービス(株)が管理・運営しています。
- DCM** Data Communication Moduleの略称です。携帯電話の無線ネットワークに接続して無線通信をおこなう装置です。G-BOOK mX Pro専用DCMは、最大2.4Mbpsでのデータ受信が可能です。

3. 索引

五十音順

ア

暗証番号.....	175
閲覧履歴.....	169
応答保留.....	61
オペレーターサービス.....	142
音声操作システム.....	208
音量の設定.....	66

カ

簡易画面.....	64
緊急通報.....	119

サ

サポートアドレス.....	103
試聴.....	199
ステアリングスイッチ.....	210

タ

ダイヤル発信.....	55
着信拒否.....	61
通信モジュール.....	40
通信ロック.....	178
通話転送.....	63
電池残量表示.....	34
電話帳.....	76
電話の受け方.....	60
電話のかけ方.....	53
ドライブプラン.....	154

ハ

パッケージ.....	205
発着信履歴制限.....	89
ハンズフリー.....	28
非アクセス登録.....	109
ブックマーク.....	171
ヘルプネット.....	110
保守点検.....	123

ラ

ライセンス.....	196
利用開始操作.....	96
利用手続き.....	91
ロック No.	87

ワ

ワンタッチダイヤル.....	84
----------------	----

3. 索引

アルファベット

B

Bluetooth 携帯電話 29

C

CD タイトル情報取得 207

G

G-BOOK..... 36

G-Security 131

G-SOUND 195

G 情報マーク表示 158

G 情報マーク連動サービス 160

G で設定 155

G メモリ地点 153

G ライブラリディスク 197

G ルート探索（プローブ情報付） 151

M

My リクエスト 189

MEMO

MEMO

トヨタ自動車株式会社
富士通テン株式会社